

令和元年度

高齢者等実態調査報告書



令和2年3月



白岡市

目次

序章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象	1
3 調査の方法と期間	2
4 回収結果	2
5 報告書の見方について	3
第1章 第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	5
1 回答者の属性	5
2 家族や生活状況について	10
3 からだを動かすことについて	14
4 食事・食べることについて	20
5 毎日の生活状況について	22
6 地域での活動について	25
7 たすけあいについて	30
8 健康について	36
9 高齢者福祉や介護保険等について	43
10 第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）のまとめ	52
第2章 要支援・要介護認定者（在宅者）調査	57
1 回答者の属性	57
2 身体状況などについて	62
3 介護保険サービス利用の有無について	65
4 介護保険サービスの利用と評価について	67
5 施設入所の意向について	73
6 高齢者福祉や介護保険制度について	74
7 主な介護者の状況について	79
8 要支援・要介護認定者（在宅者）調査のまとめ	84
第3章 施設サービス利用者調査	87
1 回答者の属性	87
2 入所施設について	92
3 施設のサービスについて	96
4 今後の意向や要望について	105
5 施設サービス利用者調査のまとめ	107

第4章 サービス提供事業者調査 109

1	回答事業者の属性	109
2	サービスの提供状況について	110
3	今後の事業展開について	112
4	運営上の問題点について	115
5	利用者数の動向について	117
6	サービス提供事業者調査のまとめ	118

第5章 ケアマネジャー調査 119

1	回答者の属性	119
2	ケアプランについて	120
3	サービスに対する評価等について	122
4	地域のきめ細かい支援について	124
5	虐待について	129
6	今後の要望について	131
7	ケアマネジャー調査のまとめ	132

序章 調査の概要

序章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「白岡市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」（計画期間：令和3年度～令和5年度）の策定にあたり、高齢者、介護保険サービス利用者及び介護サービス提供事業者等を対象とし、地域での高齢者の生活実態や介護サービスの需要等を把握することによって、本市における課題及び計画期間内の目指すべき介護サービスの方向性等を検討する基礎資料とするため実施しました。

また、高齢者や地域の課題をよりの確に把握できるとして国が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の手法を取り入れて実施しています。

2 調査の対象

項目	内容
①第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	令和2年1月1日現在で65歳以上の市民（要介護1～5の認定を受けていない方から無作為抽出による）
②要支援・要介護認定者（在宅者）調査	40歳以上の白岡市の介護保険被保険者で、令和2年1月1日現在、要支援・要介護に認定され、在宅で過ごされている方（①との重複者は除く）
③施設サービス利用者調査	白岡市の介護保険被保険者で、令和元年12月に介護保険施設に入所していた方
④サービス提供事業者調査	白岡市内のサービス事業者
⑤ケアマネジャー調査	白岡市内の居宅介護支援事業所のケアマネジャー

3 調査の方法と期間

調査方法：郵送配布・郵送回収

項目	調査期間	備考
①第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	令和2年1月9日～1月31日	お礼を兼ねた督促ハガキを1回郵送配布
②要支援・要介護認定者（在宅者）調査	令和2年1月9日～1月31日	お礼を兼ねた督促ハガキを1回郵送配布
③施設サービス利用者調査	令和2年1月9日～1月31日	お礼を兼ねた督促ハガキを1回郵送配布
④サービス提供事業者調査	令和2年1月9日～1月31日	
⑤ケアマネジャー調査	令和2年1月9日～1月31日	事業所を通じた郵送配布

4 回収結果

項目	発送数	回収数	回収率
①第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	1,500票	1,102票	73.5%
②要支援・要介護認定者（在宅者）調査	1,550票	925票	59.7%
③施設サービス利用者調査	351票	205票	58.4%
④サービス提供事業者調査	42票	31票	73.8%
⑤ケアマネジャー調査	44票 (14事業所)	33票	75.0%
全 体	3,487票	2,296票	65.8%

5 報告書の見方について

①回答率

回答は、質問ごとに各項目の回答者数を回答者総数で除し、百分率（パーセント）で表示しました。算出された回答率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問によっては、1人の回答者が1つだけ回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%ちょうどにならないものもあります。

また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を上回ることもあります。

②表記

表、グラフ中では、回答率（%）とともに、その設問に回答すべき数（回答者総数）も表示しています。ただし、スペースの都合により省略している場合もあります。

また、表、グラフ、本文中において、回答選択肢の表記は、スペースの都合により簡略化している場合があります。

③年齢区分

高齢者の年齢層を2つに分けて表記しているところがあります。「前期高齢者」とは65歳以上74歳以下、「後期高齢者」とは75歳以上のことを指します。

④地域区分

市内を以下のように区分して表記しているところがあります。

日常生活圏域 (2区分)	地域 (3区分)	地 区
日勝圏域	日勝地域	岡泉、実ケ谷、千駄野、小久喜、上野田、下野田、 爪田ケ谷、太田新井、彦兵衛
篠津・大山圏域	篠津地域	篠津、野牛、高岩、新白岡、寺塚、白岡、白岡東、西
	大山地域	柴山、荒井新田、下大崎

第1章 第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域二一ス調査）

第1章 第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

1 回答者の属性

（1）性別

問1 性別を教えてください。[1つに〇]

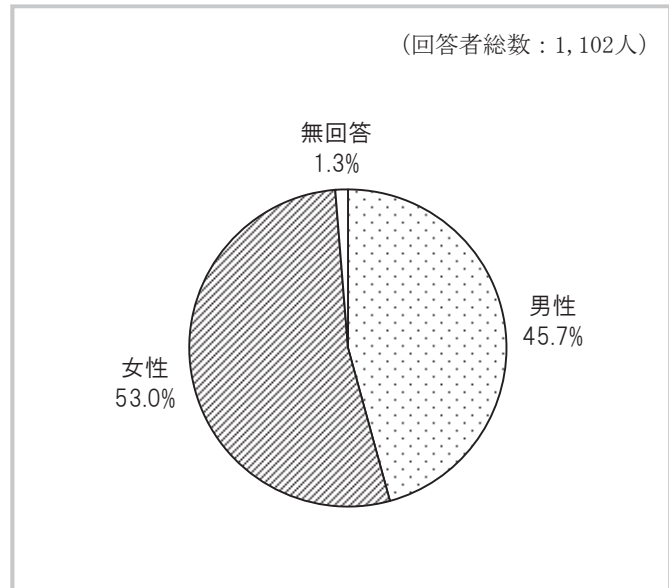
「男性」が45.7%、「女性」が53.0%

性別については、「男性」が45.7%、「女性」が53.0%となっています。

表 性別 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
男性	504 (45.7)
女性	584 (53.0)
無回答	14 (1.3)

図 性別



（2）年齢

問2 1月1日現在、何歳ですか。[1つに○]

前期高齢者は51.5%、後期高齢者は46.6%

年齢構成をみると、「65～69歳」が23.7%、「70～74歳」が27.9%で、これらを合わせると前期高齢者は51.5%となっています。

また、「75～79歳」は24.6%、「80～84歳」は14.8%、「85～89歳」は5.8%、「90歳以上」は1.4%で、これらを合わせると後期高齢者は46.6%となっています。

表 年齢 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
前期高齢者	568 (51.5)
65～69歳	261 (23.7)
70～74歳	307 (27.9)
後期高齢者	513 (46.6)
75～79歳	271 (24.6)
80～84歳	163 (14.8)
85～89歳	64 (5.8)
90歳以上	15 (1.4)
無回答	21 (1.9)

図 年齢

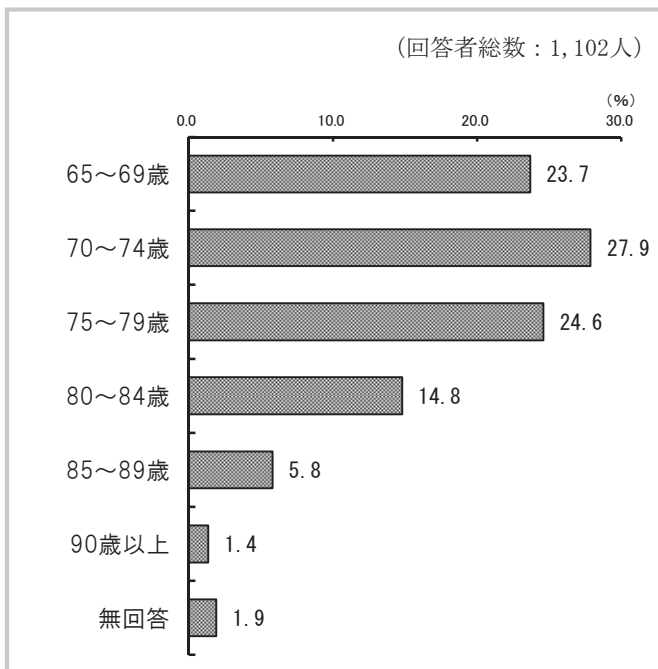
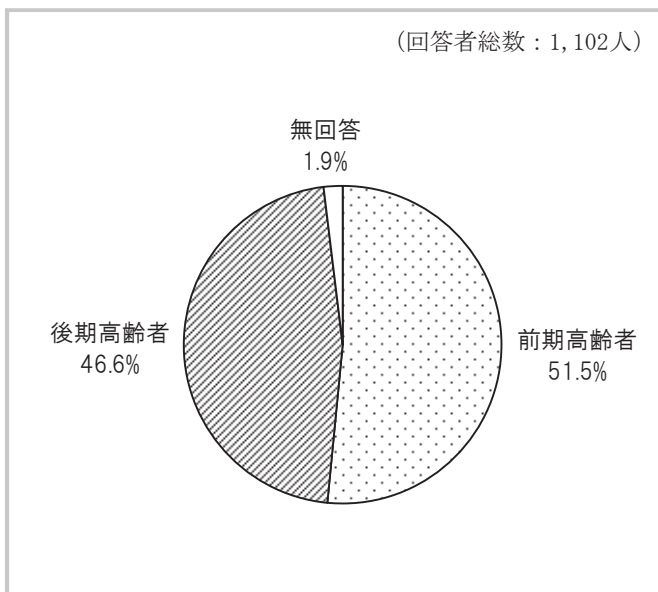


図 前期高齢者・後期高齢者別



（3）居住地区

問3 お住まいの地区はどちらですか。[1つに○]

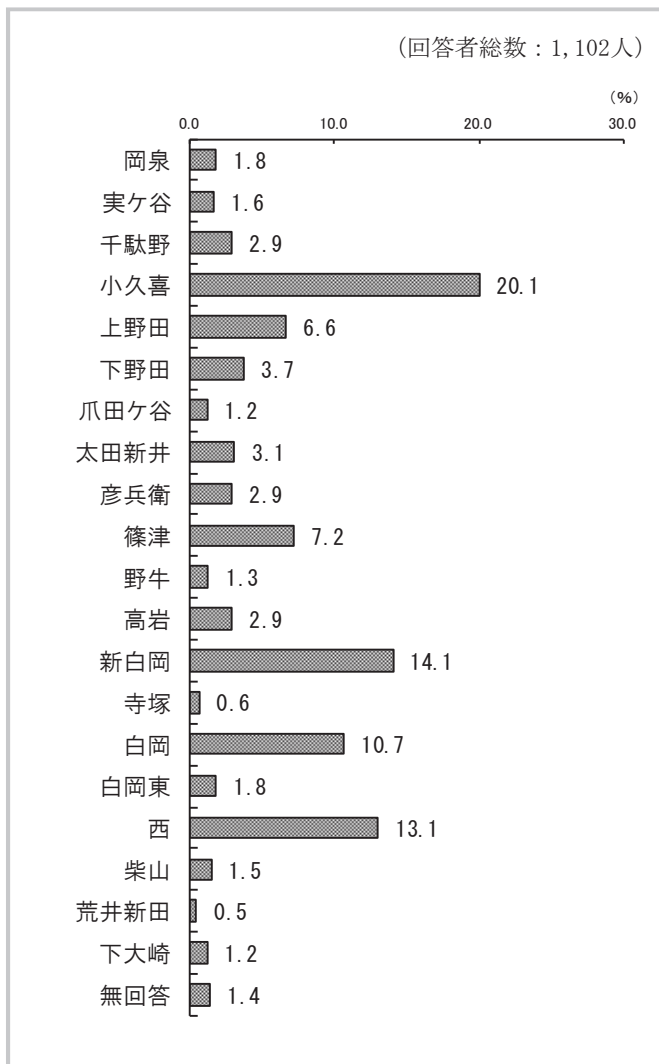
日勝圏域が43.9%、篠津・大山圏域が54.7%

地区別をみると、「小久喜」が20.1%、「新白岡」が14.1%、「西」が13.1%となっています。

表 居住地区 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
日勝圏域	484 (43.9)
日勝地域	484 (43.9)
岡泉	20 (1.8)
実ヶ谷	18 (1.6)
千駄野	32 (2.9)
小久喜	221 (20.1)
上野田	73 (6.6)
下野田	41 (3.7)
爪田ヶ谷	13 (1.2)
太田新井	34 (3.1)
彦兵衛	32 (2.9)
篠津・大山圏域	603 (54.7)
篠津地域	569 (51.6)
篠津	79 (7.2)
野牛	14 (1.3)
高岩	32 (2.9)
新白岡	155 (14.1)
寺塚	7 (0.6)
白岡	118 (10.7)
白岡東	20 (1.8)
西	144 (13.1)
大山地域	34 (3.1)
柴山	16 (1.5)
荒井新田	5 (0.5)
下大崎	13 (1.2)
無回答	15 (1.4)

図 居住地区



地区を地域別にまとめると、「日勝地域」が43.9%、「篠津地域」が51.6%、「大山地域」が3.1%となっています。

さらに日常生活圏域でみると、「日勝圏域」が43.9%、「篠津・大山圏域」が54.7%となっています。

図 地域

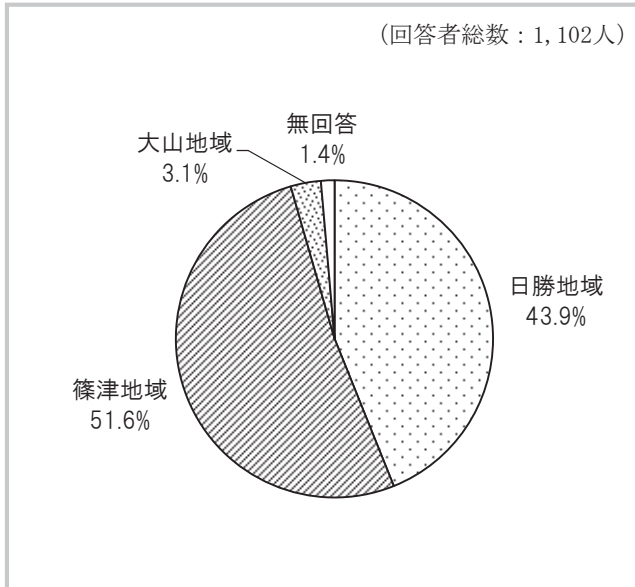
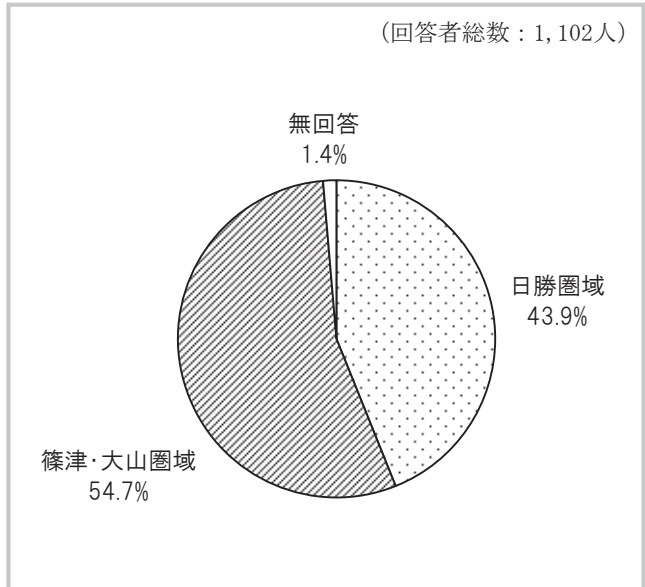


図 日常生活圏域



（４）状態区分

問4 介護保険制度の「要支援」の認定を受けていますか。[1つに○]

「認定を受けていない」が87.5%

介護保険制度の「要支援」認定を受けているかについては、「認定を受けていない」が87.5%となっています。

一方、「総合事業対象者」は1.0%、「要支援」は5.0%、「要支援2」は3.3%となっています。

図 要支援認定区分

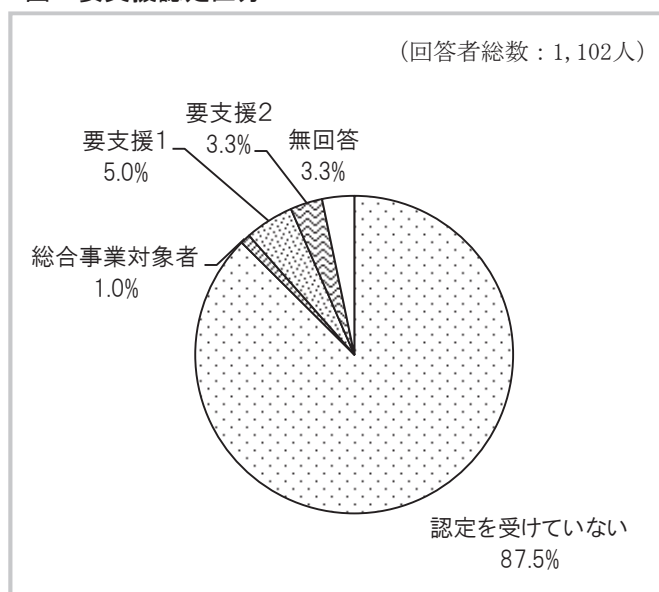


表 要支援認定区分 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
認定を受けていない	964 (87.5)
総合事業対象者	11 (1.0)
要支援1	55 (5.0)
要支援2	36 (3.3)
無回答	36 (3.3)

問5 現在、利用している介護サービスはありますか。[あてはまるものすべてに○]

「ない」が90.6%

利用している介護保険サービスについては、「ない」が90.6%となっています。

一方、利用しているサービスでは「訪問介護」が1.0%、「通所介護」が3.0%、訪問介護や通所介護以外の「その他のサービス」が3.0%となっています。

図 利用している介護サービス

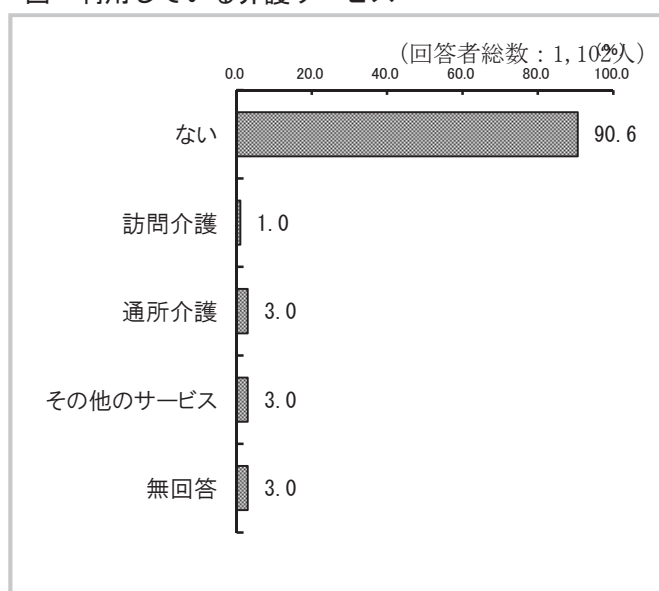


表 利用している介護サービス 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
ない	998 (90.6)
訪問介護	11 (1.0)
通所介護	33 (3.0)
その他のサービス	33 (3.0)
無回答	33 (3.0)

2 家族や生活状況について

（1）家族構成

問6 家族構成を教えてください。[1つに○]

夫婦2人の世帯が約半数

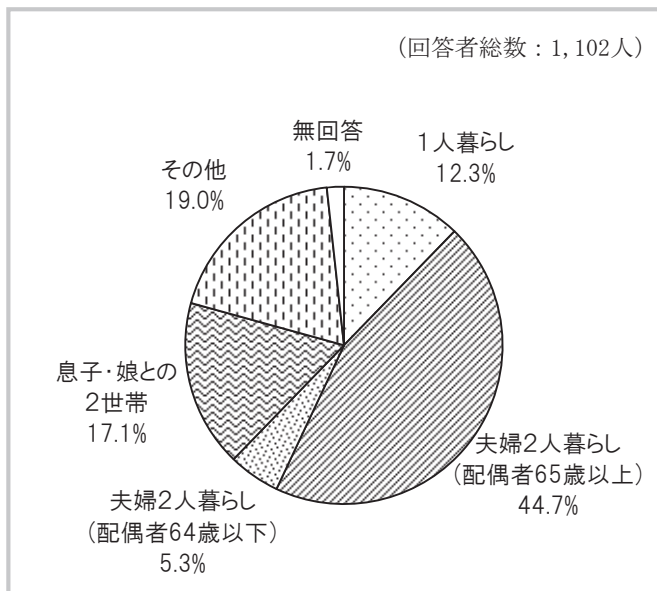
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が44.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が5.3%で、これらを合わせると夫婦2人の世帯が約半数となっています。

また、「1人暮らし」は12.3%「息子・娘との2世帯」は17.1%、「その他」は19.0%となっています。

表 家族構成 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
1人暮らし	135（12.3）
夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	493（44.7）
夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	58（5.3）
息子・娘との2世帯	188（17.1）
その他	209（19.0）
無回答	19（1.7）

図 家族構成



（2）介護・介助の必要性

問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。[1つに○]

「介護・介助は必要ない」が85.3%

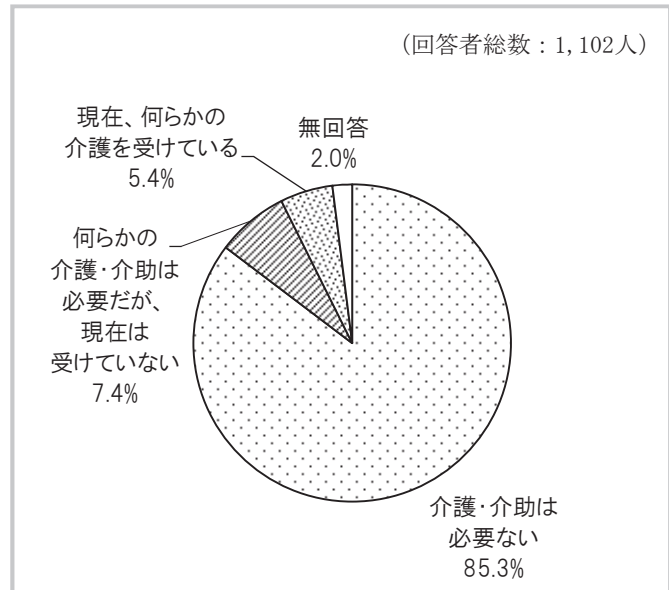
普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が85.3%となっています。

また、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は7.4%、「現在、何らかの介護を受けている」は5.4%となっています。

表 介護・介助の必要性 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
介護・介助は必要ない	940 (85.3)
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	81 (7.4)
現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）	59 (5.4)
無回答	22 (2.0)

図 介護・介助の必要性



（3）経済状態

問8 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。[1つに〇]

「ふつう」が60.3%

現在の暮らしの経済状況については、「ふつう」が60.3%となっています。

また、「大変苦しい」が7.2%、「やや苦しい」が20.8%で、これらを合わせると28.0%となっています。

一方、「ややゆとりがある」は7.7%、「大変ゆとりがある」は2.1%で、これらを合わせると9.8%となっています。

図 経済状態

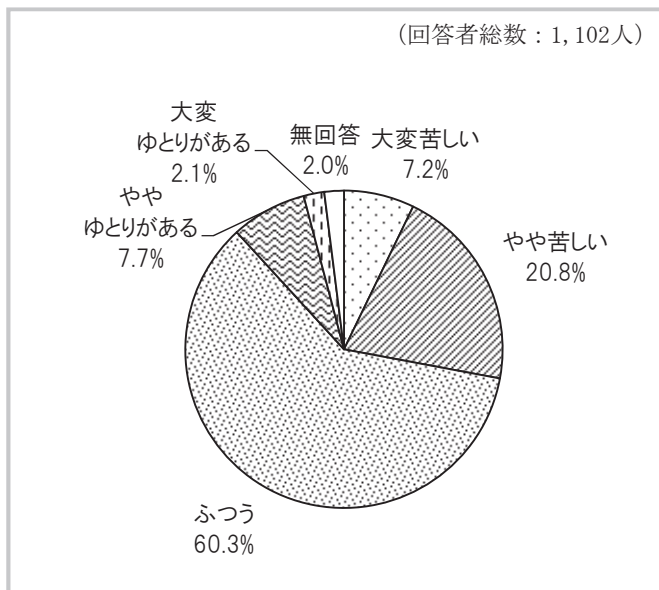


表 経済状態 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
大変苦しい	79 (7.2)
やや苦しい	229 (20.8)
ふつう	664 (60.3)
ややゆとりがある	85 (7.7)
大変ゆとりがある	23 (2.1)
無回答	22 (2.0)

（4）世帯の年収

問9 あなたを含めた世帯全体の年収（年金含む）はどれにあてはまりますか。[1つに○]

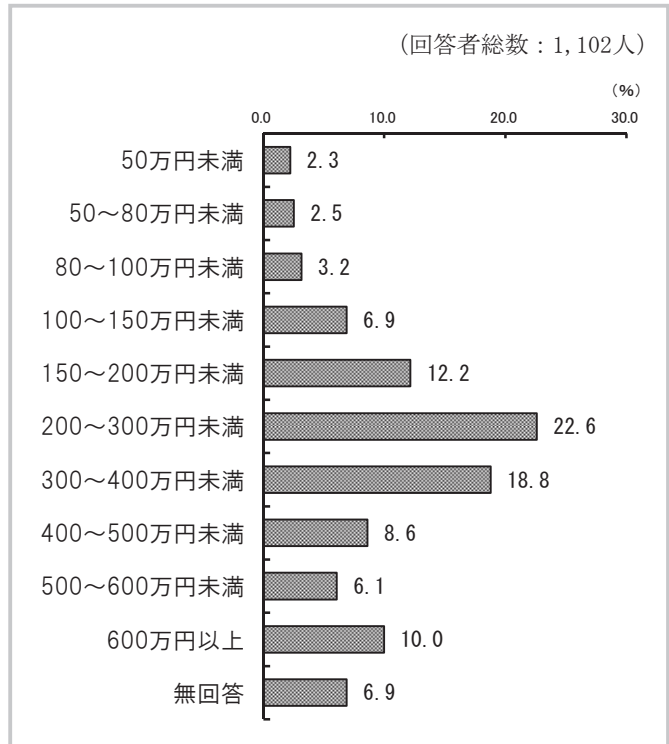
「200～300万円未満」が22.6%

世帯全体の年収（年金含む）については、「200～300万円未満」が22.6%で、次いで「300～400万円未満」が18.8%、「150～200万円未満」が12.2%となっています。

表 世帯の年収 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
50万円未満	25（2.3）
50～80万円未満	28（2.5）
80～100万円未満	35（3.2）
100～150万円未満	76（6.9）
150～200万円未満	134（12.2）
200～300万円未満	249（22.6）
300～400万円未満	207（18.8）
400～500万円未満	95（8.6）
500～600万円未満	67（6.1）
600万円以上	110（10.0）
無回答	76（6.9）

図 世帯の年収



（5）住まい

問10 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。[1つに○]

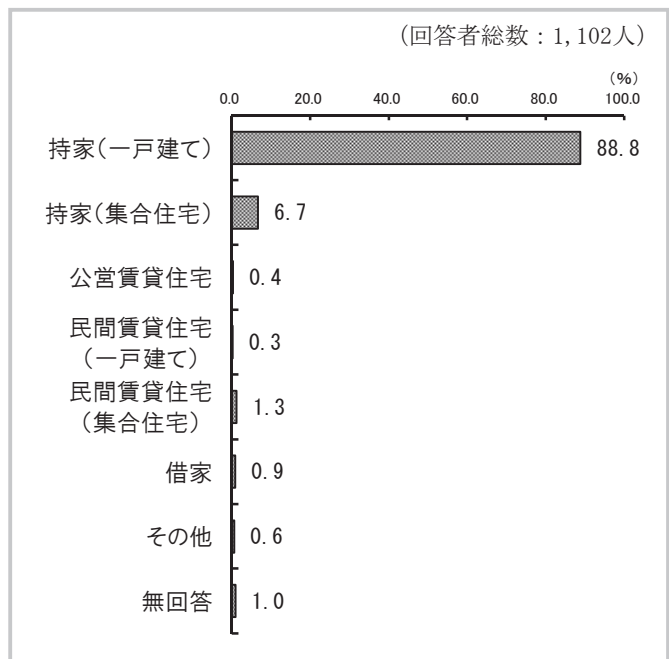
「持家（一戸建て）」が88.8%

住まいについては、「持家（一戸建て）」が88.8%となっています。

表 住まい 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
持家（一戸建て）	979（88.8）
持家（集合住宅）	74（6.7）
公営賃貸住宅	4（0.4）
民間賃貸住宅（一戸建て）	3（0.3）
民間賃貸住宅（集合住宅）	14（1.3）
借家	10（0.9）
その他	7（0.6）
無回答	11（1.0）

図 住まい



3 からだを動かすことについて

（1）運動機能と転倒リスク

問11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。[1つに○]

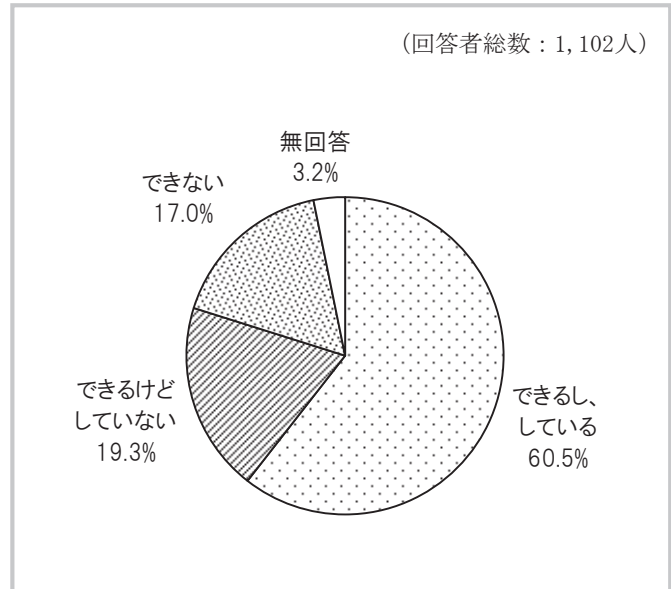
「できるし、している」が60.5%

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が60.5%となっています。

一方、「できない」は、17.0%となっています。

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
できるし、している	667 (60.5)
できるけどしていない	213 (19.3)
できない	187 (17.0)
無回答	35 (3.2)

図 階段を昇ること



問12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。[1つに○]

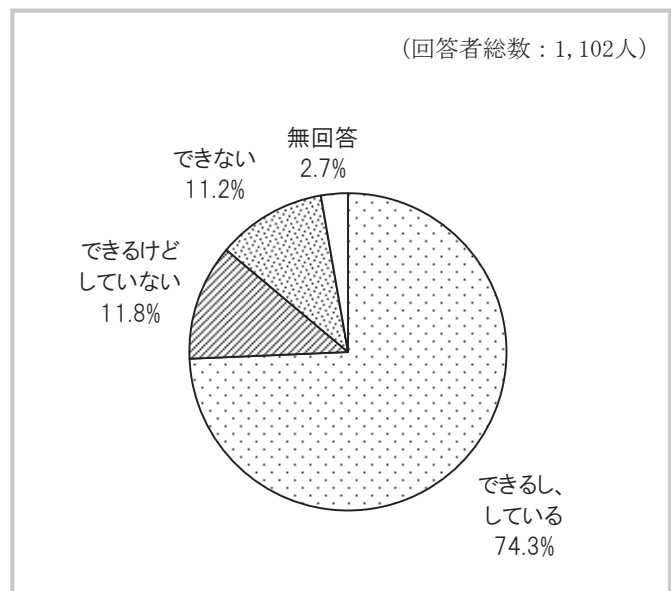
「できるし、している」が74.3%

椅子から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が74.3%となっています。

一方、「できない」は11.2%となっています。

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
できるし、している	819 (74.3)
できるけどしていない	130 (11.8)
できない	123 (11.2)
無回答	30 (2.7)

図 椅子から立ち上がること



問13 15分位続けて歩いていますか。[1つに○]

「できるし、している」が72.3%

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が72.3%となっています。

一方、「できない」が8.2%となっています。

図 15分位続けて歩くこと

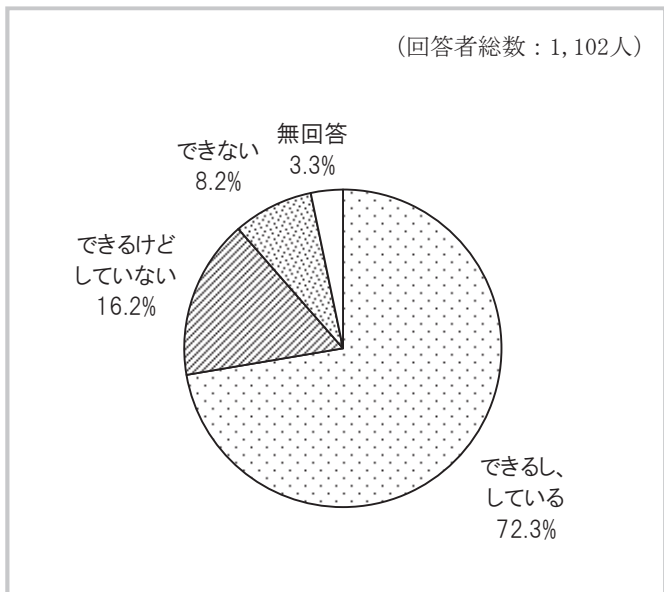


表 15分位続けて歩くこと 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
できるし、している	797 (72.3)
できるけどしていない	179 (16.2)
できない	90 (8.2)
無回答	36 (3.3)

問14 過去1年間に転んだ経験がありますか。[1つに○]

転倒リスクのある高齢者は28.2%

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が69.4%となっています。

一方、「何度もある」は9.3%、「1度ある」は18.9%で、これらを合わせると転倒リスクのある高齢者は28.2%となっています。

図 過去1年間に転んだこと

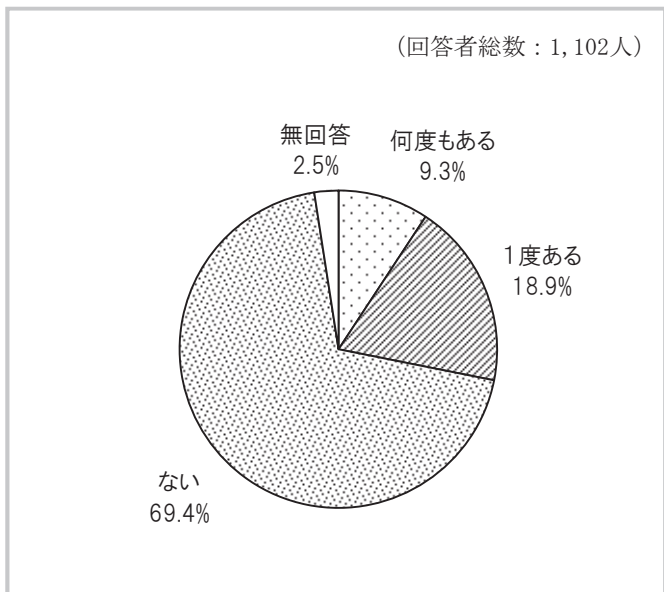


表 過去1年間に転んだこと 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
何度もある	102 (9.3)
1度ある	208 (18.9)
ない	765 (69.4)
無回答	27 (2.5)

問15 転倒に対する不安は大きいですか。[1つに○]

不安がある人は49.3%

転倒に対する不安については、「とても不安である」が13.5%、「やや不安である」が35.8%で、これらを合わせると49.3%となっています。

一方、「あまり不安でない」は23.1%、「不安でない」は25.2%で、これらを合わせると48.3%となっています。

図 転倒への不安感

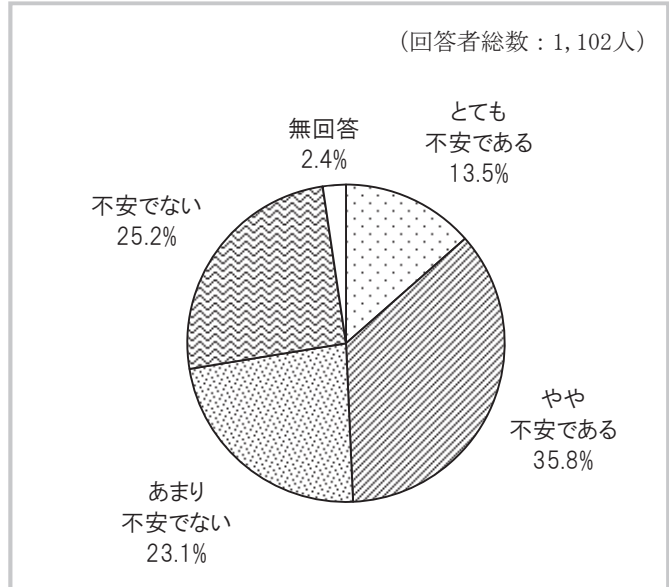


表 転倒への不安感 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数(人)	1,102
とても不安である	149 (13.5)
やや不安である	394 (35.8)
あまり不安でない	255 (23.1)
不安でない	278 (25.2)
無回答	26 (2.4)

【運動器の機能低下について】

下表の方法により、運動器の機能低下者の抽出を行いました。その結果、運動器の機能が低下している人は162人おり、全体の14.7%となっています。

表 運動器の機能低下者の抽出方法

問	設問	選択肢
問11	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
問12	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
問13	15分位続けて歩いていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
問14	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 1度ある 3 ない
問15	転倒に対する不安は大きいですか。	1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない

問11～問15の設問で、該当する選択肢（網掛け）が3問以上で選択されている



運動器の機能が低下している高齢者

（2）外出と閉じこもり

問16 週に1回以上は外出していますか。[1つに○]

閉じこもり傾向のある人は16.9%

週に1回以上の外出については、「ほとんど外出しない」が4.7%、「週1回」が12.2%で、これらを合わせると閉じこもり傾向のある人は16.9%となっています。

一方、「週2～4回」は44.1%、「週5回以上」は36.4%となっています。

図 週1回以上の外出

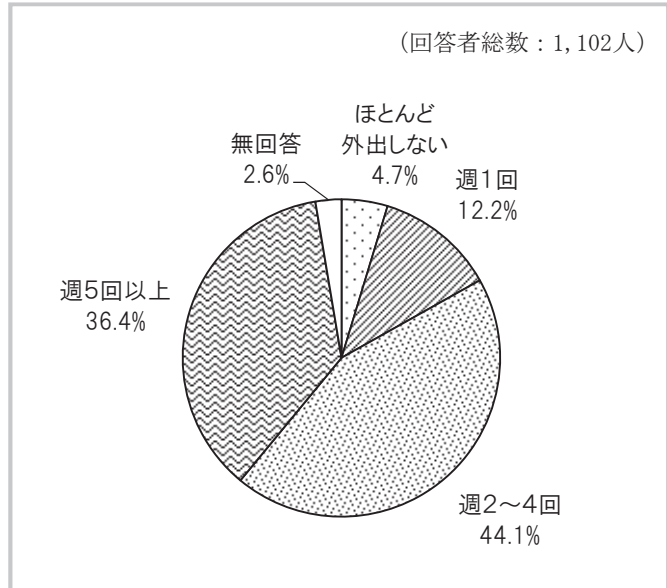


表 週1回以上の外出 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
ほとんど外出しない	97 (4.7)
週1回	223 (12.2)
週2～4回	954 (44.1)
週5回以上	809 (36.4)
無回答	50 (2.6)

問17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。[1つに○]

回数が減っている人が27.0%

外出の回数が昨年と比べて減っているかについては、「とても減っている」が3.4%、「減っている」が23.6%でこれらを合わせると27.0%となっています。

一方、「あまり減っていない」は28.5%、「減っていない」は41.9%となっています。

図 昨年からの外出回数の減少

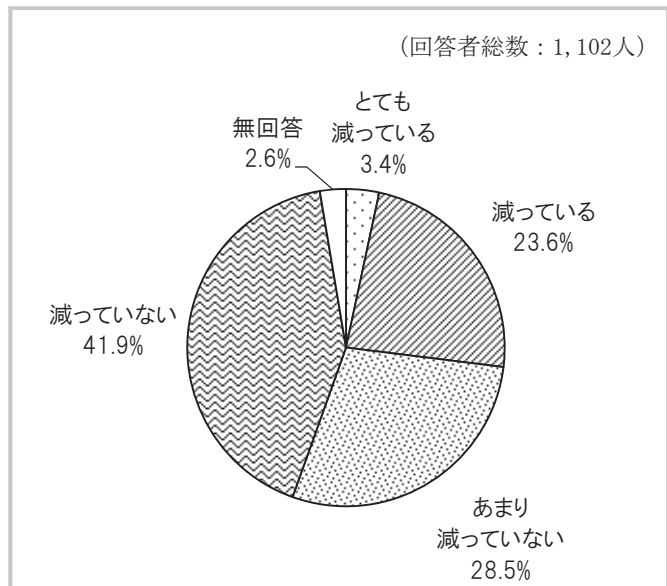


表 昨年からの外出回数の減少 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
とても減っている	37 (3.4)
減っている	260 (23.6)
あまり減っていない	314 (28.5)
減っていない	462 (41.9)
無回答	29 (2.6)

（3）外出する際の移動手段

問18 外出する際の移動手段は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

「徒歩」が57.5%

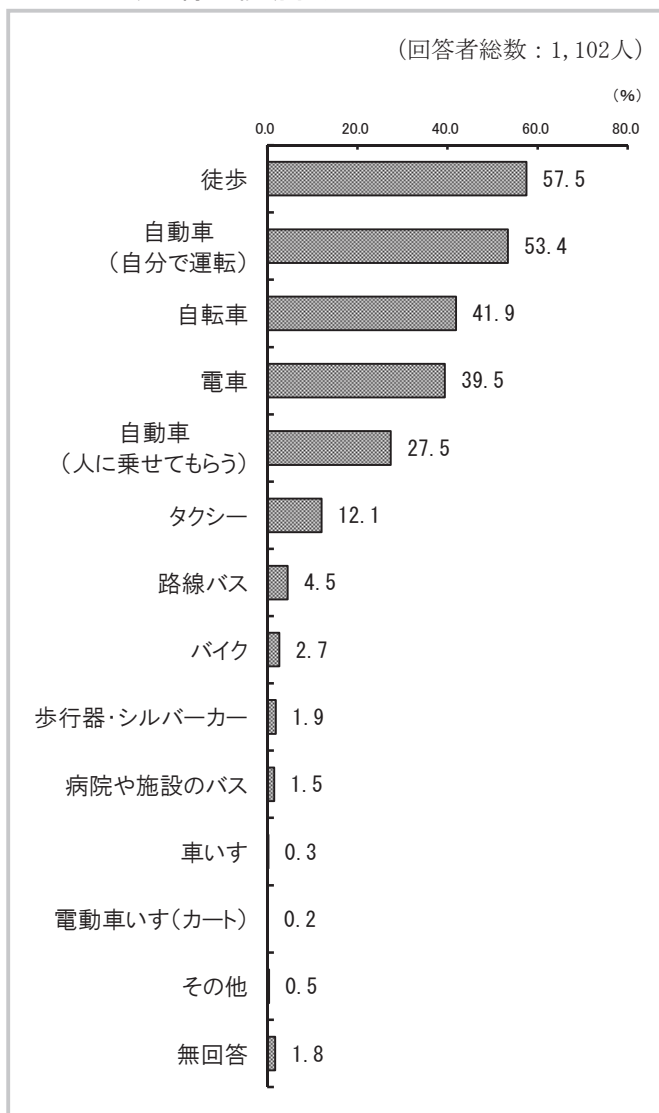
外出する際の移動手段については、「徒歩」が57.5%で、次いで「自動車（自分で運転）」が53.4%、「自転車」が41.9%となっています。

また、「電車」は39.5%、「自動車（人に乗せてもらう）」は27.5%となっています。

表 外出する際の移動手段 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
徒歩	634 (57.5)
自動車（自分で運転）	589 (53.4)
自転車	462 (41.9)
電車	435 (39.5)
自動車（人に乗せてもらう）	303 (27.5)
タクシー	133 (12.1)
路線バス	50 (4.5)
バイク	30 (2.7)
歩行器・シルバーカー	21 (1.9)
病院や施設のバス	17 (1.5)
車いす	3 (0.3)
電動車いす（カート）	2 (0.2)
その他	5 (0.5)
無回答	20 (1.8)

図 外出する際の移動手段



【 性別、前期・後期高齢者別 】

外出する際の移動手段を、性別、前期・後期高齢者別にみると、男性では、「自動車（自分で運転）」が最も多く、女性では「徒歩」が最も多くなっています。

また、「自動車（自分で運転）」については、男性の後期高齢者では58.4%、女性の後期高齢者では18.6%となっています。

表 性別、前期・後期高齢者別にみた外出する際の移動手段

単位：人（%）

項目	全体	性別、前期・後期高齢者別			
		男性		女性	
		前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
回答者総数（人）	1,102	267	233	299	280
徒歩	634 (57.5)	174 (65.2)	125 (53.6)	187 (62.5)	138 (49.3)
自動車（自分で運転）	589 (53.4)	218 (81.6)	136 (58.4)	168 (56.2)	52 (18.6)
自転車	462 (41.9)	122 (45.7)	97 (41.6)	144 (48.2)	91 (32.5)
電車	435 (39.5)	121 (45.3)	82 (35.2)	149 (49.8)	76 (27.1)
自動車（人に乗せてもらう）	303 (27.5)	24 (9.0)	41 (17.6)	103 (34.4)	129 (46.1)
タクシー	133 (12.1)	14 (5.2)	27 (11.6)	30 (10.0)	59 (21.1)
路線バス	50 (4.5)	15 (5.6)	8 (3.4)	15 (5.0)	12 (4.3)
バイク	30 (2.7)	13 (4.9)	4 (1.7)	7 (2.3)	6 (2.1)
歩行器・シルバーカー	21 (1.9)	0 (0.0)	3 (1.3)	4 (1.3)	14 (5.0)
病院や施設のバス	17 (1.5)	0 (0.0)	10 (4.3)	0 (0.0)	7 (2.5)
車いす	3 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.1)
電動車いす（カート）	2 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.7)
その他	5 (0.5)	0 (0.0)	1 (0.4)	2 (0.7)	2 (0.7)
無回答	20 (1.8)	1 (0.4)	10 (4.3)	4 (1.3)	5 (1.8)

※性別及び年齢の無回答者 23人を除いている。

4 食事・食べることについて

(1) BMI

問19 身長・体重を教えてください。

低栄養が疑われる人は 7.9%

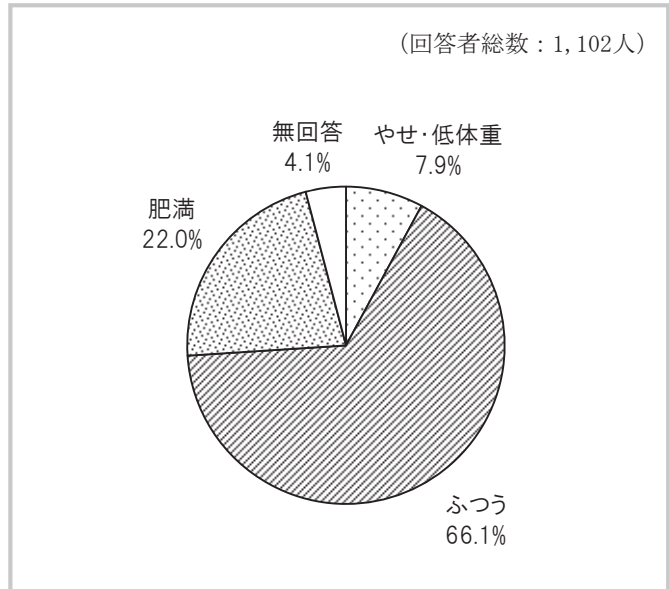
身長と体重をたずねて、BMI*を算出しました。その結果、「やせ・低体重」が7.9%で、低栄養が疑われます。

一方、「ふつう」は66.1%、「肥満」は22.0%となっています。

表 BMIによる区分 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
やせ・低体重	87（7.9）
ふつう	728（66.1）
肥満	242（22.0）
無回答	45（4.1）

図 BMIによる区分



※BMI：体重kg÷身長m÷身長m

18.5未満→やせ・低体重、18.5～25.0未満→ふつう、25.0以上→肥満

(2) 咀嚼機能

問20 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。[1つに〇]

咀嚼機能の低下が疑われる人が28.2%

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が28.2%で、咀嚼機能の低下が疑われます。

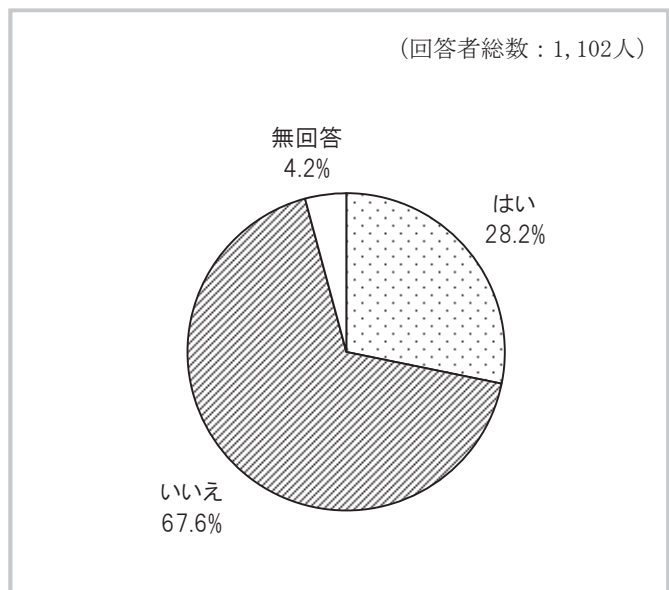
一方、「いいえ」が67.6%となっています。

表 半年前より固いものが食べにくいこと

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
はい	311（28.2）
いいえ	745（67.6）
無回答	46（4.2）

図 半年前より固いものが食べにくいこと



（3）歯の状況

問21 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）[1つに○]

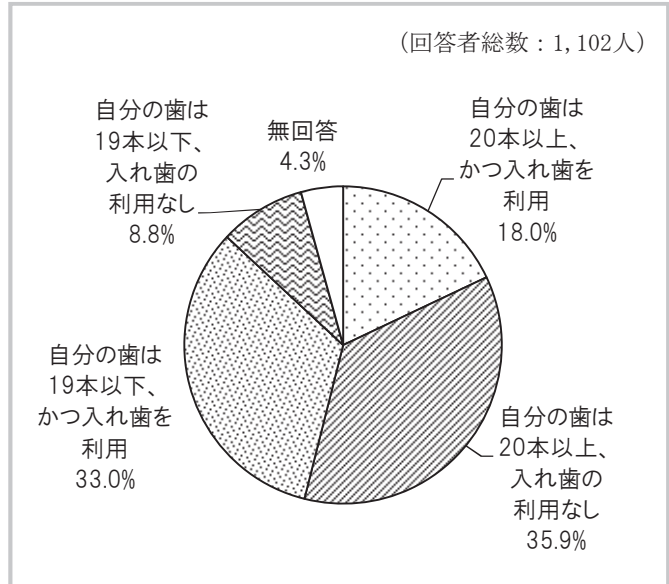
「歯は20本以上で入れ歯の利用なし」が35.9%

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が18.0%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.9%となっています。また、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」は33.0%となっています。

表 歯の状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	198 (18.0)
自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	396 (35.9)
自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	364 (33.0)
自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	97 (8.8)
無回答	47 (4.3)

図 歯の状況



（4）共食・孤食の状況

問22 どなたかと食事をとる機会がありますか。[1つに○]

「毎日ある」が58.2%

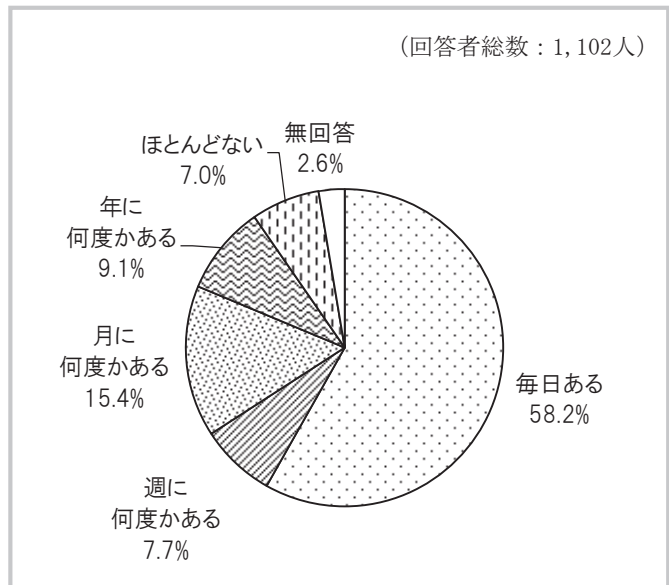
どなたかと食事をとる機会については、「毎日ある」が58.2%、「月に何度かある」が15.4%となっています。

一方、「ほとんどない」は7.0%となっています。

表 共食・孤食の状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
毎日ある	641 (58.2)
週に何度かある	85 (7.7)
月に何度かある	170 (15.4)
年に何度かある	100 (9.1)
ほとんどない	77 (7.0)
無回答	29 (2.6)

図 共食・孤食の状況



5 毎日の生活状況について

（1）認知機能

問23 物忘れが多いと感じますか。[1つに○]

認知機能の低下が疑われる人が45.4%

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が45.4%で、認知機能の低下が疑われます。

一方、「いいえ」は51.9%となっています。

図 物忘れ

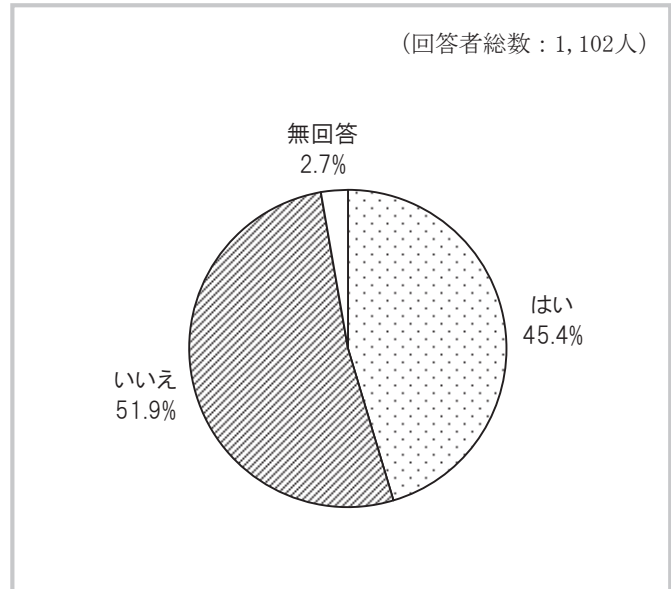


表 物忘れ 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
はい	500 (45.4)
いいえ	572 (51.9)
無回答	30 (2.7)

（2）日常生活での活動状況

問24 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。[1つに○]

「できるし、している」が75.3%

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が75.3%となっています。

一方、「できない」は8.3%となっています。

図 1人での外出

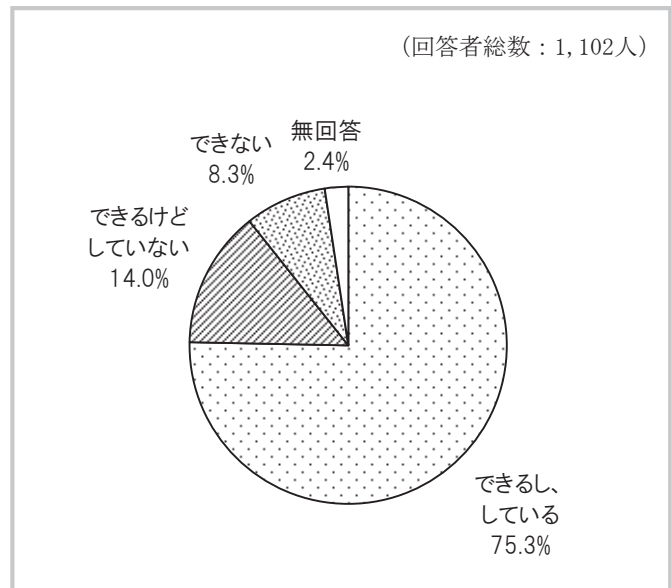


表 1人での外出 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
できるし、している	830 (75.3)
できるけどしていない	154 (14.0)
できない	92 (8.3)
無回答	26 (2.4)

問25 自分で食品・日用品の買物をしていますか。[1つに○]

「できるし、している」が80.8%

自分で食品・日用品の買物をしているかについては、「できるし、している」が80.8%となっています。

一方、「できない」は5.0%となっています。

図 食品・日用品の買物

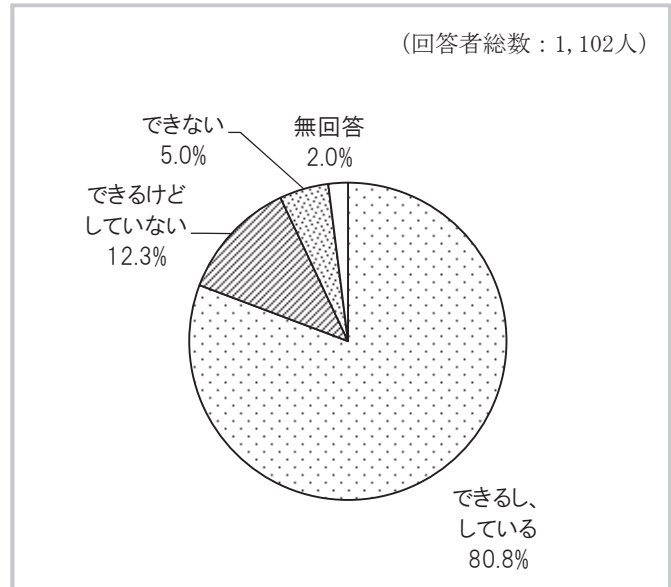


表 食品・日用品の買物 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
できるし、している	890 (80.8)
できるけどしていない	135 (12.3)
できない	55 (5.0)
無回答	22 (2.0)

問26 自分で食事の用意をしていますか。[1つに○]

「できるし、している」が68.1%

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が68.1%となっています。

一方、「できない」は7.9%となっています。

図 食事の用意

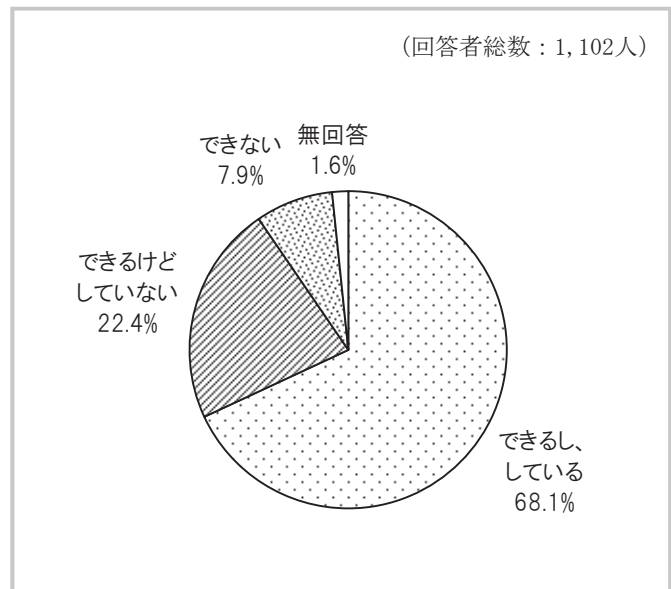


表 食事の用意 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
できるし、している	750 (68.1)
できるけどしていない	247 (22.4)
できない	87 (7.9)
無回答	18 (1.6)

問27 自分で請求書の支払いをしていますか。[1つに○]

「できるし、している」が78.3%

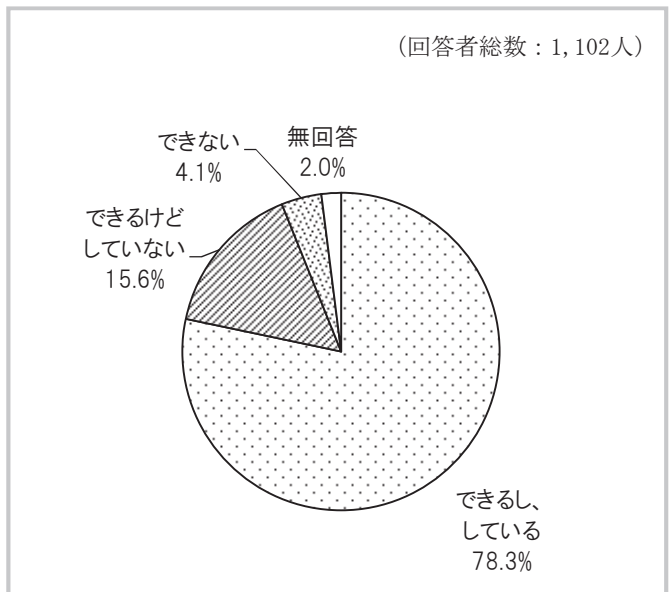
自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が78.3%となっています。

一方、「できない」は4.1%となっています。

表 請求書の支払い 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
できるし、している	863 (78.3)
できるけどしていない	172 (15.6)
できない	45 (4.1)
無回答	22 (2.0)

図 請求書の支払い



問28 自分で預貯金の出し入れをしていますか。[1つに○]

「できるし、している」が77.2%

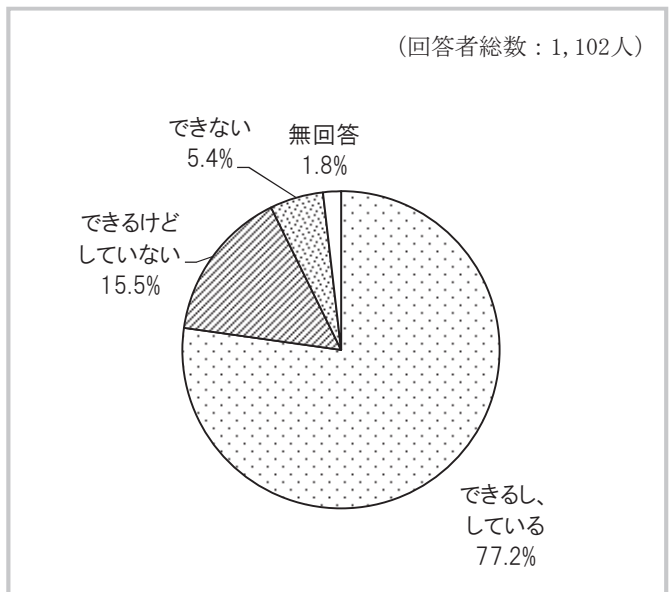
自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が77.2%となっています。

一方、「できない」は5.4%となっています。

表 預貯金の出し入れ 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
できるし、している	851 (77.2)
できるけどしていない	171 (15.5)
できない	60 (5.4)
無回答	20 (1.8)

図 預貯金の出し入れ



6 地域での活動について

（1）社会参加の状況

問29 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。[1つずつ〇]

①ボランティアのグループ

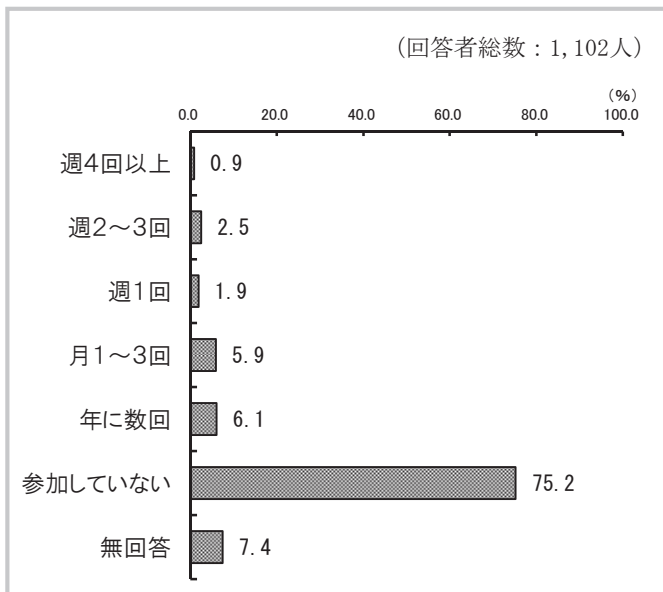
「年に数回」が 6.1%

ボランティアのグループへの参加状況は、「年に数回」が 6.1%となっています。一方、「参加していない」は75.2%となっています。

表 社会参加の状況
ボランティアのグループ 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	10（0.9）
週2～3回	28（2.5）
週1回	21（1.9）
月1～3回	65（5.9）
年に数回	67（6.1）
参加していない	829（75.2）
無回答	82（7.4）

図 社会参加の状況 ボランティアのグループ



②スポーツ関係のグループやクラブ

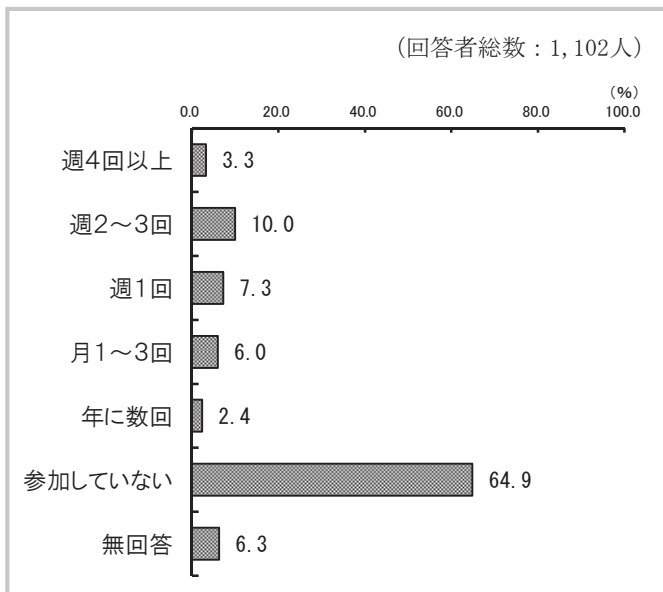
「週2～3回」が10.0%

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況は、「週2～3回」が10.0%となっています。一方、「参加していない」は64.9%となっています。

表 社会参加の状況
スポーツ関係のグループやクラブ 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	36（3.3）
週2～3回	110（10.0）
週1回	80（7.3）
月1～3回	66（6.0）
年に数回	26（2.4）
参加していない	715（64.9）
無回答	69（6.3）

図 社会参加の状況 スポーツ関係のグループやクラブ



③趣味関係のグループ

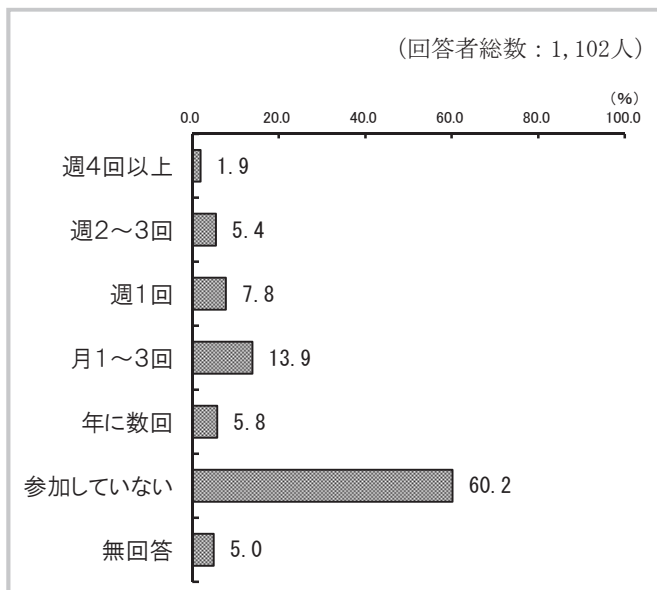
「月1～3回」が13.9%

趣味関係のグループへの参加状況は、「月1～3回」が13.9%となっています。一方、「参加していない」は60.2%となっています。

表 社会参加の状況
趣味関係のグループ 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	21（1.9）
週2～3回	60（5.4）
週1回	86（7.8）
月1～3回	153（13.9）
年に数回	64（5.8）
参加していない	663（60.2）
無回答	55（5.0）

図 社会参加の状況 趣味関係のグループ



④学習・教養サークル

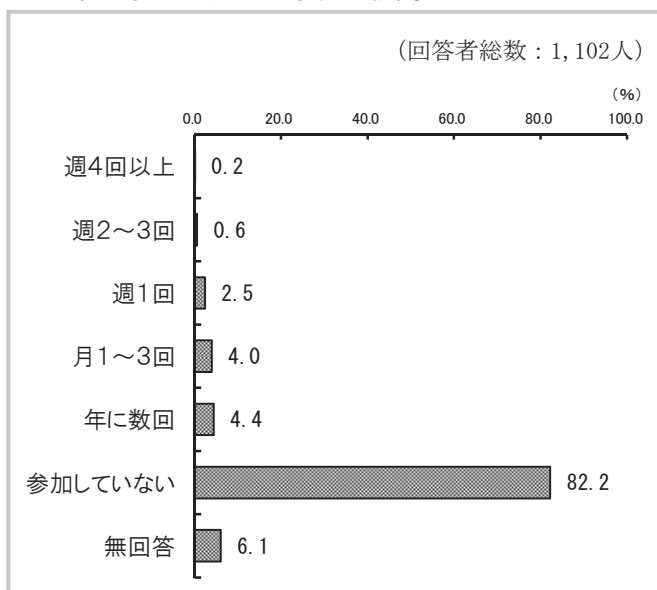
「年に数回」が4.4%

学習・教養サークルへの参加状況は、「年に数回」が4.4%となっています。一方、「参加していない」は82.2%となっています。

表 社会参加の状況
学習・教養サークル 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	2（0.2）
週2～3回	7（0.6）
週1回	27（2.5）
月1～3回	44（4.0）
年に数回	49（4.4）
参加していない	906（82.2）
無回答	67（6.1）

図 社会参加の状況 学習・教養サークル



⑤介護予防のための通いの場（筋トレや体操、お茶のみ会など）

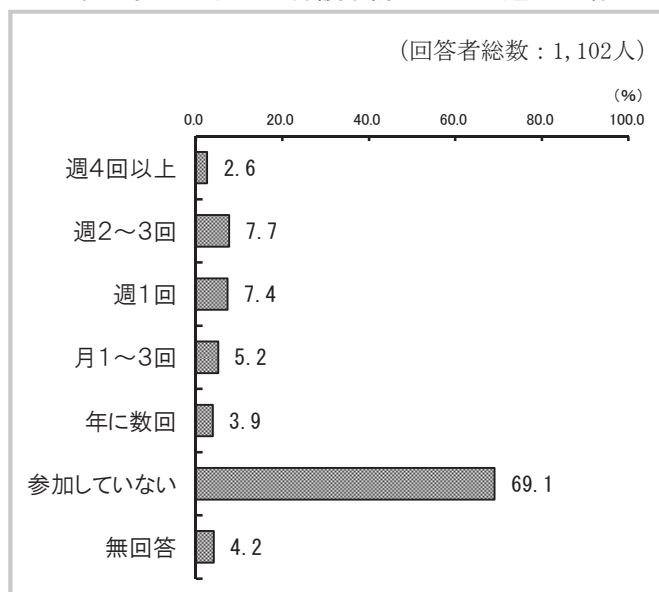
「週2～3回」が7.7%

介護予防のための通いの場（筋トレや体操、お茶のみ会など）への参加状況は、「週2～3回」が7.7%となっています。一方、「参加していない」が69.1%となっています。

表 社会参加の状況
介護予防のための通いの場 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	29（2.6）
週2～3回	85（7.7）
週1回	81（7.4）
月1～3回	57（5.2）
年に数回	43（3.9）
参加していない	761（69.1）
無回答	46（4.2）

図 社会参加の状況 介護予防のための通いの場



⑥老人クラブ

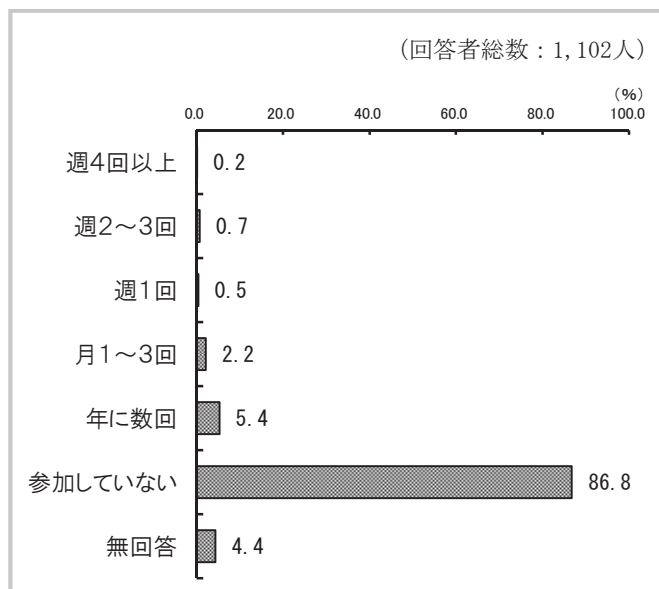
「年に数回」が5.4%

老人クラブへの参加状況は、「年に数回」が5.4%となっています。一方、「参加していない」が86.8%となっています。

表 社会参加の状況
老人クラブ 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	2（0.2）
週2～3回	8（0.7）
週1回	5（0.5）
月1～3回	24（2.2）
年に数回	59（5.4）
参加していない	956（86.8）
無回答	48（4.4）

図 社会参加の状況 老人クラブ



⑦行政区・町内会・自治会

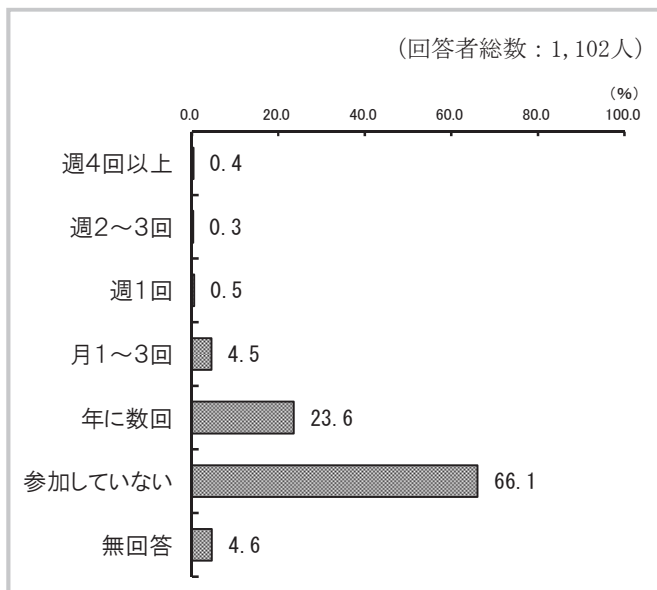
「年に数回」が23.6%

行政区・町内会・自治会への参加状況は、「年に数回」が23.6%となっています。一方、「参加していない」は66.1%となっています。

表 社会参加の状況
行政区・町内会・自治会 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	4（0.4）
週2～3回	3（0.3）
週1回	6（0.5）
月1～3回	50（4.5）
年に数回	260（23.6）
参加していない	728（66.1）
無回答	51（4.6）

図 社会参加の状況 行政区・町内会・自治会



⑧収入のある仕事

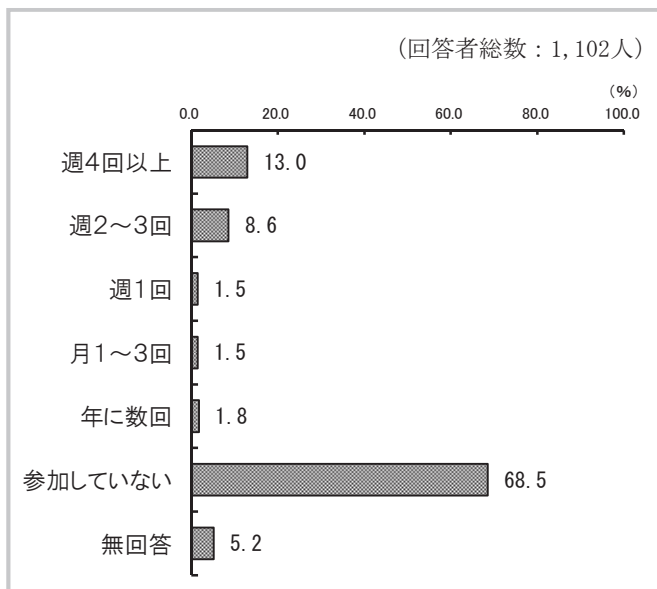
「週4回以上」が13.0%

収入のある仕事への参加状況は、「週4回以上」が13.0%となっています。一方、「参加していない」は68.5%となっています。

表 社会参加の状況
収入のある仕事 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
週4回以上	143（13.0）
週2～3回	95（8.6）
週1回	16（1.5）
月1～3回	16（1.5）
年に数回	20（1.8）
参加していない	755（68.5）
無回答	57（5.2）

図 社会参加の状況 収入のある仕事



（2）地域づくりの参加意向

問30 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
[1つに〇]

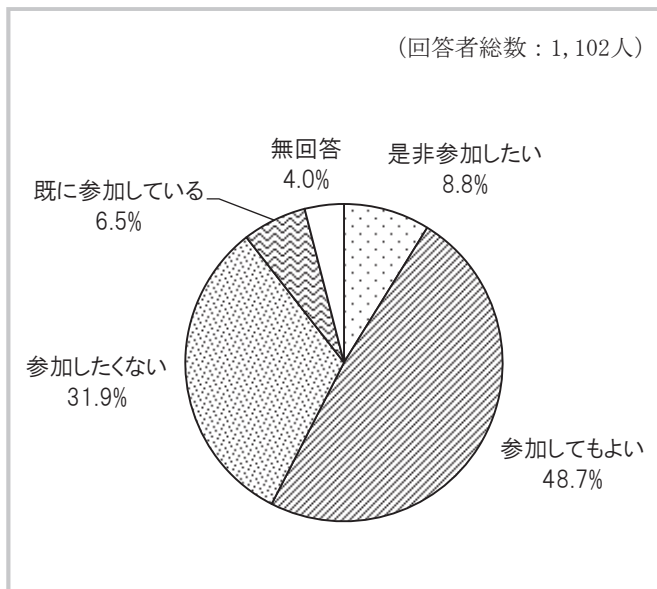
「参加してもよい」が48.7%

地域づくりの活動への参加意向については、「是非参加したい」が8.8%、「参加してもよい」が48.7%となっています。一方、「参加したくない」は31.9%となっています。

表 地域づくりの活動への参加意向

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
是非参加したい	97（8.8）
参加してもよい	537（48.7）
参加したくない	352（31.9）
既に参加している	72（6.5）
無回答	44（4.0）

図 地域づくりの活動への参加意向



問31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。[1つに〇]

「参加してもよい」が32.2%

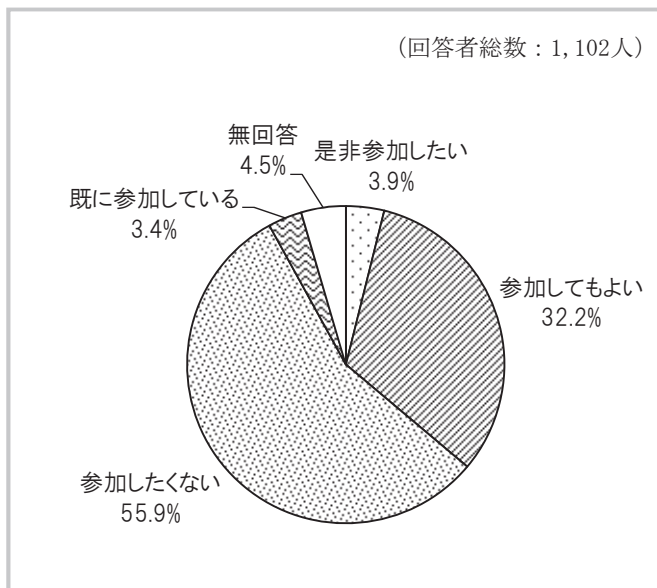
地域づくりの企画・運営（お世話役）の参加意向については、「是非参加したい」が3.9%、「参加してもよい」が32.2%となっています。

一方、「参加したくない」は55.9%となっています。

表 地域づくりの企画・運営の参加意向

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
是非参加したい	43（3.9）
参加してもよい	355（32.2）
参加したくない	616（55.9）
既に参加している	38（3.4）
無回答	50（4.5）

図 地域づくりの企画・運営の参加意向



7 たすけあいについて

(1) たすけあいについて

問32 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が59.9%

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が59.9%で、次いで「友人」が42.9%、「別居の子ども」が34.0%となっています。

一方、「そのような人はいない」は4.4%となっています。

図 心配事や愚痴を聞いてくれる人

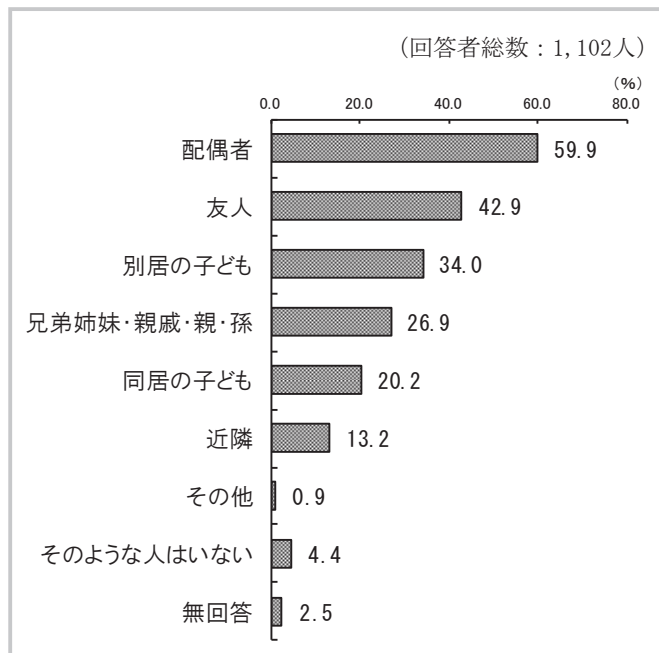


表 心配事や愚痴を聞いてくれる人

単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
配偶者	660 (59.9)
友人	473 (42.9)
別居の子ども	375 (34.0)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	296 (26.9)
同居の子ども	223 (20.2)
近隣	145 (13.2)
その他	10 (0.9)
そのような人はいない	49 (4.4)
無回答	28 (2.5)

問33 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が55.8%

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が55.8%で、次いで「友人」が42.2%、「別居の子ども」が30.8%となっています。

一方、「そのような人はいない」は7.2%となっています。

図 心配事や愚痴を聞いてあげる人

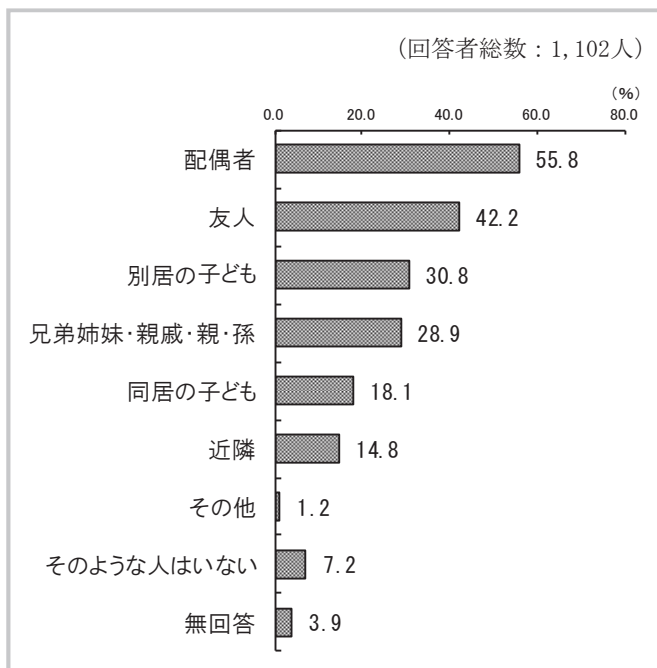


表 心配事や愚痴を聞いてあげる人

単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
配偶者	615 (55.8)
友人	465 (42.2)
別居の子ども	339 (30.8)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	318 (28.9)
同居の子ども	199 (18.1)
近隣	163 (14.8)
その他	13 (1.2)
そのような人はいない	79 (7.2)
無回答	43 (3.9)

問34 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が67.4%

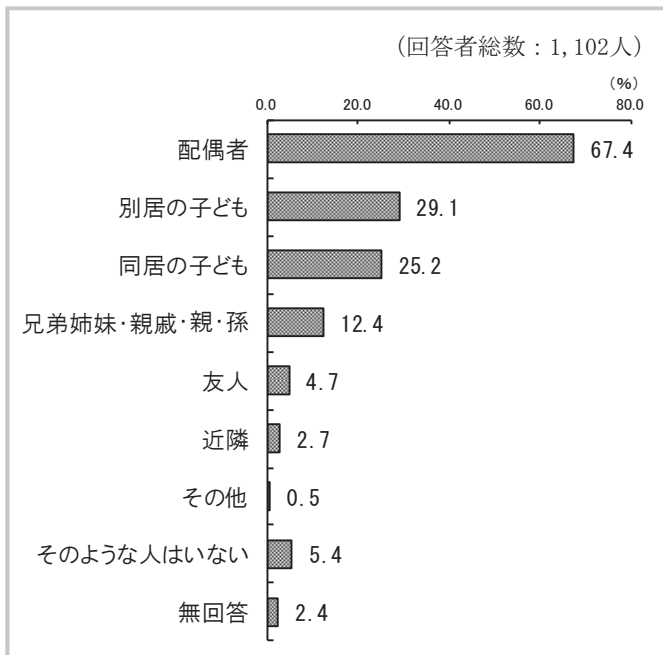
看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が67.4%で、次いで「別居の子ども」が29.1%、「同居の子ども」が25.2%となっています。

一方、「そのような人はいない」は5.4%となっています。

表 看病や世話をしてくれる人 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
配偶者	743 (67.4)
別居の子ども	321 (29.1)
同居の子ども	278 (25.2)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	137 (12.4)
友人	52 (4.7)
近隣	30 (2.7)
その他	6 (0.5)
そのような人はいない	60 (5.4)
無回答	26 (2.4)

図 看病や世話をしてくれる人



問35 反対に、看病や世話をしてあげる人 [あてはまるものすべてに○]

「配偶者」が68.1%

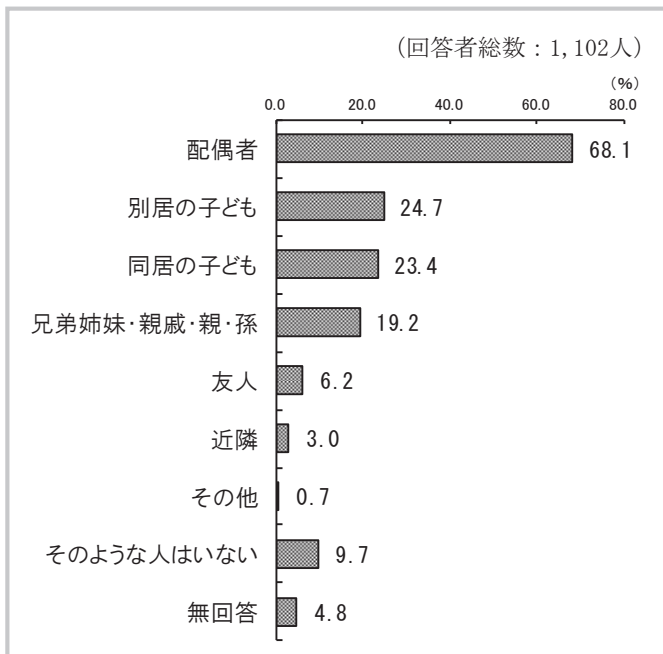
看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が68.1%で、次いで「別居の子ども」が24.7%、「同居の子ども」が23.4%となっています。

一方、「そのような人はいない」は9.7%となっています。

表 看病や世話をしてあげる人 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
配偶者	751 (68.1)
別居の子ども	272 (24.7)
同居の子ども	258 (23.4)
兄弟姉妹・親戚・親・孫	212 (19.2)
友人	68 (6.2)
近隣	33 (3.0)
その他	8 (0.7)
そのような人はいない	107 (9.7)
無回答	53 (4.8)

図 看病や世話をしてあげる人



（2）家族・友人・知人以外の相談相手

問36 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
[あてはまるものすべてに○]

「医師・歯科医師・看護師」が22.9%

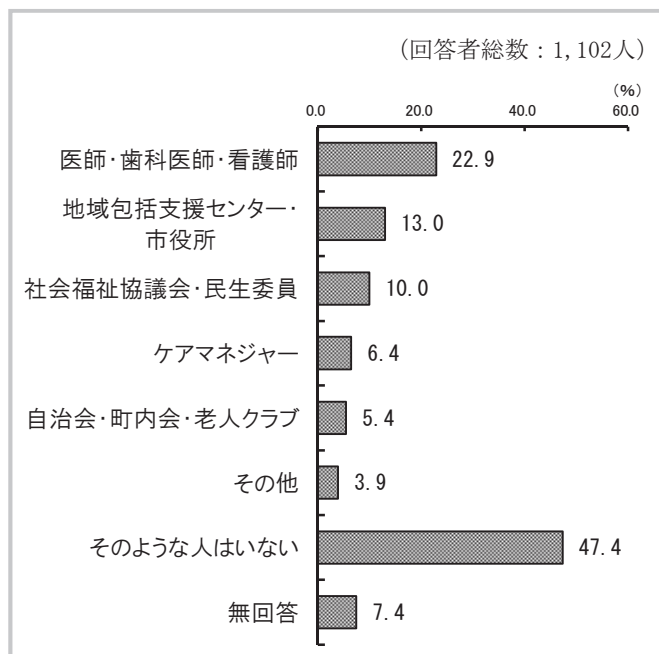
家族・友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が22.9%で、次いで「地域包括支援センター・市役所」が13.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が10.0%となっています。

一方、「そのような人はいない」は47.4%となっています。

表 家族や友人以外の相談相手 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
医師・歯科医師・看護師	252 (22.9)
地域包括支援センター・市役所	143 (13.0)
社会福祉協議会・民生委員	110 (10.0)
ケアマネジャー	71 (6.4)
自治会・町内会・老人クラブ	60 (5.4)
その他	43 (3.9)
そのような人はいない	522 (47.4)
無回答	82 (7.4)

図 家族や友人以外の相談相手



（3）友人・知人とのおつきあい

問37 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。[1つに〇]

「月に何度かある」が30.7%

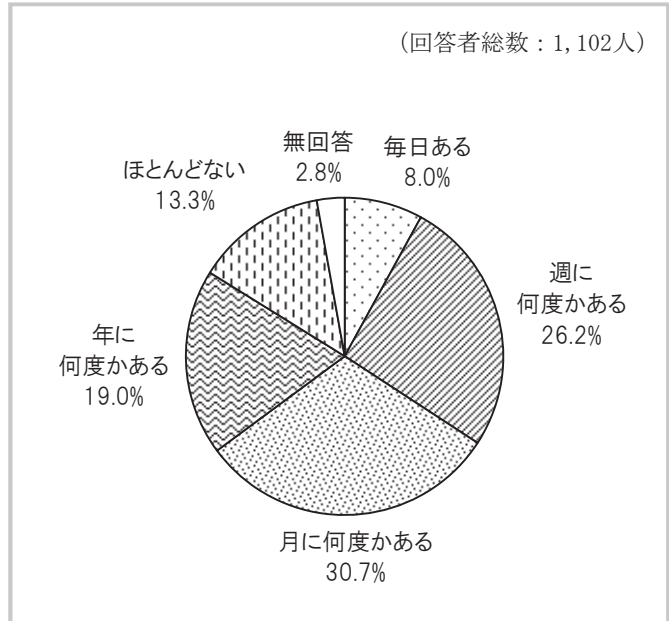
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が30.7%で、次いで「週に何度かある」が26.2%、「年に何度かある」が19.0%となっています。

一方、「ほとんどない」は13.3%となっています。

表 友人・知人と会う頻度 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
毎日ある	88（8.0）
週に何度かある	289（26.2）
月に何度かある	338（30.7）
年に何度かある	209（19.0）
ほとんどない	147（13.3）
無回答	31（2.8）

図 友人・知人と会う頻度



問38 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。[1つに〇]

「10人以上」が26.9%

この1か月間、何人の友人・知人に会ったかについては、「10人以上」が26.9%で、次いで「3～5人」が26.8%となっています。

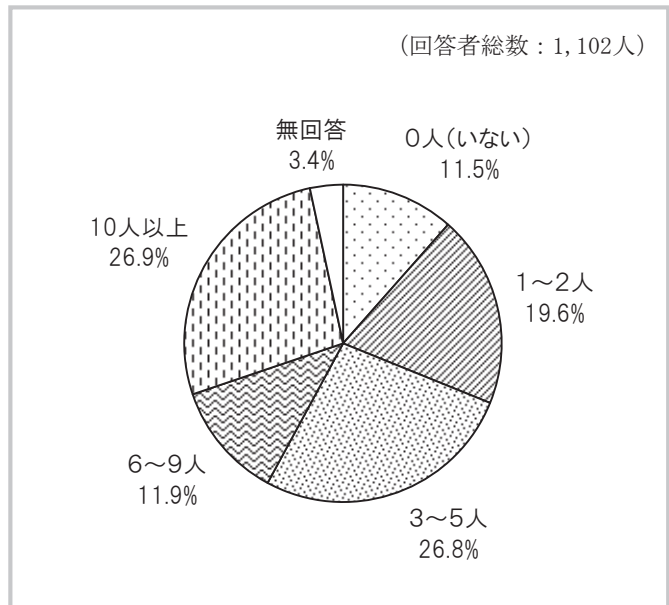
一方、「0人（いない）」は11.5%となっています。

表 1か月間に会った友人・知人の人数

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
0人（いない）	127（11.5）
1～2人	216（19.6）
3～5人	295（26.8）
6～9人	131（11.9）
10人以上	296（26.9）
無回答	37（3.4）

図 1か月間に会った友人・知人の人数



問39 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。[あてはまるものすべてに○]

「近所・同じ地域の人」が46.5%

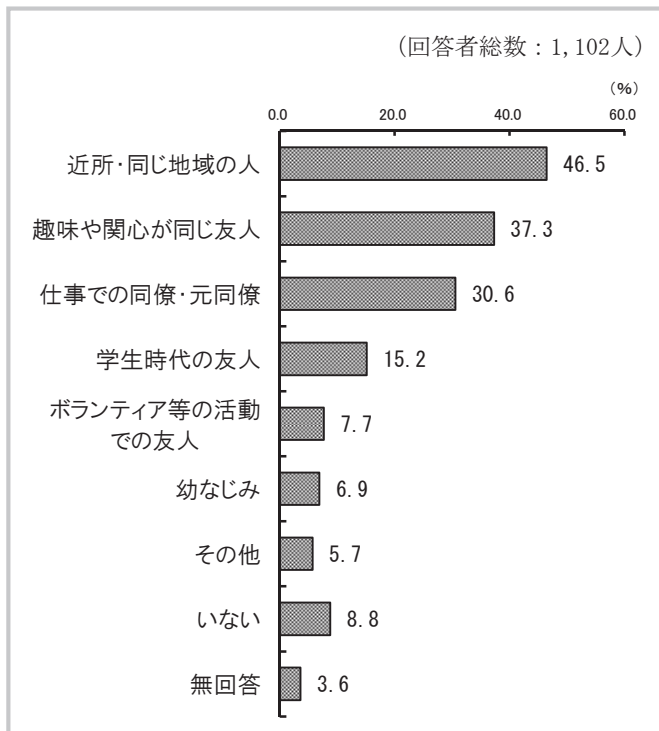
よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が46.5%で、次いで「趣味や関心が同じ友人」が37.3%、「仕事での同僚・元同僚」が30.6%となっています。

一方、「いない」は8.8%となっています。

表 よく会う友人・知人の関係 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
近所・同じ地域の人	512 (46.5)
趣味や関心が同じ友人	411 (37.3)
仕事での同僚・元同僚	337 (30.6)
学生時代の友人	167 (15.2)
ボランティア等の活動での友人	85 (7.7)
幼なじみ	76 (6.9)
その他	63 (5.7)
いない	97 (8.8)
無回答	40 (3.6)

図 よく会う友人・知人の関係



8 健康について

（1）主観的健康感

問40 現在のあなたの健康状態はいかがですか。[1つに○]

健康状態がよいと感じている人は76.3%

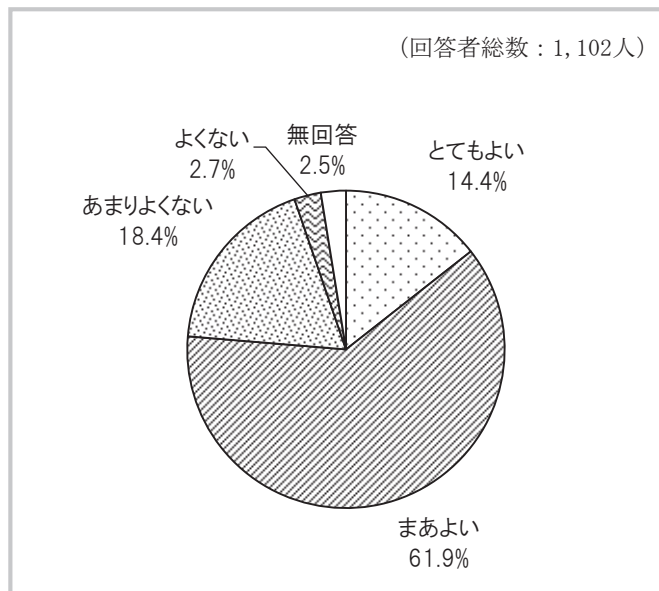
主観的健康感については、「とてもよい」が14.4%、「まあよい」が61.9%で、これらを合わせると76.3%となっています。

一方、「あまりよくない」は18.4%、「よくない」は2.7%で、これらを合わせると21.1%となっています。

表 主観的健康感 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
とてもよい	159 (14.4)
まあよい	682 (61.9)
あまりよくない	203 (18.4)
よくない	30 (2.7)
無回答	28 (2.5)

図 主観的健康感



（2）主観的幸福感

問41 あなたは、現在どの程度幸せですか。[1つに○]
 （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「5点」が19.8%

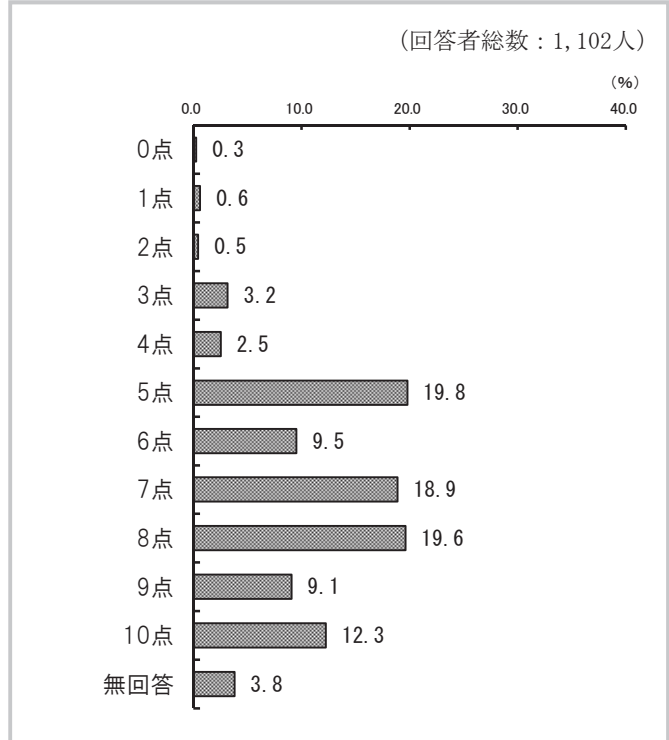
主観的幸福感については、10点満点中「5点」が19.8%、「8点」が19.6%、「7点」が18.9%となっています。

また、平均点を算出したところ 7.0点となっています。

表 主観的幸福感 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
0点	3（0.3）
1点	7（0.6）
2点	5（0.5）
3点	35（3.2）
4点	28（2.5）
5点	218（19.8）
6点	105（9.5）
7点	208（18.9）
8点	216（19.6）
9点	100（9.1）
10点	135（12.3）
無回答	42（3.8）

図 主観的幸福感



（3）うつ傾向

問42 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
[1つに〇]

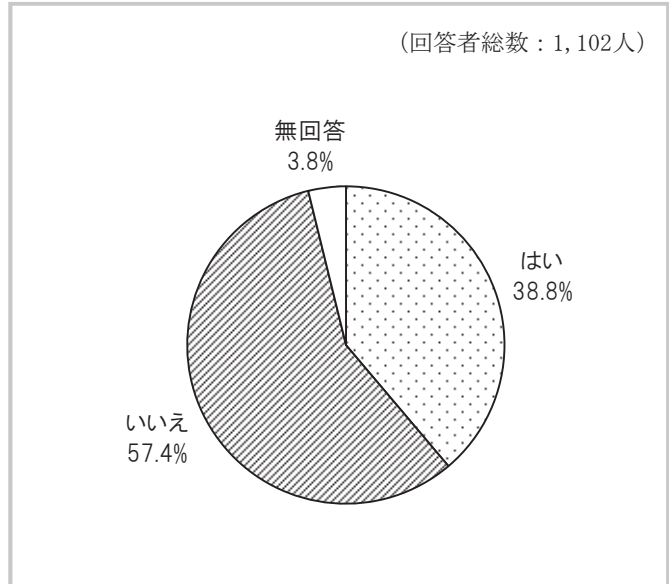
「はい」が38.8%

気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が38.8%、「いいえ」が57.4%となっています。

表 1か月間に気分が沈んだこと

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
はい	428 (38.8)
いいえ	632 (57.4)
無回答	42 (3.8)

図 1か月間に気分が沈んだこと



問43 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。[1つに〇]

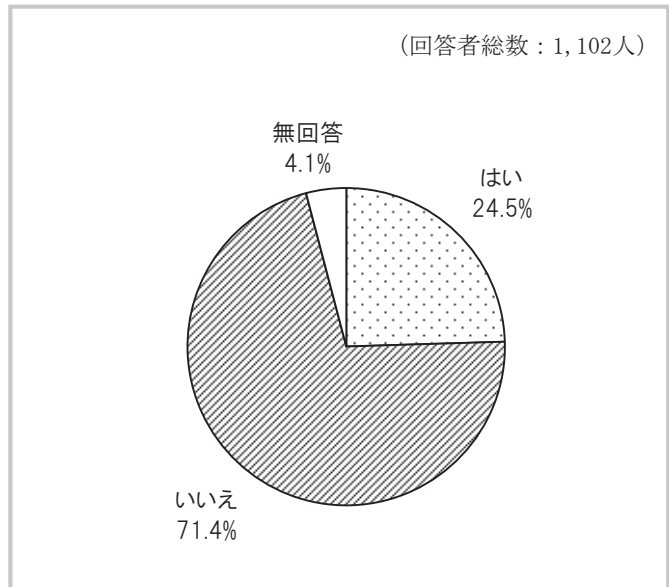
「はい」が24.5%

どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が24.5%、「いいえ」が71.4%となっています。

表 1か月間に物事に興味がわかないこと

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
はい	270 (24.5)
いいえ	787 (71.4)
無回答	45 (4.1)

図 1か月間に物事に興味がわかないこと



【うつ傾向について】

問42、43どちらかでも「はい」を選択した場合は、うつ傾向の高齢者となります。抽出を行った結果、うつ傾向の人は470人おり、全体の42.6%となっています。

（4）喫煙習慣

問44 タバコは吸っていますか。[1つに○]

喫煙習慣のある人は 7.8%

喫煙については、「ほぼ毎日吸っている」が 6.7%、「時々吸っている」が 1.1%で、これらを合わせると 7.8%となっています。

また、「吸っていたがやめた」は30.1%、「もともと吸っていない」は59.8%となっています。

図 喫煙習慣

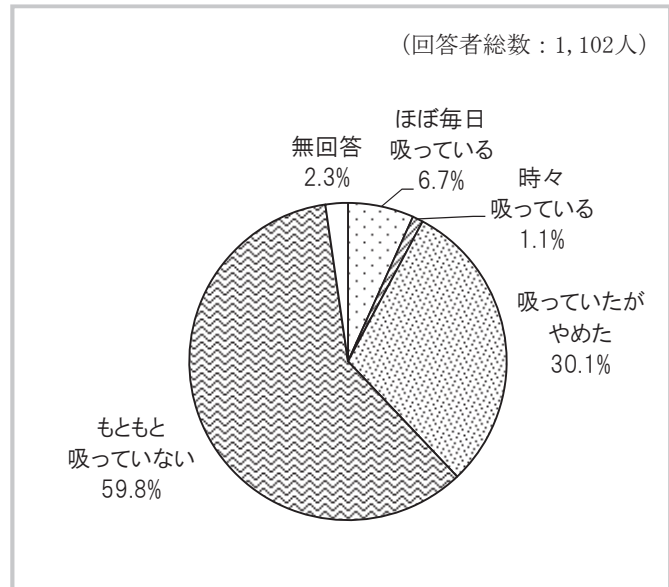


表 喫煙習慣 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
ほぼ毎日吸っている	74 (6.7)
時々吸っている	12 (1.1)
吸っていたがやめた	332 (30.1)
もともと吸っていない	659 (59.8)
無回答	25 (2.3)

（5）治療中・後遺症のある病気

問45 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。[あてはまるものすべてに○]

「高血圧」が40.6%

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が40.6%で、次いで「目の病気」が21.3%、「糖尿病」が13.5%となっています。

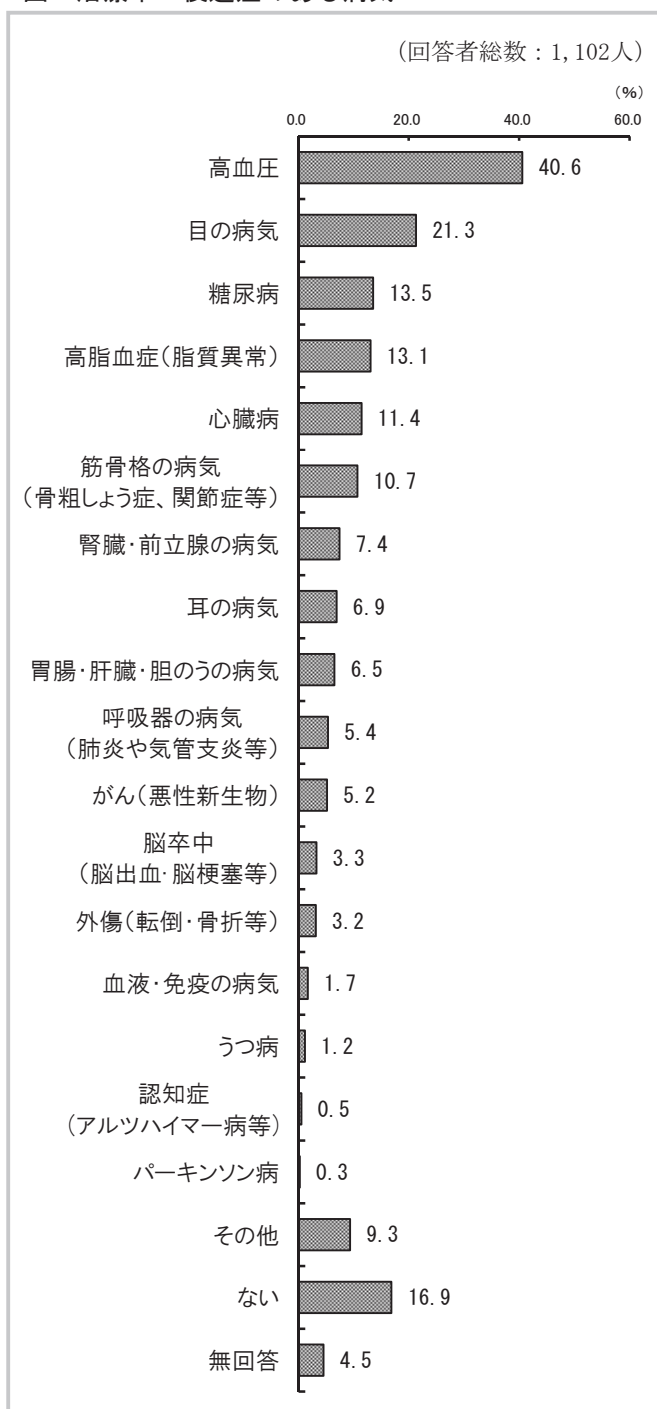
また、「高脂血症（脂質異常）」が13.1%、「心臓病」が11.4%となっています。

一方、「ない」は16.9%となっています。

表 治療中・後遺症のある病気 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
高血圧	447 (40.6)
目の病気	235 (21.3)
糖尿病	149 (13.5)
高脂血症（脂質異常）	144 (13.1)
心臓病	126 (11.4)
筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）	118 (10.7)
腎臓・前立腺の病気	82 (7.4)
耳の病気	76 (6.9)
胃腸・肝臓・胆のうの病気	72 (6.5)
呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	59 (5.4)
がん（悪性新生物）	57 (5.2)
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	36 (3.3)
外傷（転倒・骨折等）	35 (3.2)
血液・免疫の病気	19 (1.7)
うつ病	13 (1.2)
認知症（アルツハイマー病等）	6 (0.5)
パーキンソン病	3 (0.3)
その他	103 (9.3)
ない	186 (16.9)
無回答	50 (4.5)

図 治療中・後遺症のある病気



【 性別、前期・後期高齢者別 】

治療中や後遺症のある病気を、性別、前期・後期高齢者別にみると、男女ともに「高血圧」が多く、後期高齢者ではさらに割合が多くなっています。また、男性の後期高齢者、女性の前期・後期高齢者では、2番目に「目の病気」が多くなっています。

女性の後期高齢者では、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が19.6%で、他の層と比較して割合が多くなっています。

表 性別、前期・後期高齢者別にみた治療中・後遺症のある病気 単位：人（%）

項目	全体	性別、前期・後期高齢者別			
		男性		女性	
		前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
回答者総数（人）	1,102	267	233	299	280
高血圧	447 (40.6)	111 (41.6)	105 (45.1)	98 (32.8)	124 (44.3)
目の病気	235 (21.3)	42 (15.7)	54 (23.2)	62 (20.7)	74 (26.4)
糖尿病	149 (13.5)	42 (15.7)	36 (15.5)	30 (10.0)	39 (13.9)
高脂血症（脂質異常）	144 (13.1)	37 (13.9)	17 (7.3)	53 (17.7)	36 (12.9)
心臓病	126 (11.4)	22 (8.2)	38 (16.3)	25 (8.4)	39 (13.9)
筋骨格の病気 （骨粗しょう症、関節症等）	118 (10.7)	4 (1.5)	17 (7.3)	40 (13.4)	55 (19.6)
腎臓・前立腺の病気	82 (7.4)	25 (9.4)	47 (20.2)	2 (0.7)	6 (2.1)
耳の病気	76 (6.9)	20 (7.5)	24 (10.3)	10 (3.3)	21 (7.5)
胃腸・肝臓・胆のうの病気	72 (6.5)	18 (6.7)	10 (4.3)	18 (6.0)	26 (9.3)
呼吸器の病気 （肺炎や気管支炎等）	59 (5.4)	9 (3.4)	15 (6.4)	10 (3.3)	25 (8.9)
がん（悪性新生物）	57 (5.2)	19 (7.1)	10 (4.3)	15 (5.0)	13 (4.6)
脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	36 (3.3)	12 (4.5)	10 (4.3)	5 (1.7)	9 (3.2)
外傷（転倒・骨折等）	35 (3.2)	2 (0.7)	6 (2.6)	7 (2.3)	20 (7.1)
血液・免疫の病気	19 (1.7)	2 (0.7)	3 (1.3)	8 (2.7)	5 (1.8)
うつ病	13 (1.2)	1 (0.4)	3 (1.3)	6 (2.0)	3 (1.1)
認知症（アルツハイマー病等）	6 (0.5)	1 (0.4)	3 (1.3)	0 (0.0)	2 (0.7)
パーキンソン病	3 (0.3)	2 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.4)
その他	103 (9.3)	13 (4.9)	17 (7.3)	41 (13.7)	27 (9.6)
ない	186 (16.9)	60 (22.5)	34 (14.6)	58 (19.4)	31 (11.1)
無回答	50 (4.5)	8 (3.0)	14 (6.0)	12 (4.0)	14 (5.0)

※性別及び年齢の無回答者 23人を除いている。

（6）認知症の相談窓口について

問46 認知症の症状がある、または、家族に認知症の症状のある人がいますか。[1つに○]

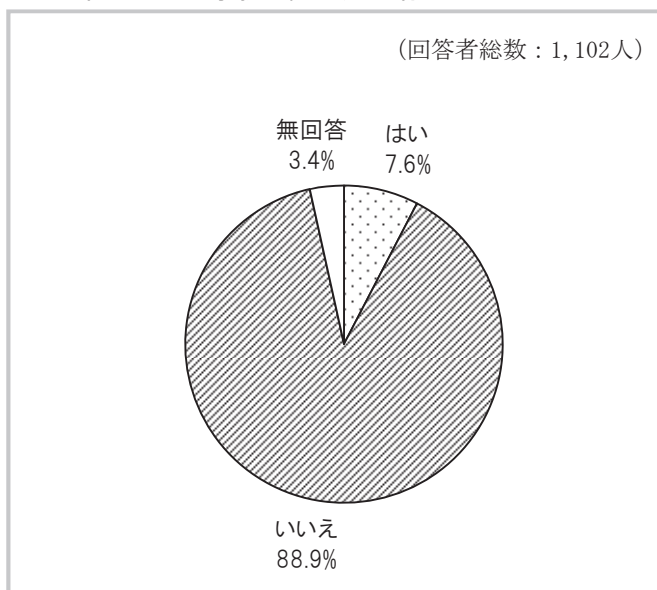
「はい」が7.6%

本人または家族の認知症の有無については、「はい」が7.6%、「いいえ」が88.9%となっています。

表 本人または家族の認知症の有無

単位：人（%）	
区分	全体
回答者総数（人）	1,102
はい	84（7.6）
いいえ	980（88.9）
無回答	38（3.4）

図 本人または家族の認知症の有無



問47 認知症に関する相談窓口を知っていますか。[1つに○]

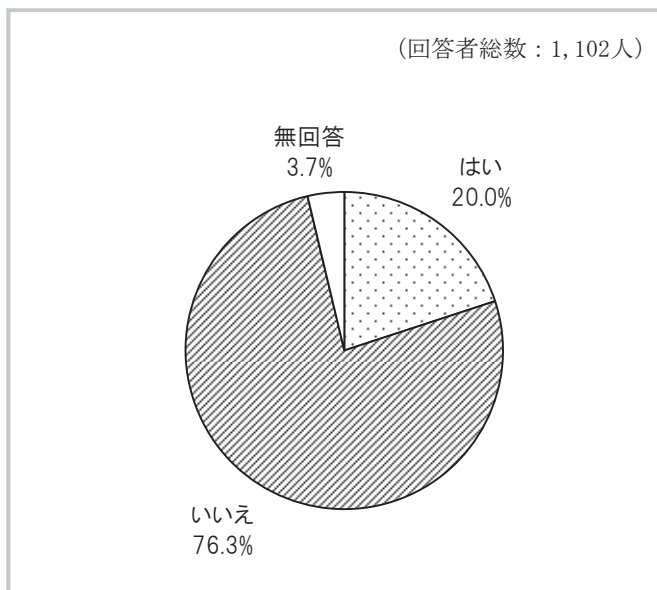
「はい」が20.0%

認知症の相談窓口の周知度については、「はい」が20.0%、「いいえ」が76.3%となっています。

表 認知症の相談窓口の周知度

単位：人（%）	
区分	全体
回答者総数（人）	1,102
はい	220（20.0）
いいえ	841（76.3）
無回答	41（3.7）

図 認知症の相談窓口の周知度



9 高齢者福祉や介護保険等について

(1) 生きがいや楽しみ

問48 あなたの生活の中で、生きがいや楽しみは何ですか。[主なものを3つ以内で○]

「テレビやラジオ」が42.7%

生きがいや楽しみについては、「テレビやラジオ」が42.7%で、次いで「食べたり飲んだりすること」が34.5%、「友人・仲間との交流」が32.7%となっています。

また、「散歩や買い物などの外出」は27.8%、「旅行（日帰りの小旅行を含む）」は26.7%となっています。

図 生きがいや楽しみ

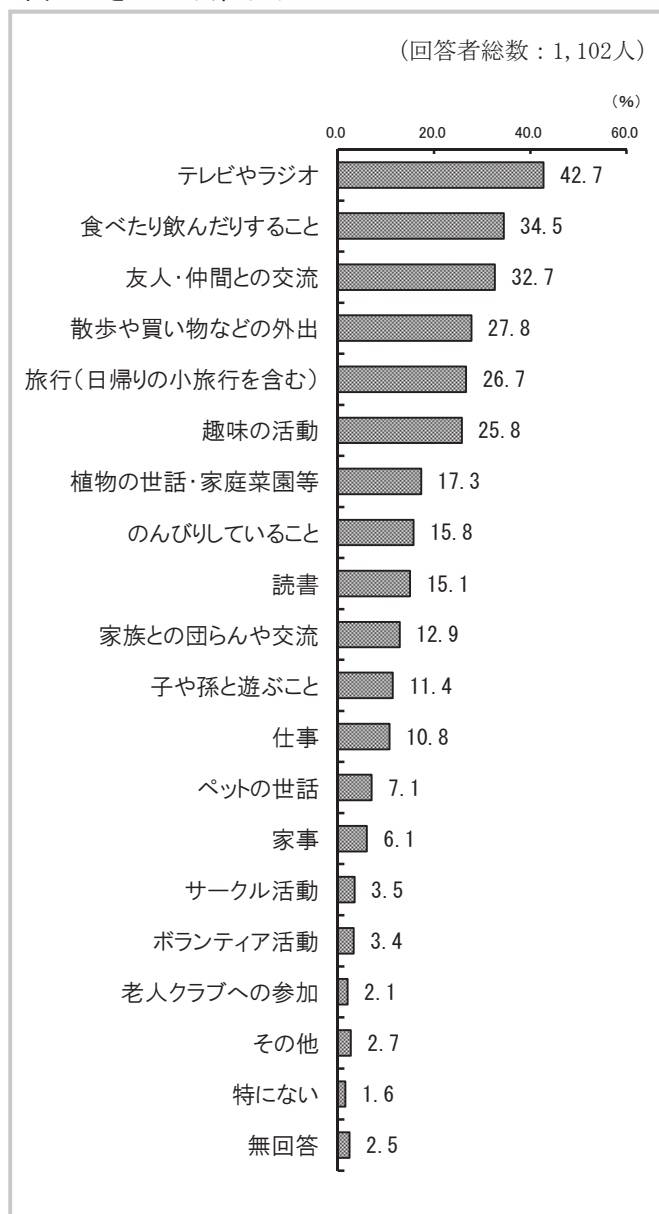


表 生きがいや楽しみ 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	1,102
テレビやラジオ	471 (42.7)
食べたり飲んだりすること	380 (34.5)
友人・仲間との交流	360 (32.7)
散歩や買い物などの外出	306 (27.8)
旅行（日帰りの小旅行を含む）	294 (26.7)
趣味の活動	284 (25.8)
植物の世話・家庭菜園等	191 (17.3)
のんびりしていること	174 (15.8)
読書	166 (15.1)
家族との団らんや交流	142 (12.9)
子や孫と遊ぶこと	126 (11.4)
仕事	119 (10.8)
ペットの世話	78 (7.1)
家事	67 (6.1)
サークル活動	39 (3.5)
ボランティア活動	37 (3.4)
老人クラブへの参加	23 (2.1)
その他	30 (2.7)
特にない	18 (1.6)
無回答	27 (2.5)

【 性別、前期・後期高齢者別 】

生きがいや楽しみを性別、前期・後期高齢者別にみると、男性の前期高齢者と後期高齢者、女性の後期高齢者では「テレビやラジオ」が最も多くなっています。一方、女性の前期高齢者では「友人・仲間との交流」が最も多くなっています。

表 性別、前期・後期高齢者別にみた生きがいや楽しみ

単位：人（％）

項目	全体	性別、前期・後期高齢者別			
		男性		女性	
		前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
回答者総数（人）	1,102	267	233	299	280
テレビやラジオ	471 (42.7)	116 (43.4)	118 (50.6)	98 (32.8)	130 (46.4)
食べたり飲んだりすること	380 (34.5)	104 (39.0)	93 (39.9)	100 (33.4)	76 (27.1)
友人・仲間との交流	360 (32.7)	68 (25.5)	62 (26.6)	128 (42.8)	93 (33.2)
散歩や買い物などの外出	306 (27.8)	52 (19.5)	52 (22.3)	99 (33.1)	99 (35.4)
旅行（日帰りの小旅行を含む）	294 (26.7)	76 (28.5)	53 (22.7)	101 (33.8)	61 (21.8)
趣味の活動	284 (25.8)	101 (37.8)	59 (25.3)	78 (26.1)	40 (14.3)
植物の世話・家庭菜園等	191 (17.3)	41 (15.4)	41 (17.6)	55 (18.4)	52 (18.6)
のんびりしていること	174 (15.8)	44 (16.5)	43 (18.5)	40 (13.4)	41 (14.6)
読書	166 (15.1)	46 (17.2)	33 (14.2)	38 (12.7)	47 (16.8)
家族との団らんや交流	142 (12.9)	31 (11.6)	30 (12.9)	47 (15.7)	33 (11.8)
子や孫と遊ぶこと	126 (11.4)	28 (10.5)	23 (9.9)	54 (18.1)	19 (6.8)
仕事	119 (10.8)	51 (19.1)	24 (10.3)	31 (10.4)	10 (3.6)
ペットの世話	78 (7.1)	23 (8.6)	10 (4.3)	27 (9.0)	17 (6.1)
家事	67 (6.1)	3 (1.1)	9 (3.9)	33 (11.0)	21 (7.5)
サークル活動	39 (3.5)	5 (1.9)	6 (2.6)	15 (5.0)	12 (4.3)
ボランティア活動	37 (3.4)	8 (3.0)	5 (2.1)	20 (6.7)	4 (1.4)
老人クラブへの参加	23 (2.1)	1 (0.4)	12 (5.2)	3 (1.0)	7 (2.5)
その他	30 (2.7)	9 (3.4)	8 (3.4)	4 (1.3)	9 (3.2)
特にない	18 (1.6)	4 (1.5)	3 (1.3)	6 (2.0)	5 (1.8)
無回答	27 (2.5)	2 (0.7)	6 (2.6)	2 (0.7)	15 (5.4)

※性別及び年齢の無回答者 23人を除いている。

（2）薬局について

問49 処方された薬などの相談ができる薬局はありますか。[1つに○]

「ある」が65.2%

処方された薬などの相談ができる薬局があるかについては、「ある」が65.2%となっています。

一方、「ない」は29.6%となっています。

図 相談できる薬局の有無

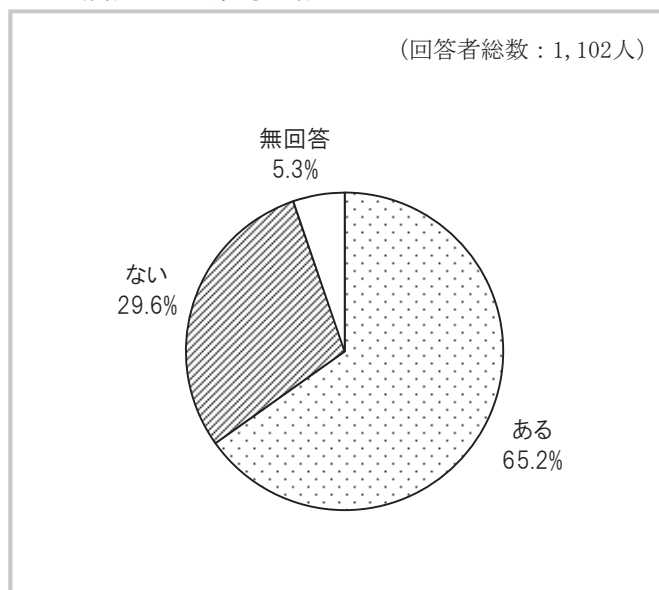


表 相談できる薬局の有無 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
ある	718 (65.2)
ない	326 (29.6)
無回答	58 (5.3)

問50 薬を処方された時に、現在内服等しているすべての薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供していますか。[1つに○]

「必ず情報提供している」が66.8%

薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供しているかについては、「必ず情報提供している」が66.8%となっています。

一方、「情報提供していない」は14.8%となっています。

図 お薬手帳の活用状況

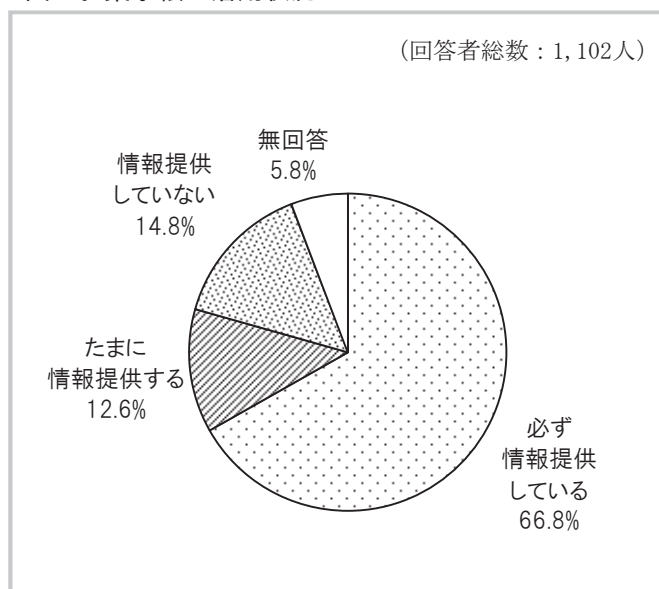


表 お薬手帳の活用状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
必ず情報提供している	736 (66.8)
たまに情報提供する	139 (12.6)
情報提供していない	163 (14.8)
無回答	64 (5.8)

（3）ジェネリック医薬品の利用状況

問51 ジェネリック医薬品（後発医薬品）を利用していますか。[1つに〇]

「積極的に利用している」が36.0%

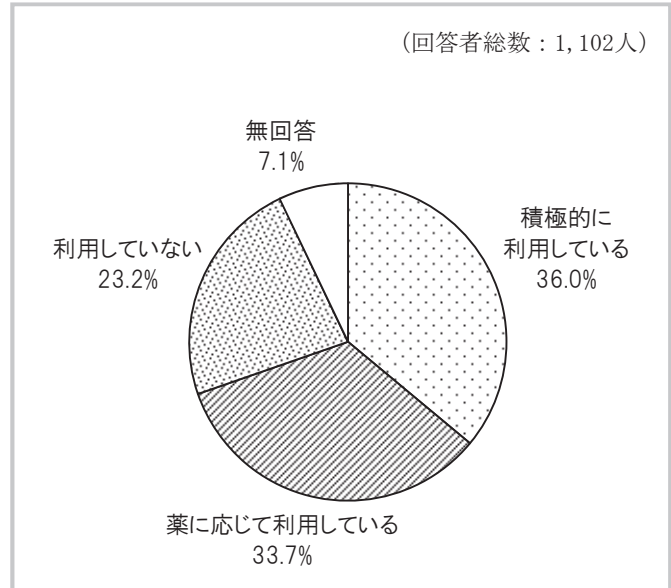
ジェネリック医薬品の利用については、「積極的に利用している」が36.0%、「薬に応じて利用している」が33.7%となっています。

一方、「利用していない」は23.2%となっています。

表 ジェネリック医薬品の利用状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
積極的に利用している	397 (36.0)
薬に応じて利用している	371 (33.7)
利用していない	256 (23.2)
無回答	78 (7.1)

図 ジェネリック医薬品の利用状況



問52 [問51で「利用していない」と回答した方] 利用しない主な理由は次のどれですか。[1つに〇]

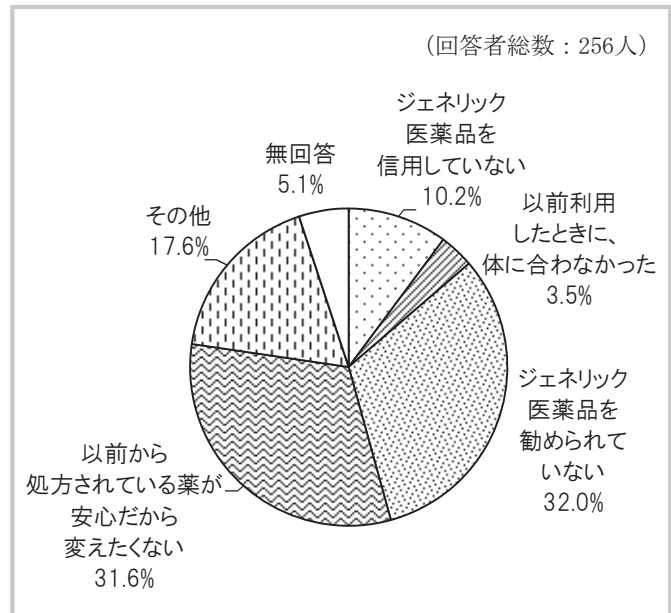
「勧められていない」が32.0%

ジェネリック医薬品を利用していない理由については、「ジェネリック医薬品を勧められていない」が32.0%、「以前から処方されている薬が安心だから変えたくない」が31.6%となっています。

表 ジェネリック医薬品を利用しない理由 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	256
ジェネリック医薬品を信用していない	26 (10.2)
以前利用したときに、体に合わなかった	9 (3.5)
ジェネリック医薬品を勧められていない	82 (32.0)
以前から処方されている薬が安心だから変えたくない	81 (31.6)
その他	45 (17.6)
無回答	13 (5.1)

図 ジェネリック医薬品を利用しない理由



（４）介護予防のために参加したい講座

問53 介護予防や健康づくりのために参加してみたい講座や教室はどのようなものですか。
[主なものを2つ以内で〇]

「体操・運動」が25.6%

介護予防や健康づくりのために参加してみたい講座や教室については、「体操・運動」が25.6%で、次いで「健康管理」が20.8%となっています。また、「頭の体操・脳トレ」は16.6%、「ウォーキング」は16.5%となっています。

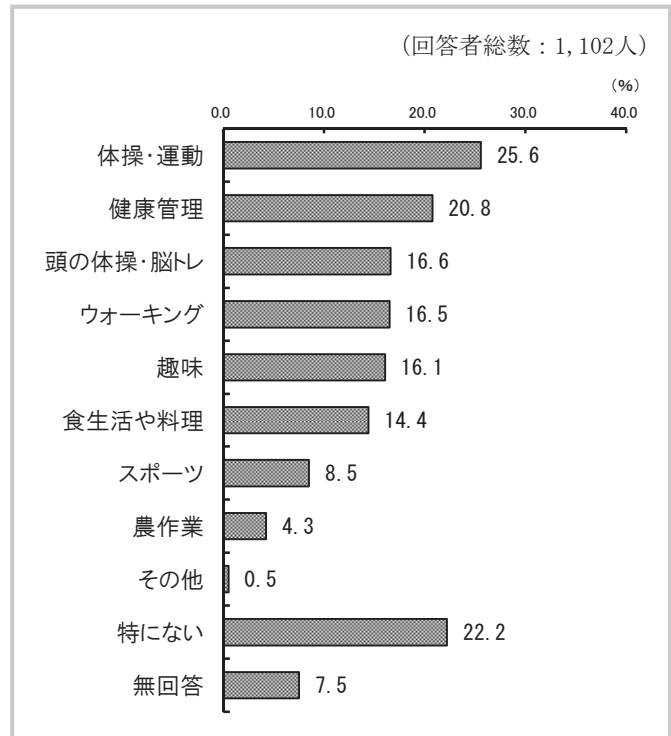
一方、「特にない」は22.2%となっています。

表 介護予防のために参加したい講座

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
体操・運動	282 (25.6)
健康管理	229 (20.8)
頭の体操・脳トレ	183 (16.6)
ウォーキング	182 (16.5)
趣味	177 (16.1)
食生活や料理	159 (14.4)
スポーツ	94 (8.5)
農作業	47 (4.3)
その他	6 (0.5)
特にない	245 (22.2)
無回答	83 (7.5)

図 介護予防のために参加したい講座



（5）認知症について関心があること

問54 認知症についてどんなことに関心がありますか。[主なものを2つ以内で○]

「認知症の予防に効果的な方法」が55.1%

認知症について関心があることについては、「認知症の予防に効果的な方法」が55.1%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が39.9%となっています。

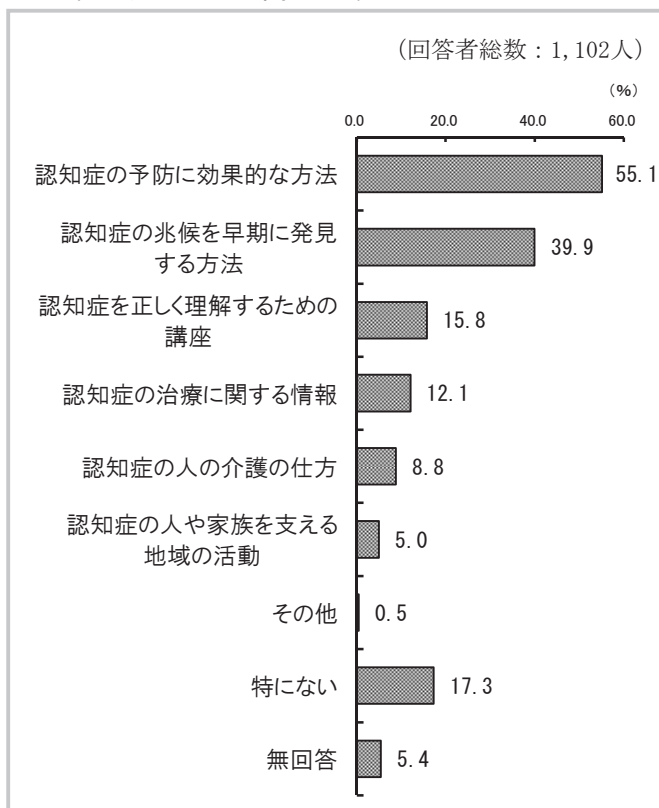
一方、「特にない」は17.3%となっています。

表 認知症について関心があること

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
認知症の予防に効果的な方法	607 (55.1)
認知症の兆候を早期に発見する方法	440 (39.9)
認知症を正しく理解するための講座	174 (15.8)
認知症の治療に関する情報	133 (12.1)
認知症の人の介護の仕方	97 (8.8)
認知症の人や家族を支える地域の活動	55 (5.0)
その他	5 (0.5)
特にない	191 (17.3)
無回答	60 (5.4)

図 認知症について関心があること



（6）成年後見制度の周知度

問55 あなたは、成年後見制度（判断力が低下した方への支援制度）を知っていますか。[1つに○]

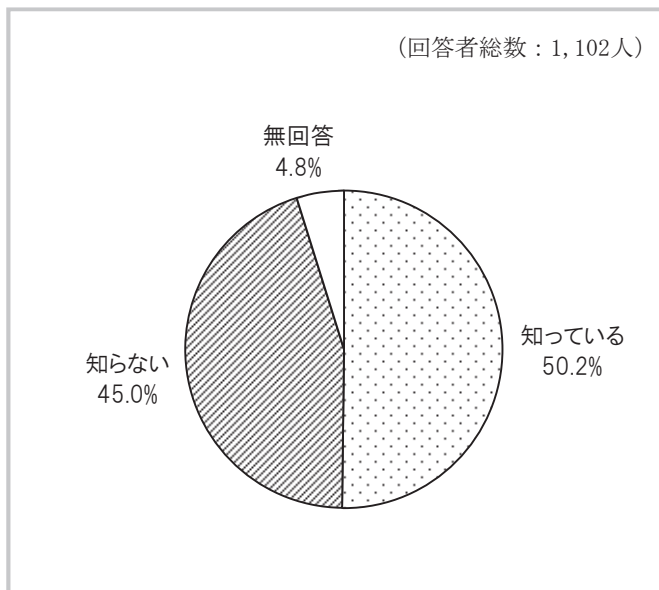
「知っている」が50.2%

成年後見制度の周知度については、「知っている」が50.2%、「知らない」が45.0%となっています。

表 成年後見制度の周知度 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
知っている	553 (50.2)
知らない	496 (45.0)
無回答	53 (4.8)

図 成年後見制度の周知度



（7）地域包括支援センターの周知度

問56 高齢者介護や介護予防などについて総合的に対応し、さまざまな相談に応じる窓口として、「地域包括支援センター」が設置されています。あなたは、地域包括支援センターをご存知ですか。[1つに○]

「名前くらいは聞いたことはある」が38.2%

地域包括支援センターの周知度については、「どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている」が27.7%、「名前くらいは聞いたことはある」が38.2%で、これらを合わせると65.9%となっています。

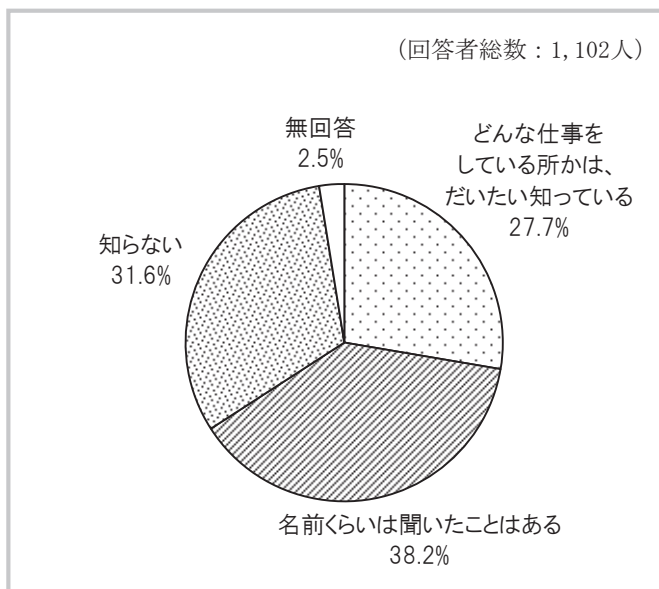
一方、「知らない」は31.6%となっています。

表 地域包括支援センターの周知度

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている	305 (27.7)
名前くらいは聞いたことはある	421 (38.2)
知らない	348 (31.6)
無回答	28 (2.5)

図 地域包括支援センターの周知度



（8）介護の意向

問57 今後仮に、あなたに介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。[1つに○]

「自宅で介護を受けたい」が38.6%

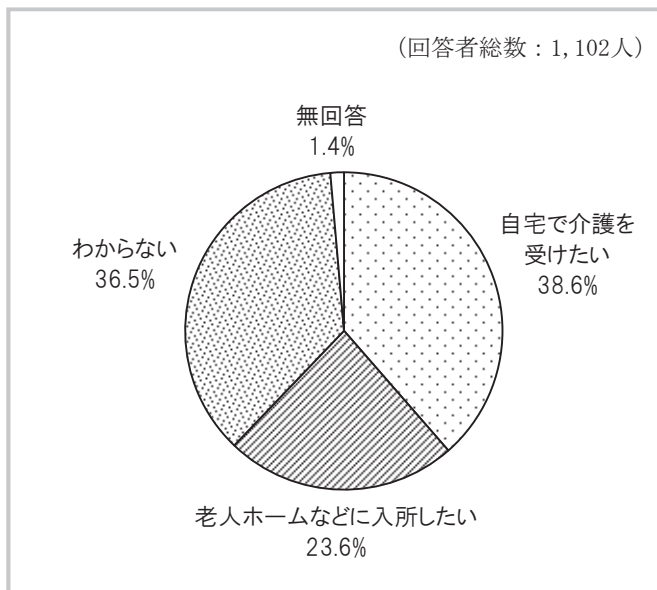
介護が必要となった場合にどのようにしたいかについては、「自宅で介護を受けたい」が38.6%となっています。

一方、「老人ホームなどに入所したい」は23.6%、「わからない」は36.5%となっています。

表 介護の意向 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
自宅で介護を受けたい	425 (38.6)
老人ホームなどに入所したい	260 (23.6)
わからない	402 (36.5)
無回答	15 (1.4)

図 介護の意向



（9）行政に期待すること

問58 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
 [主なものを3つ以内で〇]

「自宅で受ける介護保険サービスの充実」
 が54.4%

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待することについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が54.4%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が39.0%、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が28.5%となっています。

また、「病院や診療所などの医療機関の充実」は26.2%、「デイサービスなど通所サービスの充実」は22.8%となっています。

図 行政に期待すること

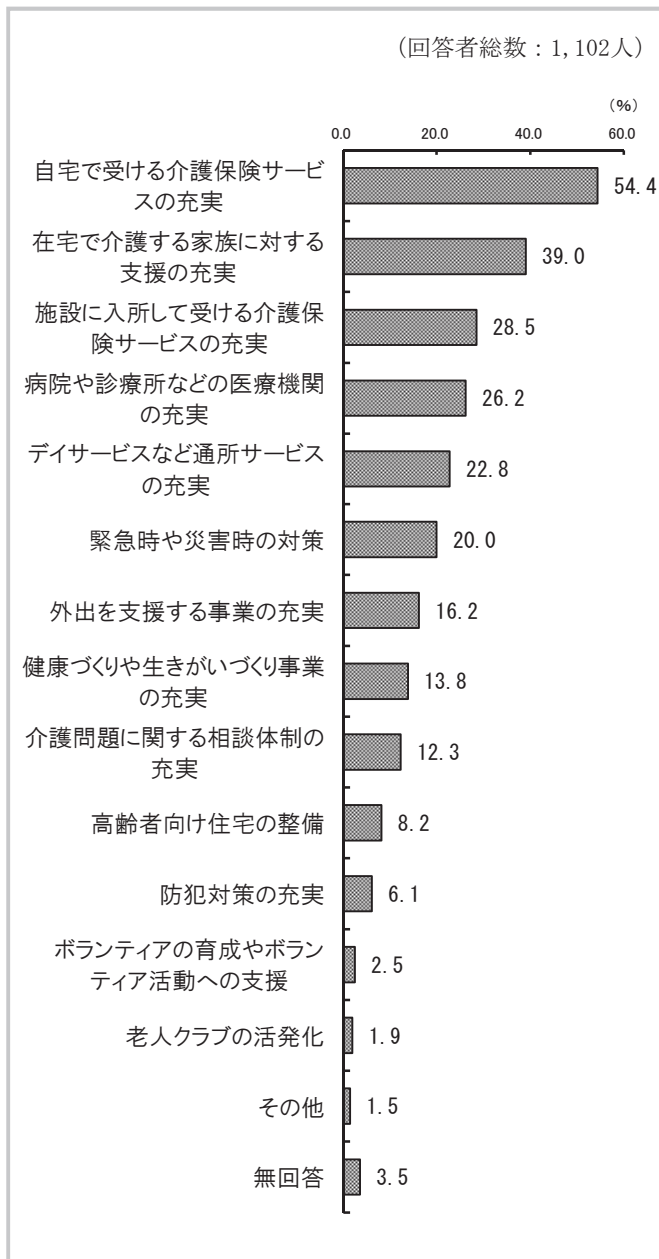


表 行政に期待すること 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	1,102
自宅で受ける介護保険サービスの充実	599 (54.4)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	430 (39.0)
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	314 (28.5)
病院や診療所などの医療機関の充実	289 (26.2)
デイサービスなど通所サービスの充実	251 (22.8)
緊急時や災害時の対策	220 (20.0)
外出を支援する事業の充実	179 (16.2)
健康づくりや生きがいづくり事業の充実	152 (13.8)
介護問題に関する相談体制の充実	135 (12.3)
高齢者向け住宅の整備	90 (8.2)
防犯対策の充実	67 (6.1)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	27 (2.5)
老人クラブの活発化	21 (1.9)
その他	16 (1.5)
無回答	39 (3.5)

10 第1号被保険者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）のまとめ

①回答者の属性

この調査の回答者の性別については、「男性」が45.7%、「女性」が53.0%となっており、女性の方が多くなっています。

年齢構成をみると、「65～69歳」が23.7%、「70～74歳」が27.9%で、これらを合わせると前期高齢者が過半数を占めています。また、「75～79歳」は24.6%、「80～84歳」は14.8%、「85～89歳」は5.8%、「90歳以上」は1.4%で、これらを合わせると後期高齢者は46.6%となっています。これを前回の調査結果と比較すると、後期高齢者が9.8ポイント増加しています。

居住地域を日常生活圏域でみると、「日勝圏域」が43.9%、「篠津・大山圏域」が54.7%となっています。

介護保険制度の「要支援」認定を受けているかについては、「総合事業対象者」が1.0%、「要支援1」が5.0%、「要支援2」は3.3%、「認定を受けていない」が87.5%となっています。

②家族や生活状況について

家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が44.7%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が5.3%で、これらを合わせると夫婦2人の世帯が半数となっています。また、「1人暮らし」は12.3%となっています。これを前回の調査結果と比較すると、「夫婦2人の世帯」は2.3ポイント増加し、「1人暮らし」についても2.0ポイント増加しています。

普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」が85.3%となっています。一方、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は7.4%、「現在、何らかの介護を受けている」は5.4%となっています。

現在の暮らしの経済状況については、「ふつう」が60.3%ですが、「大変苦しい」が7.2%、「やや苦しい」が20.8%で、これらを合わせると苦しいと感じている割合は28.0%となっています。

世帯全体の年収(年金含む)については、「200～300万円未満」が22.6%で、次いで「300～400万円未満」が18.8%、「150～200万円未満」が12.2%となっています。

住まいについては、「持家(一戸建て)」が多く、88.8%となっています。

③からだを動かすことについて

運動機能と転倒リスクに関しては、『階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか』については「できない」が17.0%、『椅子から何もつかまらずに立ち上がっているか』については「できない」が11.2%となっています。『15分位続けて歩いているか』については「できない」が8.2%となっています。「できない」という割合がそれぞれの項目で1～2割程度ありますが、6～7割は「できるし、している」と回答しています。

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が69.4%で多くなっています。一方、転んだ経験が「何度もある」は9.3%、「1度ある」は18.9%で、これらを合わせると転倒リスクのある高齢者は28.2%となっています。転倒に対する不安については、「とても不安である」が13.5%、「やや不安である」が35.8%で、これらを合わせると49.3%となり、約半数が転倒について不安を持っています。

このような運動機能と転倒リスクに関する項目の回答内容から、国が示す方法を用いて運動器の機能低下者の抽出を行いました。その結果、運動器の機能が低下している人は回答者全体の14.7%となっています。

外出については、「週5回以上」が36.4%、「週2～4回」が44.1%で多くなっています。また、「ほとんど外出しない」は4.7%、「週1回」は12.2%で、これらを合わせると閉じこもり傾向のある人は16.9%となっています。さらに、外出の回数が昨年と比べて減っているかについては、「減っていない」または「あまり減っていない」という回答で約7割を占めて多くなっていますが、「とても減っている」は3.4%、「減っている」は23.6%で、これらを合わせると外出の回数が減っている人が27.0%となっています。

外出する際の移動手段については、「徒歩」が57.5%で、次いで「自動車（自分で運転）」が53.4%、「自転車」が41.9%となっています。これを性別・前期・後期高齢者別にみると、「自動車（自分で運転）」という割合は、男性の後期高齢者で58.4%、女性の後期高齢者で18.6%となっています。

④食事・食べることについて

身長と体重の回答結果から、BMIを算出しました。その結果、「ふつう」が66.1%で多くなっています。「やせ・低体重」は7.9%あり、1割近くに低栄養が疑われる結果となっています。一方、「肥満」は22.0%となっています。

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が28.2%で約3割に咀嚼機能の低下が疑われます。

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が35.9%となっていますが、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」も33.0%となっています。

誰かと食事をともにする機会については、「毎日ある」が58.2%で、「ほとんどない」は7.0%となっています。

⑤毎日の生活状況について

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が45.4%で、認知機能の低下が疑われる人は4割以上となっています。

日常生活での活動状況の項目について、「できない」という割合をみると、『バスや電車を使って1人で外出しているか』については8.3%、『自分で食品・日用品の買物をしているか』については5.0%、『自分で食事の用意をしているか』については7.9%、『自分で請求書の支払いをしているか』については4.1%、『自分で預貯金の出し入れをして

いるか』については 5.4%となっています。「できない」という割合は、どの項目においても 1割以下となっています。

⑥地域での活動について

社会参加の状況については、『ボランティアのグループ』、『スポーツ関係のグループやクラブ』、『趣味関係のグループ』、『学習・教養サークル』、『介護予防のための通いの場（筋トレや体操、お茶のみ会など）』、『老人クラブ』、『行政区・町内会・自治会』といった各項目で、「参加していない」という割合が 6～8割以上となっています。また、『収入のある仕事』については「週4回以上」が13.0%で他の項目より多くなっていますが、「参加していない」は68.5%となっています。

地域づくりの活動への参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると57.5%となっています。一方、「参加したくない」は31.9%となっています。

また、地域づくりの企画・運営（お世話役）の参加意向については、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせると36.1%となっており、「参加したくない」は55.9%となっています。

⑦たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が59.9%で、次いで「友人」が42.9%、「別居の子ども」が34.0%となっています。反対に、心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が55.8%で、次いで「友人」が42.2%、「別居の子ども」が30.8%となっています。

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が67.4%で、次いで「別居の子ども」が29.1%、「同居の子ども」が25.2%となっています。反対に看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が68.1%で、次いで「別居の子ども」が24.7%、「同居の子ども」が23.4%となっています。

家族・友人・知人以外の相談相手については、「医師・歯科医師・看護師」が22.9%で、次いで「地域包括支援センター・市役所」が13.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が10.0%となっています。一方、「そのような人はいない」は47.4%となっています。

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が30.7%で、次いで「週に何度かある」が26.2%ですが、「ほとんどない」は13.3%となっています。

この1か月間、何人の友人・知人に会ったかについては、「10人以上」が26.9%で、次いで「3～5人」が26.8%となっています。一方、「0人（いない）」は11.5%となっています。

よく会う友人・知人の関係については、「近所・同じ地域の人」が46.5%で、次いで「趣味や関心が同じ友人」が37.3%、「仕事での同僚・元同僚」が30.6%となっています。

⑧健康について

健康状態（主観的健康感）については、「とてもよい」が14.4%、「まあよい」が61.9%で、これらを合わせると76.3%で、健康と感じている人が多くなっています。主観的幸福感については、10点満点中「5点」が19.8%、「8点」が19.6%、「7点」が18.9%で、平均は7.0点となっています。

気分が沈んだり、『ゆううつな気持ちになったりすることがあったか』については、「はい」が38.8%、『どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったか』については、「はい」が24.5%となっています。これら2問のどちらかでも「はい」を選択した人は470人で全体の42.6%となり、うつ傾向のある高齢者とみられます。

喫煙については、「吸っていたがやめた」が30.1%、「もともと吸っていない」が59.8%となっています。「ほぼ毎日吸っている」は6.7%、「時々吸っている」は1.1%で、これらを合わせると7.8%となり、喫煙者は1割未満となっています。

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が40.6%で、次いで「目の病気」が21.3%、「糖尿病」が13.5%となっています。これを、性別・前期・後期高齢者別にみると、男女ともに「高血圧」が多く、後期高齢者で割合が多くなっています。また、男性の後期高齢者、女性の前期・後期高齢者では、2番目に「目の病気」が多いほか、女性の後期高齢者では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が19.6%となっています。

本人または家族の認知症の有無については、「はい」が7.6%、「いいえ」が88.9%となっています。認知症の相談窓口の周知度については、「はい」が20.0%、「いいえ」が76.3%となっています。

⑨高齢者福祉や介護保険等について

生きがいや楽しみについては、「テレビやラジオ」が42.7%で、次いで「食べたり飲んだりすること」が34.5%、「友人・仲間との交流」が32.7%となっています。また、「散歩や買い物などの外出」は27.8%、「旅行（日帰りの小旅行を含む）」は26.7%となっています。性別・前期・後期高齢者別にみると、男性の前期高齢者と後期高齢者、女性の後期高齢者では「テレビやラジオ」が最も多くなっています。一方、女性の前期高齢者では「友人・仲間との交流」が最も多くなっています。

処方された薬などの相談ができる薬局があるかについては、「ある」が65.2%となっています。薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供しているかについては、「必ず情報提供している」が66.8%となっています。

ジェネリック医薬品の利用については、「積極的に利用している」が36.0%、「薬に応じて利用している」が33.7%となっています。一方、「利用していない」は23.2%おり、利用していない理由については、「ジェネリック医薬品を勧められていない」や「以前から処方されている薬が安心だから変えたくない」が多くなっています。

介護予防や健康づくりのために参加してみたい講座や教室については、「体操・運動」が25.6%で、次いで「健康管理」が20.8%、「頭の体操・脳トレ」が16.6%、「ウォーキ

ング」が16.5%となっています。

認知症について関心があることについては、「認知症の予防に効果的な方法」が55.1%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が39.9%となっています。

成年後見制度の周知度については、「知っている」が50.2%、「知らない」が45.0%となっています。

地域包括支援センターの周知度については、「どんな仕事をしている所かは、だいたい知っている」が27.7%、「名前くらいは聞いたことはある」が38.2%で、これらを合わせると65.9%となっています。これを前回の調査結果と比較すると、12.8ポイント増加しています。

介護が必要となった場合にどのようにしたいかについては、「自宅で介護を受けたい」が38.6%、「老人ホームなどに入所したい」が23.6%となっています。

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が54.4%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が39.0%、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が28.5%となっています。

第2章 要支援・要介護認定者（在宅者）調査

第2章 要支援・要介護認定者（在宅者）調査

1 回答者の属性

（1）性別

問1 性別を教えてください。[1つに〇]

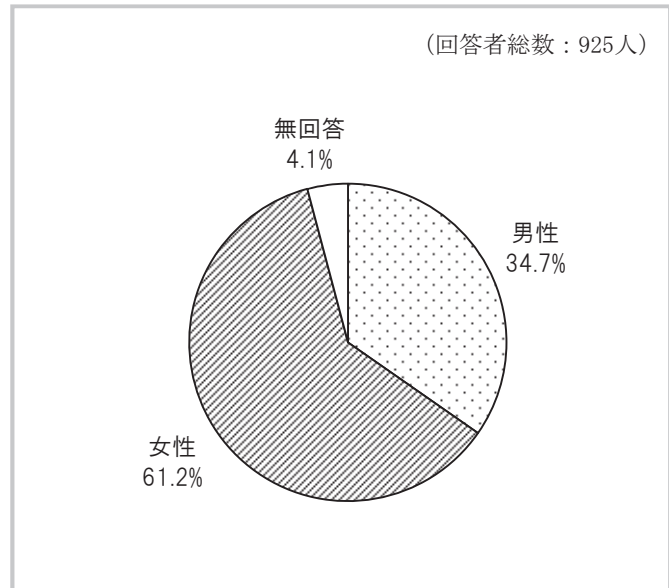
「男性」が34.7%、「女性」が61.2%

性別については、「男性」が34.7%、「女性」が61.2%となっており、女性のほうが多くなっています。

表 性別 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
男性	321（34.7）
女性	566（61.2）
無回答	38（4.1）

図 性別



（2）年齢

問2 1月1日現在、何歳ですか。[1つに○]

前期高齢者は13.3%、後期高齢者は81.5%

年齢構成をみると、「40～64歳」が4.4%となっています。

また、「65～69歳」が4.4%、「70～74歳」が8.9%で、これらを合わせると前期高齢者は13.3%となっています。

さらに、「75～79歳」が16.3%、「80～84歳」が21.6%、「85～89歳」が25.1%、「90歳以上」が18.5%で、これらを合わせると後期高齢者は81.5%となっています。

表 年齢 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
40～64歳	41（4.4）
前期高齢者	123（13.3）
65～69歳	41（4.4）
70～74歳	82（8.9）
後期高齢者	754（81.5）
75～79歳	151（16.3）
80～84歳	200（21.6）
85～89歳	232（25.1）
90歳以上	171（18.5）
無回答	7（0.8）

図 年齢

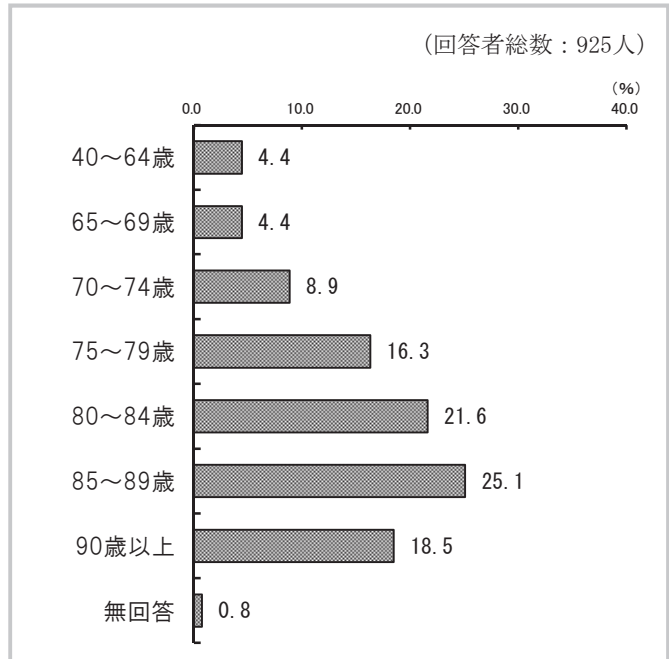
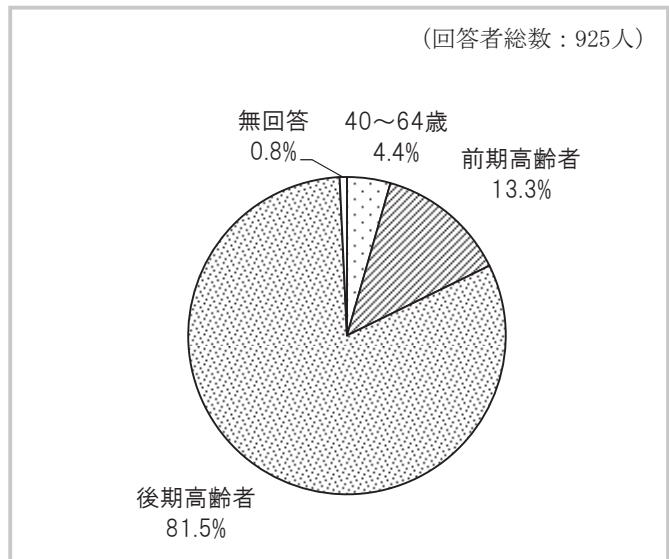


図 前期高齢者・後期高齢者別



（3）居住地区

問3 お住まいの地区はどちらですか。[1つに○]

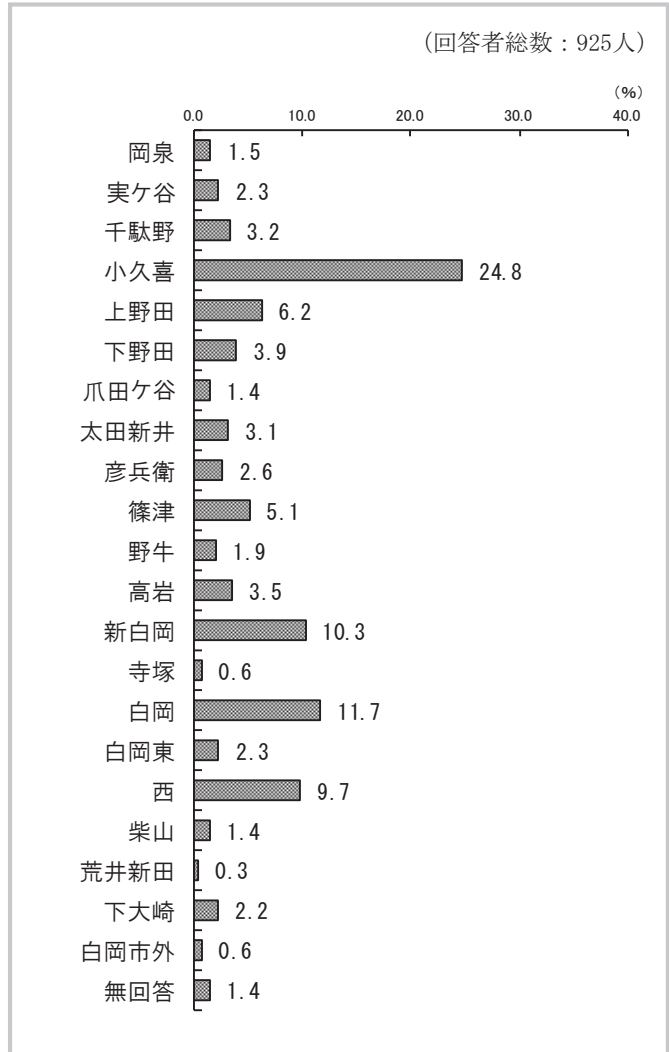
日勝圏域と篠津・大山圏域は、共に49.0%

地区別をみると、「小久喜」が24.8%、「白岡」が11.7%、「新白岡」が10.3%となっています。

表 居住地区 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
日勝圏域	453 (49.0)
日勝地域	453 (49.0)
岡泉	14 (1.5)
実ヶ谷	21 (2.3)
千駄野	30 (3.2)
小久喜	229 (24.8)
上野田	57 (6.2)
下野田	36 (3.9)
爪田ヶ谷	13 (1.4)
太田新井	29 (3.1)
彦兵衛	24 (2.6)
篠津・大山圏域	453 (49.0)
篠津地域	417 (45.1)
篠津	47 (5.1)
野牛	18 (1.9)
高岩	32 (3.5)
新白岡	95 (10.3)
寺塚	6 (0.6)
白岡	108 (11.7)
白岡東	21 (2.3)
西	90 (9.7)
大山地域	36 (3.9)
柴山	13 (1.4)
荒井新田	3 (0.3)
下大崎	20 (2.2)
白岡市外	6 (0.6)
無回答	13 (1.4)

図 居住地区



地区を地域別にまとめると、「日勝地域」が49.0%、「篠津地域」が45.1%、「大山地域」が3.9%となっています。

さらに日常生活圏域でみると、「日勝圏域」と「篠津・大山地域」が共に49.0%となっています。

図 地域

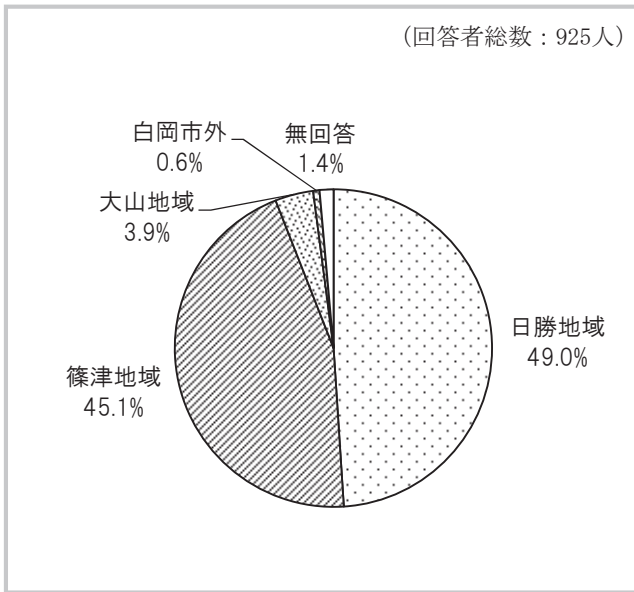
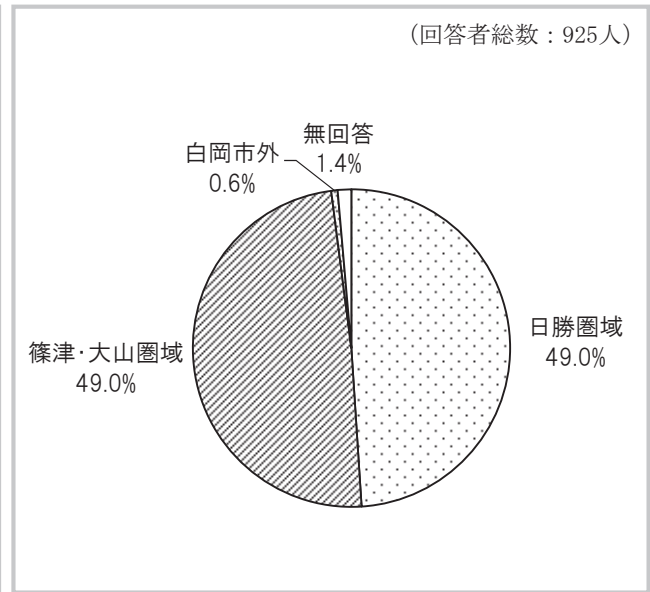


図 日常生活圏域



(4) 家族構成

問4 家族構成を教えてください。[1つに○]

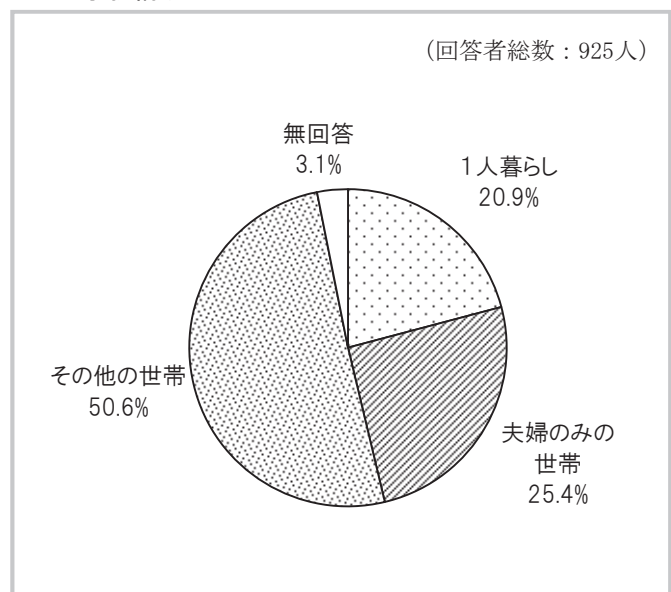
1人暮らしが20.9%、夫婦のみの世帯が25.4%

家族構成については、「1人暮らし」が20.9%、「夫婦のみの世帯」が25.4%、「その他の世帯」が50.6%となっています。

表 家族構成 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
1人暮らし	193 (20.9)
夫婦のみの世帯	235 (25.4)
その他の世帯	468 (50.6)
無回答	29 (3.1)

図 家族構成



(5) 世帯全体の年収

問5 あなたを含めた世帯全体の年収（年金含む）はどれにあてはまりますか。[1つに○]

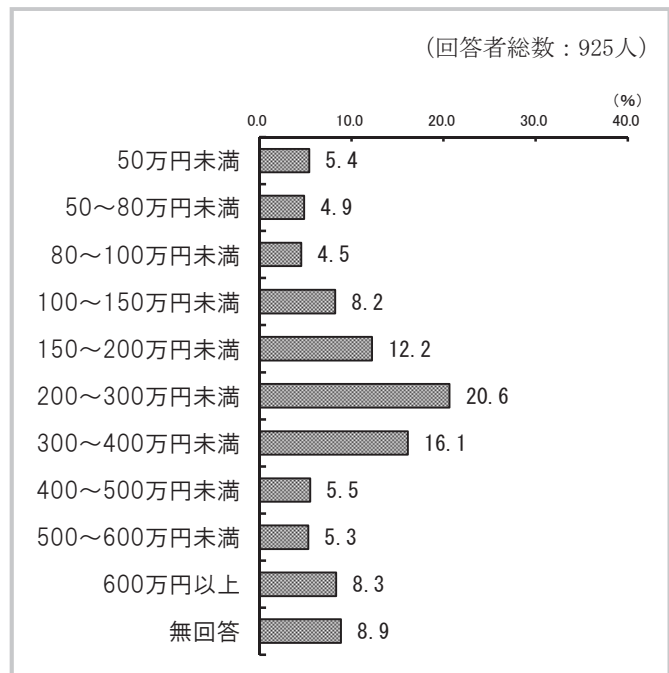
「200～300万円未満」が20.6%

世帯全体の年収（年金含む）については、「200～300万円未満」が20.6%、「300～400万円未満」が16.1%、「150～200万円未満」が12.2%となっています。

表 世帯全体の年収 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
50万円未満	50（5.4）
50～80万円未満	45（4.9）
80～100万円未満	42（4.5）
100～150万円未満	76（8.2）
150～200万円未満	113（12.2）
200～300万円未満	191（20.6）
300～400万円未満	149（16.1）
400～500万円未満	51（5.5）
500～600万円未満	49（5.3）
600万円以上	77（8.3）
無回答	82（8.9）

図 世帯全体の年収



2 身体状況などについて

(1) 介護度

問6 現在の介護度はいくつですか。[1つに〇]

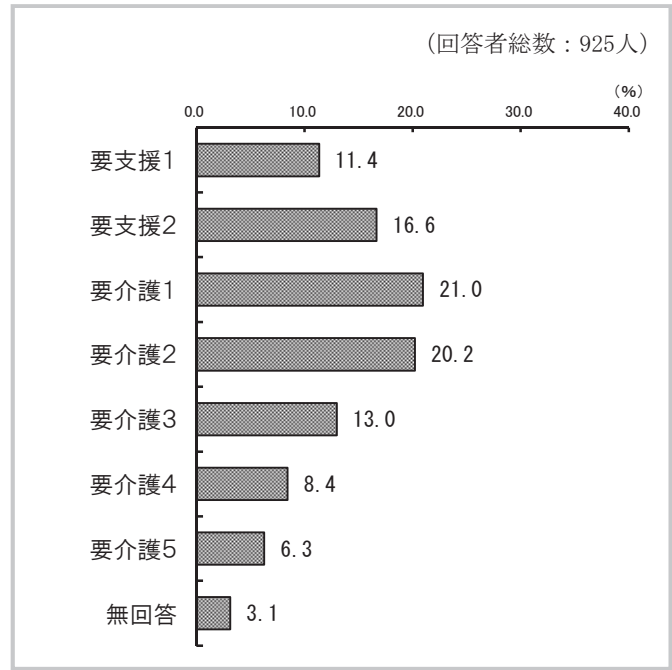
要介護1が21.0%、要介護2が20.2%

介護度については、「要介護1」が21.0%、「要介護2」が20.2%となっています。

表 介護度 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
要支援1	105 (11.4)
要支援2	154 (16.6)
要介護1	194 (21.0)
要介護2	187 (20.2)
要介護3	120 (13.0)
要介護4	78 (8.4)
要介護5	58 (6.3)
無回答	29 (3.1)

図 介護度



(2) 認知症の診断

問7 医師に「認知症」と診断されていますか。[1つに〇]

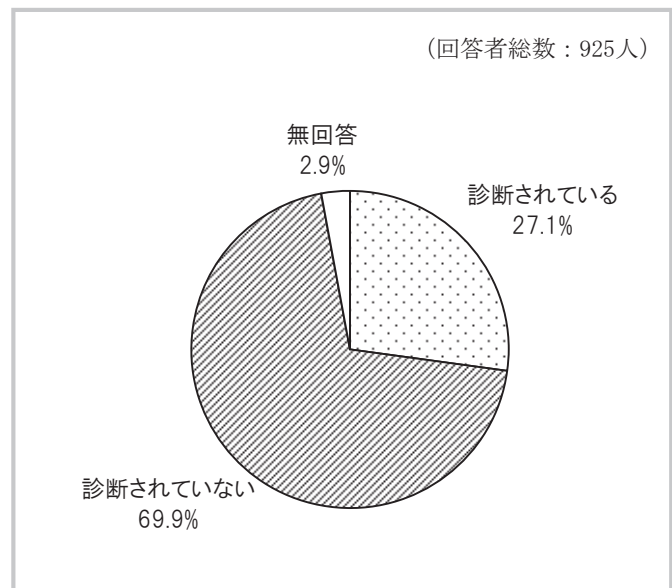
認知症と診断されている人は27.1%

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が27.1%、「診断されていない」が69.9%となっています。

表 認知症の診断 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
診断されている	251 (27.1)
診断されていない	647 (69.9)
無回答	27 (2.9)

図 認知症の診断



(3) 往診

問8 近くに往診をしてくれる医師がいますか。[1つに○]

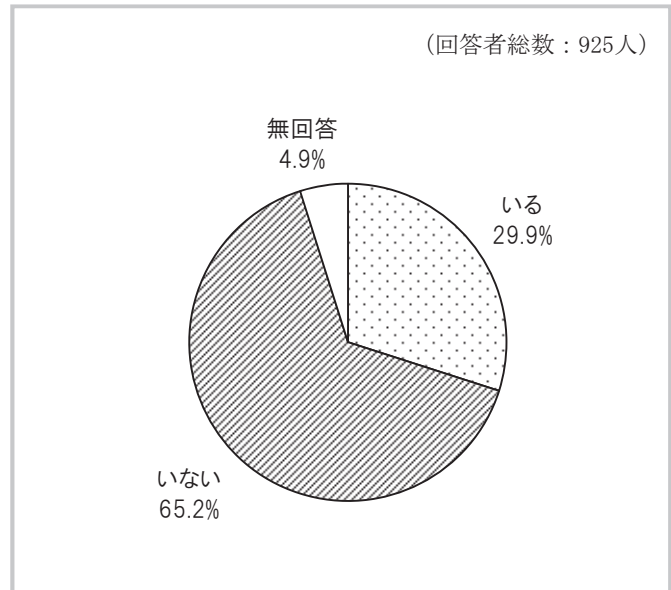
往診をしてくれる医師がいる人は29.9%

近くに往診をしてくれる医師がいるかについては、「いる」が29.9%、「いない」が65.2%となっています。

表 往診をしてくれる医師の有無

単位：人（%）	
区分	全体
回答者総数（人）	925
いる	277 (29.9)
いない	603 (65.2)
無回答	45 (4.9)

図 往診をしてくれる医師の有無



問9 往診をしてくれる医師がいたら利用しますか。[1つに○]

今後利用したいが47.5%

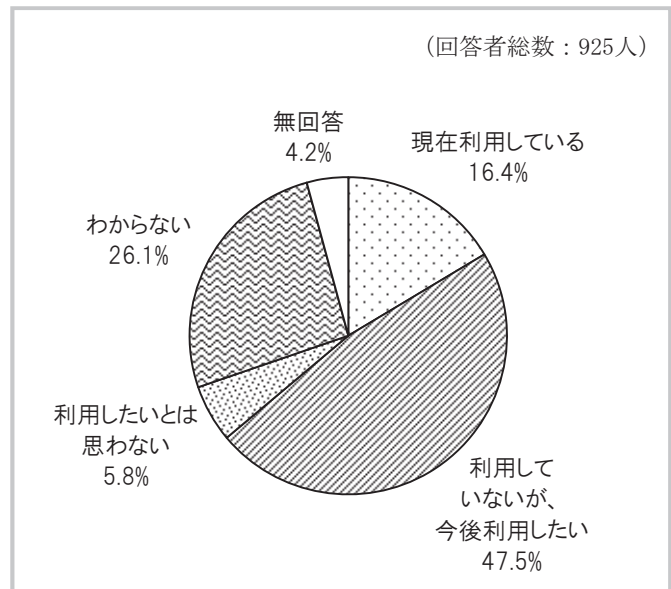
往診をしてくれる医師がいたら利用するかについては、「現在利用している」が16.4%、「利用していないが、今後利用したい」が47.5%となっています。

一方、「利用したいとは思わない」は5.8%となっています。

表 往診の利用意向

単位：人（%）	
区分	全体
回答者総数（人）	925
現在利用している	152 (16.4)
利用していないが、今後利用したい	439 (47.5)
利用したいとは思わない	54 (5.8)
わからない	241 (26.1)
無回答	39 (4.2)

図 往診の利用意向



（４）医療と介護の連携の考え

問10 医療と介護の連携についてどのように考えますか。[あてはまるものすべてに○]

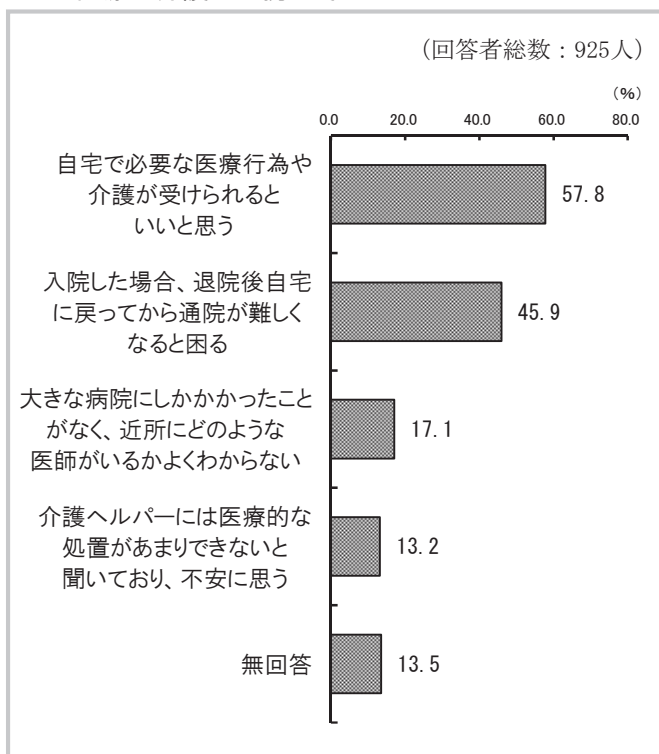
「自宅で医療や介護が受けられるといい」が57.8%、

医療と介護の連携についてどのように考えるかについては、「自宅で必要な医療行為や介護が受けられるといいと思う」が57.8%、「入院した場合、退院後自宅に戻ってから通院が難しくなると困る」が45.9%となっています。

表 医療と介護の連携の考え 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
自宅で必要な医療行為や介護が受けられるといいと思う	535 (57.8)
入院した場合、退院後自宅に戻ってから通院が難しくなると困る	425 (45.9)
大きな病院にしかかかったことがなく、近所にどのような医師がいるかよくわからない	158 (17.1)
介護ヘルパーには医療的な処置があまりできないと聞いており、不安に思う	122 (13.2)
無回答	125 (13.5)

図 医療と介護の連携の考え



3 介護保険サービス利用の有無について

(1) 介護保険サービスの利用状況

問11 現在、介護保険のサービスを利用していますか。[1つに○]

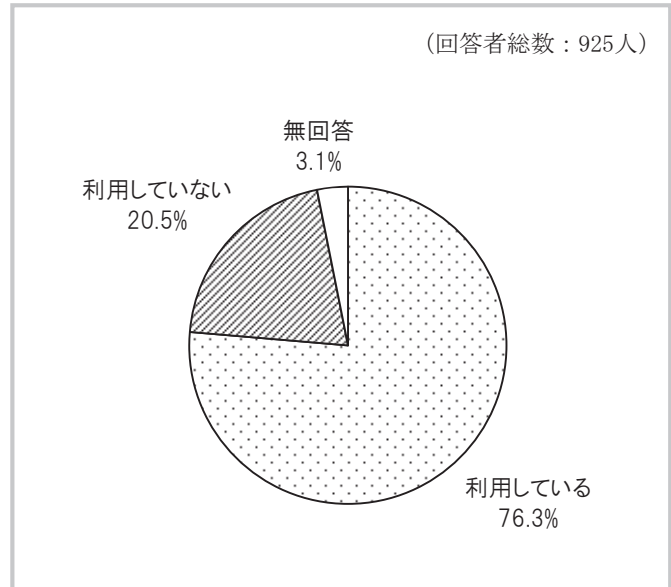
「利用している」が76.3%

現在、介護保険のサービスを利用しているかについては、「利用している」が76.3%、「利用していない」が20.5%となっています。

表 介護保険サービスの利用状況

区分	全体
回答者総数(人)	925
利用している	706 (76.3)
利用していない	190 (20.5)
無回答	29 (3.1)

図 介護保険サービスの利用状況



【介護度別】

介護保険サービスの利用状況を介護度別にみると、要介護1、要介護2、要介護3では利用している割合が8割以上となっています。一方、最も介護度が高い要介護5では利用している割合は70.7%となっています。

表 介護度別にみた介護保険サービスの利用状況

単位：人(%)

項目	全体	介護度別						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
回答者総数(人)	925	105	154	194	187	120	78	58
利用している	706 (76.3)	58 (55.2)	107 (69.5)	163 (84.0)	165 (88.2)	105 (87.5)	58 (74.4)	41 (70.7)
利用していない	190 (20.5)	40 (38.1)	44 (28.6)	27 (13.9)	21 (11.2)	15 (12.5)	15 (19.2)	13 (22.4)
無回答	29 (3.1)	7 (6.7)	3 (1.9)	4 (2.1)	1 (0.5)	0 (0.0)	5 (6.4)	4 (6.9)

※ 介護度の無回答者数 29人を除いている。

（2）サービスを利用していない理由

問12 〔問11で「利用していない」と回答した方〕
 現在、介護保険サービスを利用していない方にうかがいます。
 利用していない主な理由は何ですか。〔あてはまるものすべてに○〕

「利用するほどの状態ではない」が44.2%

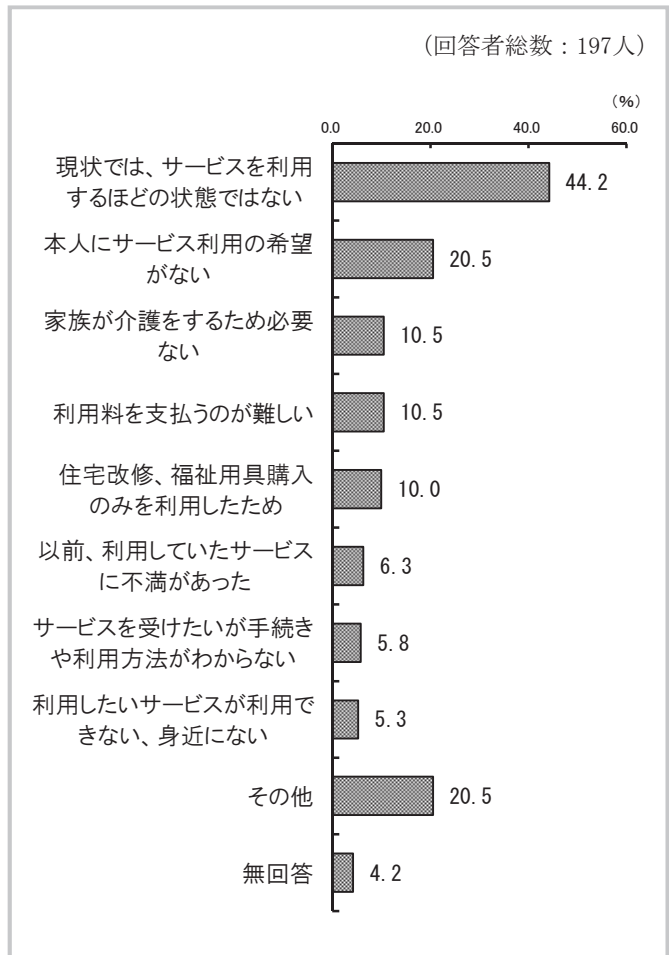
現在、介護保険サービスを利用していない人にその理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.2%、「本人にサービス利用の希望がない」が20.5%となっています。

表 サービスを利用していない理由

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	197
現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	84（44.2）
本人にサービス利用の希望がない	39（20.5）
家族が介護をするため必要ない	20（10.5）
利用料を支払うのが難しい	20（10.5）
住宅改修、福祉用具購入のみを利用したため	19（10.0）
以前、利用していたサービスに不満があった	12（6.3）
サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	11（5.8）
利用したいサービスが利用できない、身近にない	10（5.3）
その他	39（20.5）
無回答	8（4.2）

図 サービスを利用していない理由



4 介護保険サービスの利用と評価について

（本項は、現在、介護保険サービスを「利用している」と回答した706人を対象としています。）

（1）介護保険サービスの利用と評価等

問13 介護保険サービスの利用状況と満足度についてうかがいます。

次のサービスについての利用状況と、サービスの量に対する評価をお答えください。（利用内容については、サービス利用票をご覧ください。）

①利用状況

「福祉用具の貸与」が51.0%

現在利用しているサービスについては、「福祉用具の貸与」が51.0%で、次いで、「通所介護」が46.3%、「通所リハビリテーション」が29.7%となっています。

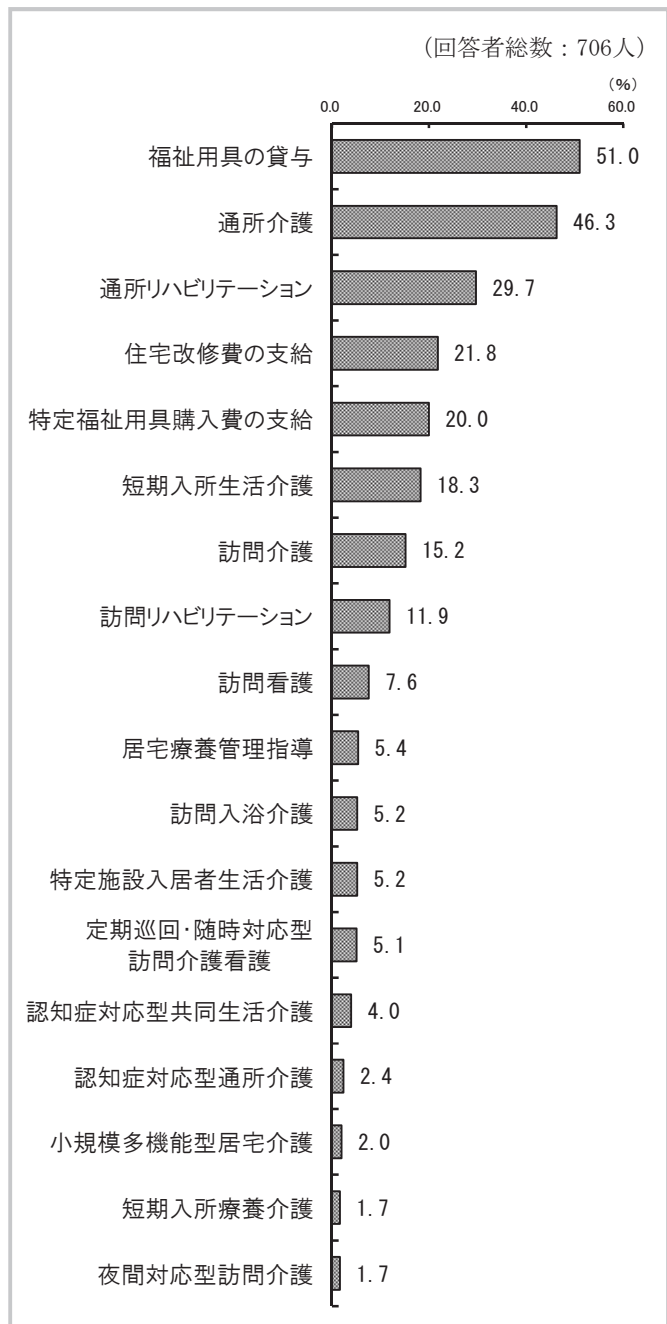
表 介護保険サービスの利用状況

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	706
福祉用具の貸与	360（51.0）
通所介護	327（46.3）
通所リハビリテーション	210（29.7）
住宅改修費の支給	154（21.8）
特定福祉用具購入費の支給	141（20.0）
短期入所生活介護	129（18.3）
訪問介護	107（15.2）
訪問リハビリテーション	84（11.9）
訪問看護	54（7.6）
居宅療養管理指導	38（5.4）
訪問入浴介護	37（5.2）
特定施設入居者生活介護	37（5.2）
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	36（5.1）
認知症対応型共同生活介護	28（4.0）
認知症対応型通所介護	17（2.4）
小規模多機能型居宅介護	14（2.0）
短期入所療養介護	12（1.7）
夜間対応型訪問介護	12（1.7）

※サービスには、介護予防サービスも含まれます。

図 介護保険サービスの利用状況



【 介護度別 】

サービスの利用状況を介護度別にみると、「訪問介護」は要介護5で43.9%、「通所介護」は要介護3で57.1%と多くなっています。また、「福祉用具の貸与」は介護度が高いほど利用している割合が多くなる傾向がみられ、要介護4、要介護5で7割以上となっています。

表 介護度別にみたサービスの利用状況

単位：人（%）

項目	全体	介護度別						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
回答者総数（人）	706	58	107	163	165	105	58	41
訪問介護	107 (15.2)	13 (22.4)	17 (15.9)	21 (12.9)	24 (14.5)	7 (6.7)	7 (12.1)	18 (43.9)
訪問入浴介護	37 (5.2)	2 (3.4)	5 (4.7)	5 (3.1)	7 (4.2)	6 (5.7)	2 (3.4)	10 (24.4)
訪問看護	54 (7.6)	3 (5.2)	7 (6.5)	7 (4.3)	8 (4.8)	6 (5.7)	6 (10.3)	16 (39.0)
訪問リハビリテーション	84 (11.9)	5 (8.6)	13 (12.1)	12 (7.4)	17 (10.3)	13 (12.4)	7 (12.1)	16 (39.0)
居宅療養管理指導	38 (5.4)	1 (1.7)	2 (1.9)	6 (3.7)	17 (10.3)	3 (2.9)	1 (1.7)	8 (19.5)
通所介護	327 (46.3)	25 (43.1)	43 (40.2)	74 (45.4)	84 (50.9)	60 (57.1)	22 (37.9)	14 (34.1)
通所リハビリテーション	210 (29.7)	25 (43.1)	34 (31.8)	59 (36.2)	47 (28.5)	22 (21.0)	13 (22.4)	7 (17.1)
短期入所生活介護	129 (18.3)	3 (5.2)	10 (9.3)	14 (8.6)	26 (15.8)	39 (37.1)	24 (41.4)	12 (29.3)
短期入所療養介護	12 (1.7)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	0 (0.0)	5 (4.8)	2 (3.4)	3 (7.3)
特定施設入居者生活介護	37 (5.2)	4 (6.9)	2 (1.9)	10 (6.1)	6 (3.6)	10 (9.5)	3 (5.2)	2 (4.9)
福祉用具の貸与	360 (51.0)	23 (39.7)	47 (43.9)	74 (45.4)	84 (50.9)	57 (54.3)	43 (74.1)	29 (70.7)
特定福祉用具購入費の支給	141 (20.0)	4 (6.9)	15 (14.0)	29 (17.8)	39 (23.6)	28 (26.7)	12 (20.7)	14 (34.1)
住宅改修費の支給	154 (21.8)	6 (10.3)	22 (20.6)	30 (18.4)	41 (24.8)	26 (24.8)	16 (27.6)	12 (29.3)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	36 (5.1)	6 (10.3)	4 (3.7)	4 (2.5)	9 (5.5)	5 (4.8)	1 (1.7)	6 (14.6)
夜間対応型訪問介護	12 (1.7)	3 (5.2)	1 (0.9)	1 (0.6)	3 (1.8)	2 (1.9)	0 (0.0)	2 (4.9)
認知症対応型通所介護	17 (2.4)	4 (6.9)	1 (0.9)	2 (1.2)	5 (3.0)	2 (1.9)	0 (0.0)	3 (7.3)
小規模多機能型居宅介護	14 (2.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	1 (0.6)	4 (2.4)	5 (4.8)	1 (1.7)	2 (4.9)
認知症対応型共同生活介護	28 (4.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	5 (3.1)	8 (4.8)	7 (6.7)	5 (8.6)	2 (4.9)

※ 介護度の無回答者数 9人を除いている。

問13 介護保険サービスの利用状況と満足度についてうかがいます。

次のサービスについての利用状況と、サービスの量に対する評価をお答えください。（利用内容については、サービス利用票をご覧ください。）

②サービスの量の評価

『福祉用具の貸与』では「満足」が62.2%

サービスの量の評価を、そのサービスの利用者にあずねました。「満足」と回答した割合が多いものを見ると、『福祉用具の貸与』で62.2%、次いで『居宅療養管理指導』で60.5%、『通所介護』で57.5%となっています。

図 サービス量の評価

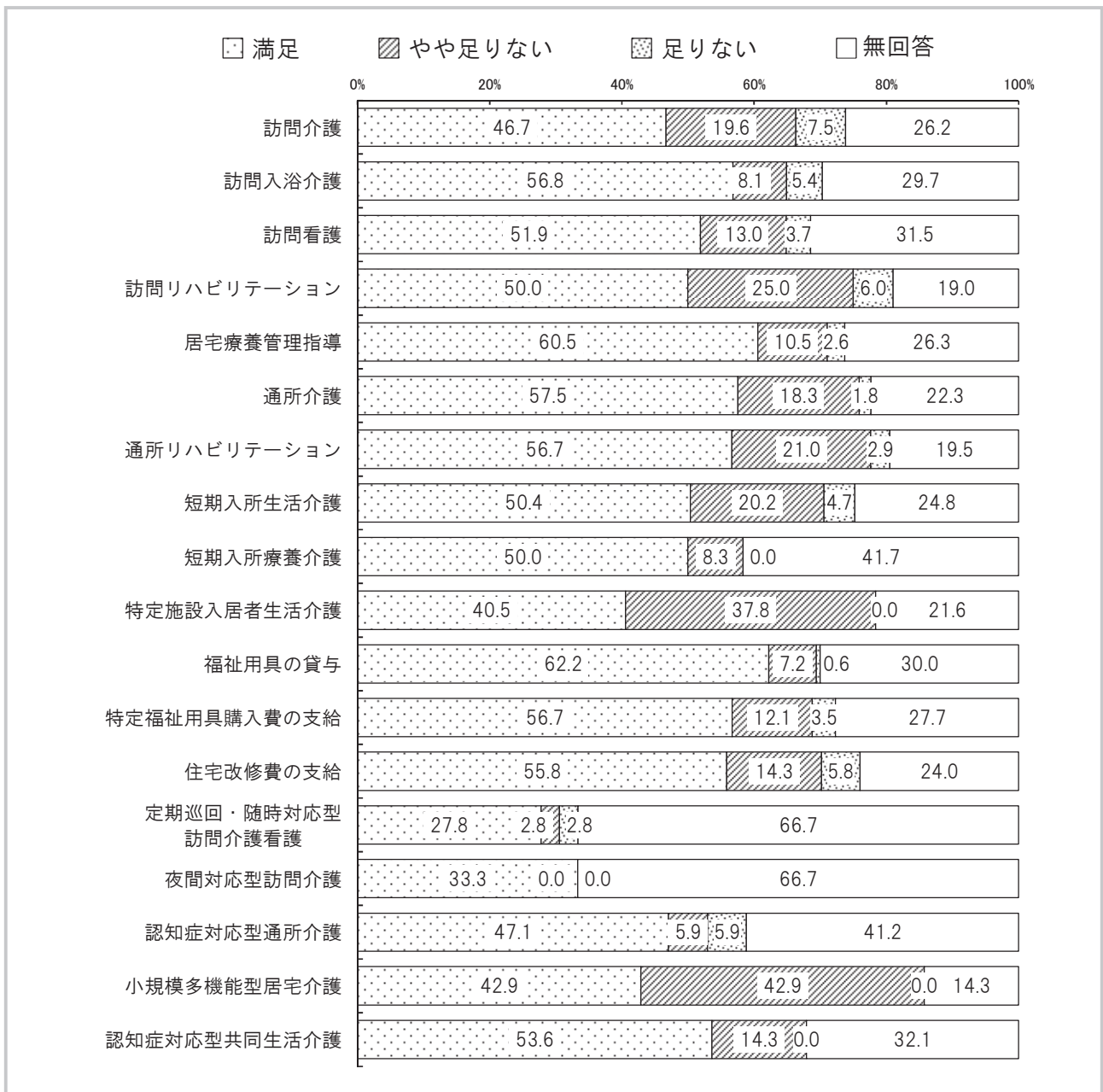


表 サービス量の評価

単位：人（％）

項目	回答者総数 (人)	満足	やや足りない	足りない	無回答
訪問介護	107	50 (46.7)	21 (19.6)	8 (7.5)	28 (26.2)
訪問入浴介護	37	21 (56.8)	3 (8.1)	2 (5.4)	11 (29.7)
訪問看護	54	28 (51.9)	7 (13.0)	2 (3.7)	17 (31.5)
訪問リハビリテーション	84	42 (50.0)	21 (25.0)	5 (6.0)	16 (19.0)
居宅療養管理指導	38	23 (60.5)	4 (10.5)	1 (2.6)	10 (26.3)
通所介護	327	188 (57.5)	60 (18.3)	6 (1.8)	73 (22.3)
通所リハビリテーション	210	119 (56.7)	44 (21.0)	6 (2.9)	41 (19.5)
短期入所生活介護	129	65 (50.4)	26 (20.2)	6 (4.7)	32 (24.8)
短期入所療養介護	12	6 (50.0)	1 (8.3)	0 (0.0)	5 (41.7)
特定施設入居者生活介護	37	15 (40.5)	14 (37.8)	0 (0.0)	8 (21.6)
福祉用具の貸与	360	224 (62.2)	26 (7.2)	2 (0.6)	108 (30.0)
特定福祉用具購入費の支給	141	80 (56.7)	17 (12.1)	5 (3.5)	39 (27.7)
住宅改修費の支給	154	86 (55.8)	22 (14.3)	9 (5.8)	37 (24.0)
定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	36	10 (27.8)	1 (2.8)	1 (2.8)	24 (66.7)
夜間対応型訪問介護	12	4 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (66.7)
認知症対応型通所介護	17	8 (47.1)	1 (5.9)	1 (5.9)	7 (41.2)
小規模多機能型居宅介護	14	6 (42.9)	6 (42.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
認知症対応型共同生活介護	28	15 (53.6)	4 (14.3)	0 (0.0)	9 (32.1)

（2）介護保険サービスの総合評価

問14 総合的にみて、介護保険サービスを利用してどのように感じていますか。[1つに○]

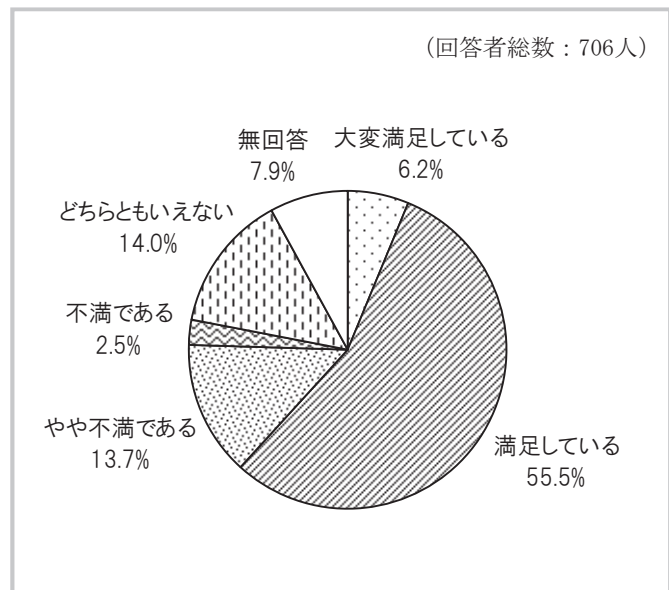
満足と感じている人が61.7%

介護保険サービスの総合的な評価については、「大変満足している」が6.2%、「満足している」が55.5%で、これらを合わせると満足と感じている人が61.7%となっています。

表 介護保険サービスの総合評価 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	706
大変満足している	44（6.2）
満足している	392（55.5）
やや不満である	97（13.7）
不満である	18（2.5）
どちらともいえない	99（14.0）
無回答	56（7.9）

図 介護保険サービスの総合評価



【介護度別】

介護保険サービスの総合的な評価を介護度別にみると、全体的に満足と感じている割合が多くなっていますが、要介護3では「やや不満である」が21.9%となっています。

表 介護度別にみた介護保険サービスの総合評価

単位：人（%）

項目	全体	介護度別						
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
回答者総数（人）	706	58	107	163	165	105	58	41
大変満足している	44 (6.2)	1 (1.7)	3 (2.8)	17 (10.4)	9 (5.5)	10 (9.5)	3 (5.2)	1 (2.4)
満足している	392 (55.5)	34 (58.6)	58 (54.2)	82 (50.3)	107 (64.8)	51 (48.6)	37 (63.8)	21 (51.2)
やや不満である	97 (13.7)	6 (10.3)	16 (15.0)	22 (13.5)	19 (11.5)	23 (21.9)	4 (6.9)	6 (14.6)
不満である	18 (2.5)	2 (3.4)	1 (0.9)	3 (1.8)	1 (0.6)	5 (4.8)	2 (3.4)	4 (9.8)
どちらともいえない	99 (14.0)	8 (13.8)	23 (21.5)	29 (17.8)	14 (8.5)	9 (8.6)	8 (13.8)	5 (12.2)
無回答	56 (7.9)	7 (12.1)	6 (5.6)	10 (6.1)	15 (9.1)	7 (6.7)	4 (6.9)	4 (9.8)

※ 介護度の無回答者数 9人を除いている。

（3）介護保険サービスがもたらす効果

問15 介護保険サービスを利用したことにより、高齢者ご本人の身体や生活の状況は良くなりましたか。[各項目ごとに1つずつ〇]

「良くなった」という割合が、『健康状態』で35.7%、『生活の張りあい』で35.3%

介護保険サービスを利用したことにより、高齢者ご本人の身体や生活の状況は良くなったかという、サービスの効果について項目別にたずねました。その結果、「良くなった」という割合が、『健康状態』で35.7%、『生活の張りあい』で35.3%となっています。また、「変わらない」という割合は、『家族との関係』で58.5%、『介護の必要な状態』で55.0%となっています。

図 介護保険サービスがもたらす効果

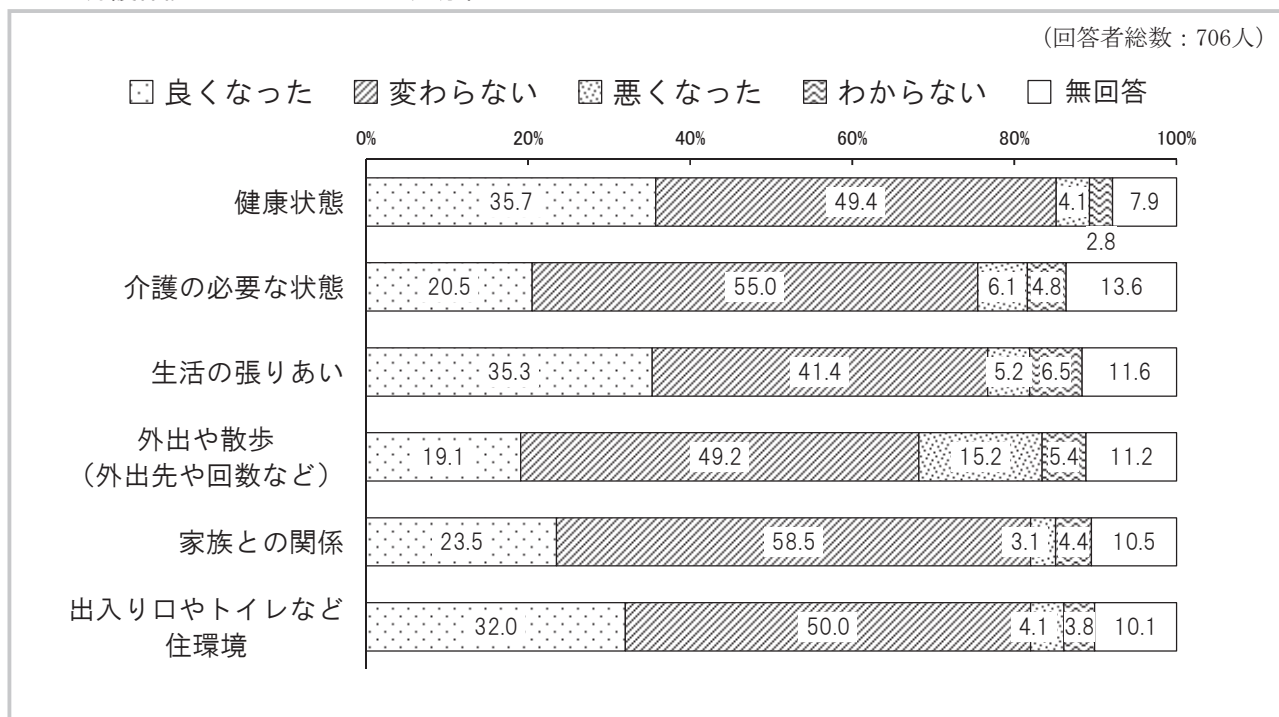


表 介護保険サービスがもたらす効果

回答者総数：706人 単位：人(%)

項目	良くなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答
ア) 健康状態	252 (35.7)	349 (49.4)	29 (4.1)	20 (2.8)	56 (7.9)
イ) 介護の必要な状態	145 (20.5)	388 (55.0)	43 (6.1)	34 (4.8)	96 (13.6)
ウ) 生活の張りあい	249 (35.3)	292 (41.4)	37 (5.2)	46 (6.5)	82 (11.6)
エ) 外出や散歩(外出先や回数など)	135 (19.1)	347 (49.2)	107 (15.2)	38 (5.4)	79 (11.2)
オ) 家族との関係	166 (23.5)	413 (58.5)	22 (3.1)	31 (4.4)	74 (10.5)
カ) 出入り口やトイレなど住環境	226 (32.0)	353 (50.0)	29 (4.1)	27 (3.8)	71 (10.1)

5 施設入所の意向について

（1）施設入所の意向

問16 現在、施設※への入所・入居の検討や申し込みをしていますか。[1つに○]

※「施設」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院をいいます。

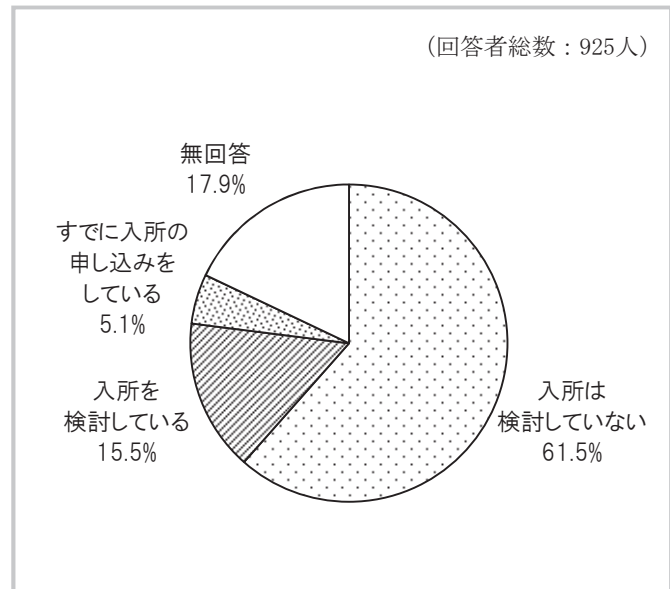
「申し込みをしている」は 5.1%

現在、施設への入所の検討や申し込みをしているかについては、「入所は検討していない」が61.5%となっています。また、「入所を検討している」は15.5%、「すでに入所の申し込みをしている」は5.1%となっています。

表 施設入所の意向 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
入所は検討していない	569 (61.5)
入所を検討している	143 (15.5)
すでに入所の申し込みをしている	47 (5.1)
無回答	166 (17.9)

図 施設入所の意向



6 高齢者福祉や介護保険制度について

(1) 福祉や介護についての相談先

問17 福祉や介護に関して、誰に相談していますか。[主なものを3つ以内で○]

「ケアマネジャー」が68.1%

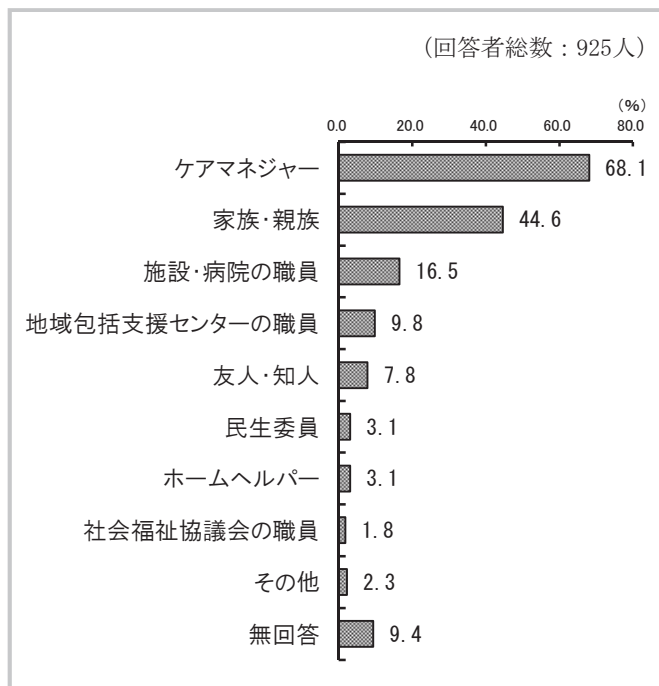
福祉や介護に関して誰に相談しているかについては、「ケアマネジャー」が68.1%で、次いで「家族・親族」が44.6%、「施設・病院の職員」が16.5%となっています。

表 福祉や介護についての相談先

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
ケアマネジャー	630 (68.1)
家族・親族	413 (44.6)
施設・病院の職員	153 (16.5)
地域包括支援センターの職員	91 (9.8)
友人・知人	72 (7.8)
民生委員	29 (3.1)
ホームヘルパー	29 (3.1)
社会福祉協議会の職員	17 (1.8)
その他	21 (2.3)
無回答	87 (9.4)

図 福祉や介護についての相談先



（2）認知症について関心のあること

問18 認知症についてどんなことに関心がありますか。[主なものを2つ以内で○]

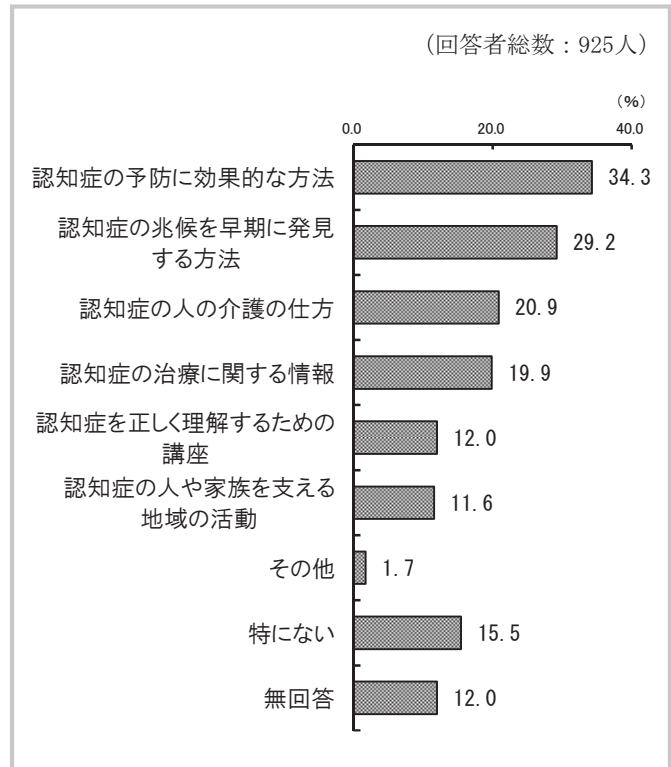
「認知症の予防に効果的な方法」が34.3%

認知症のどんなことに関心があるかについては、「認知症の予防に効果的な方法」が34.3%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が29.2%、「認知症の人の介護の仕方」が20.9%となっています。

表 認知症について関心のあること

区分	全体
回答者総数（人）	925
認知症の予防に効果的な方法	317 (34.3)
認知症の兆候を早期に発見する方法	270 (29.2)
認知症の人の介護の仕方	193 (20.9)
認知症の治療に関する情報	184 (19.9)
認知症を正しく理解するための講座	111 (12.0)
認知症の人や家族を支える地域の活動	107 (11.6)
その他	16 (1.7)
特にない	143 (15.5)
無回答	111 (12.0)

図 認知症について関心のあること



（3）成年後見制度の周知状況

問19 あなたは、成年後見制度（判断力が低下した方への支援制度）を知っていますか。[1つに○]

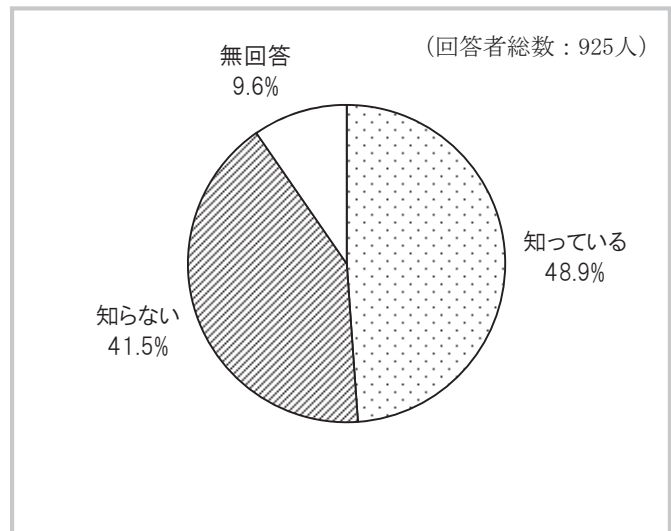
「知っている」が48.9%

成年後見制度を知っているかについては、「知っている」が48.9%、「知らない」が41.5%となっています。

表 成年後見制度の周知状況

区分	全体
回答者総数（人）	925
知っている	452 (48.9)
知らない	384 (41.5)
無回答	89 (9.6)

図 成年後見制度の周知状況



（4）薬局について

問20 処方された薬などの相談ができる薬局はありますか。[1つに〇]

「ある」が67.2%

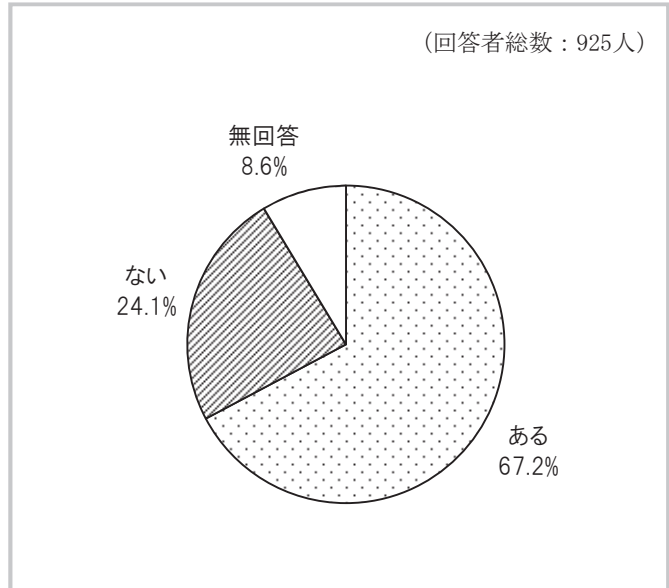
処方された薬などの相談ができる薬局があるかについては、「ある」が67.2%となっています。

一方、「ない」は24.1%となっています。

表 相談できる薬局の有無 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
ある	622 (67.2)
ない	223 (24.1)
無回答	80 (8.6)

図 相談できる薬局の有無



問21 薬を処方された時に、現在内服等しているすべての薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供していますか。[1つに〇]

「必ず情報提供している」が73.8%

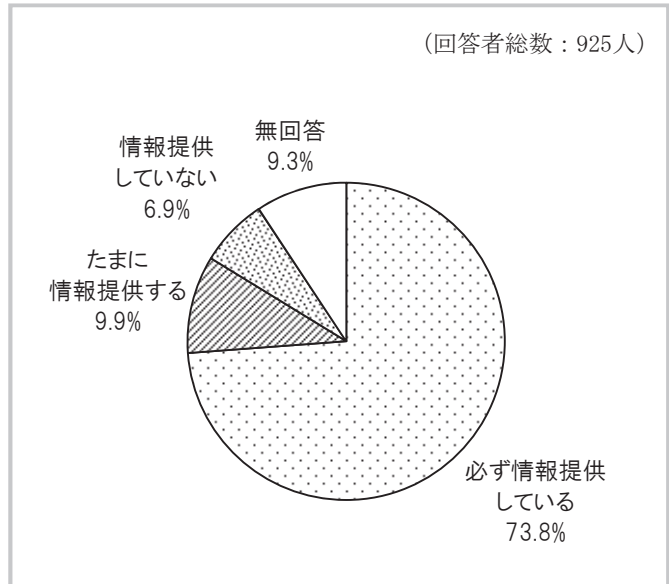
薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供しているかについては、「必ず情報提供している」が73.8%となっています。

一方、「情報提供していない」は6.9%となっています。

表 お薬手帳の活用状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
必ず情報提供している	683 (73.8)
たまに情報提供する	92 (9.9)
情報提供していない	64 (6.9)
無回答	86 (9.3)

図 お薬手帳の活用状況



(5) ジェネリック医薬品の利用状況

問22 ジェネリック医薬品（後発医薬品）を利用していますか。[1つに〇]

「積極的に利用している」が34.8%

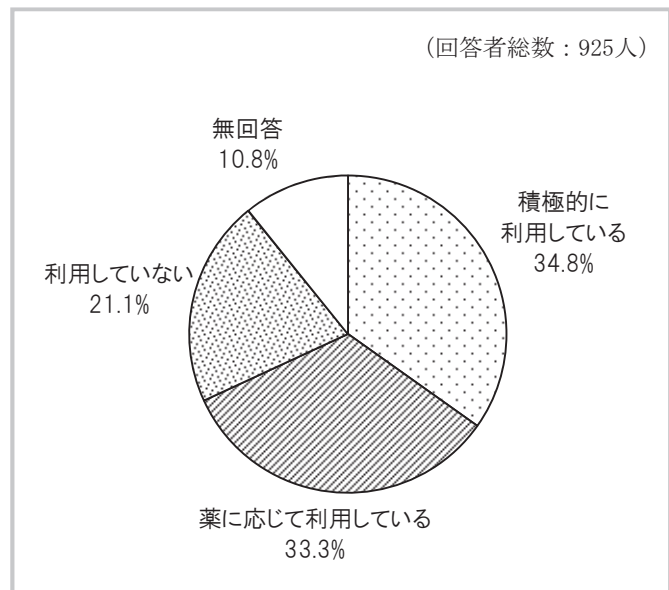
ジェネリック医薬品の利用については、「積極的に利用している」が34.8%、「薬に応じて利用している」が33.3%となっています。

一方、「利用していない」は21.1%となっています。

表 ジェネリック医薬品の利用状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
積極的に利用している	322 (34.8)
薬に応じて利用している	308 (33.3)
利用していない	195 (21.1)
無回答	100 (10.8)

図 ジェネリック医薬品の利用状況



問23 [問22で「利用していない」と回答した方] 利用しない主な理由は次のどれですか。[1つに〇]

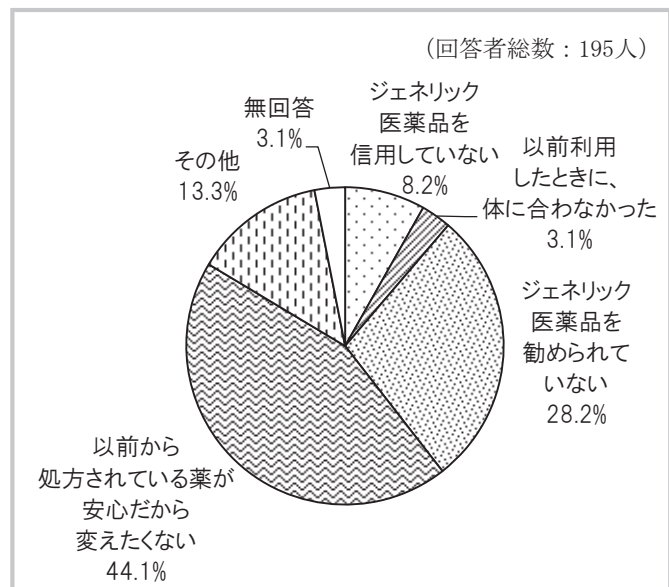
「薬を変えたくない」が44.1%

ジェネリック医薬品を利用していない理由については、「以前から処方されている薬が安心だから変えたくない」が44.1%となっています。

表 ジェネリック医薬品を利用しない理由 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	195
ジェネリック医薬品を信用していない	16 (8.2)
以前利用したときに、体に合わなかった	6 (3.1)
ジェネリック医薬品を勧められていない	55 (28.2)
以前から処方されている薬が安心だから変えたくない	86 (44.1)
その他	26 (13.3)
無回答	6 (3.1)

図 ジェネリック医薬品を利用しない理由



（6）行政に期待すること

問24 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
 [主なものを3つ以内で〇]

「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が
 36.6%

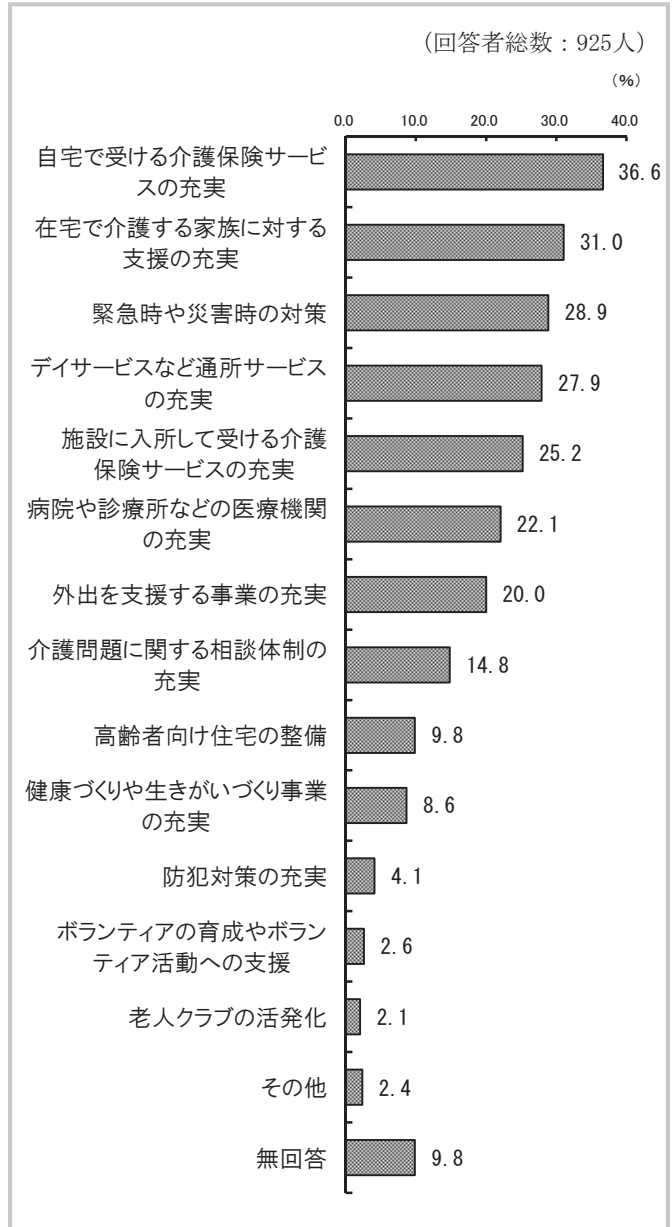
高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が36.6%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が31.0%、「緊急時や災害時の対策」が28.9%となっています。

また、「デイサービスなど通所サービスの充実」が27.9%、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が25.2%、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が25.2%となっています。

表 行政に期待すること 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
自宅で受ける介護保険サービスの充実	339（36.6）
在宅で介護する家族に対する支援の充実	287（31.0）
緊急時や災害時の対策	267（28.9）
デイサービスなど通所サービスの充実	258（27.9）
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	233（25.2）
病院や診療所などの医療機関の充実	204（22.1）
外出を支援する事業の充実	185（20.0）
介護問題に関する相談体制の充実	137（14.8）
高齢者向け住宅の整備	91（9.8）
健康づくりや生きがいづくり事業の充実	80（8.6）
防犯対策の充実	38（4.1）
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	24（2.6）
老人クラブの活発化	19（2.1）
その他	22（2.4）
無回答	91（9.8）

図 行政に期待すること



7 主な介護者の状況について

(1) 主な介護者

問25 主な介護者の方は、どなたですか。[1つに○]

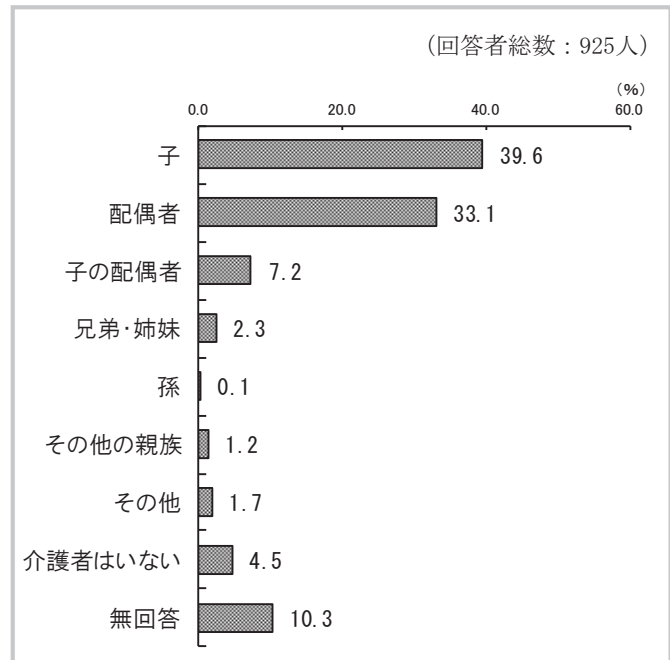
「子」が39.6%、「配偶者」が33.1%

家族や親族の主な介護者については、「子」が39.6%、「配偶者」が33.1%となっています。また、「子の配偶者」は7.2%となっています。

表 主な介護者 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	925
子	366 (39.6)
配偶者	306 (33.1)
子の配偶者	67 (7.2)
兄弟・姉妹	21 (2.3)
孫	1 (0.1)
その他の親族	11 (1.2)
その他	16 (1.7)
介護者はいない	42 (4.5)
無回答	95 (10.3)

図 主な介護者



（2）介護する上で困っていること

問26 主な介護者の方が介護する上で困っていることはありますか。[あてはまるものすべてに○]

「精神的な負担が大きい」が41.8%

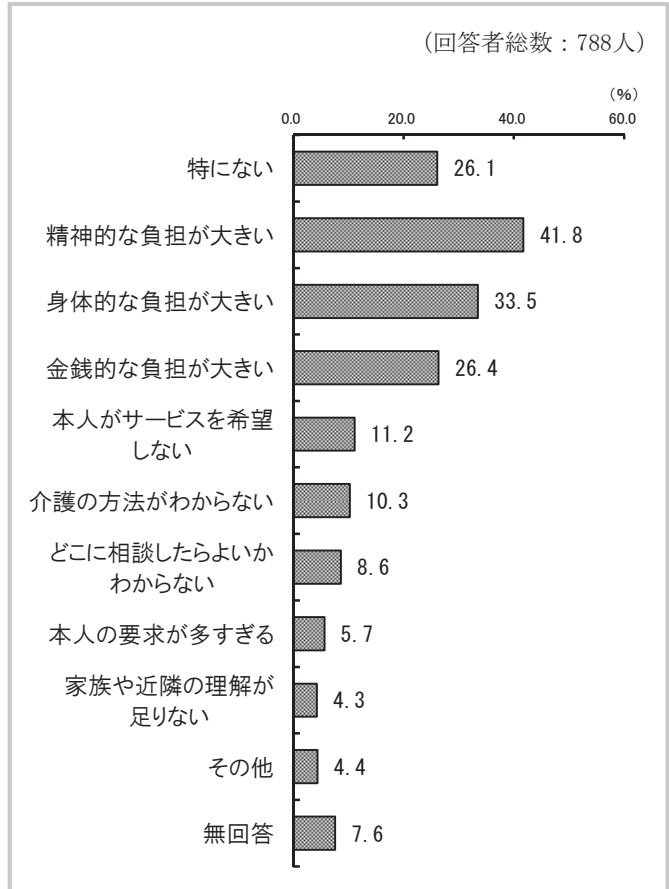
介護する上で困っていることについては、「精神的な負担が大きい」が41.8%で、次いで「身体的な負担が大きい」が33.5%、「金銭的な負担が大きい」が26.4%となっています。

一方、「特にない」は26.1%となっています。

表 介護する上で困っていること

区分	全体
回答者総数（人）	788
特にない	206 (26.1)
精神的な負担が大きい	329 (41.8)
身体的な負担が大きい	264 (33.5)
金銭的な負担が大きい	208 (26.4)
本人がサービスを希望しない	88 (11.2)
介護の方法がわからない	81 (10.3)
どこに相談したらよいかわからない	68 (8.6)
本人の要求が多すぎる	45 (5.7)
家族や近隣の理解が足りない	34 (4.3)
その他	35 (4.4)
無回答	60 (7.6)

図 介護する上で困っていること



【 認知症の診断別 】

介護する上で困っていることを認知症の診断別にみると、認知症と診断されている場合は、「精神的な負担が大きい」が52.0%、「身体的な負担が大きい」が38.9%、「金銭的な負担が大きい」が35.8%となっており、認知症と診断されていない場合と比較して割合が多くなっています。

表 認知症の診断別にみた介護する上で困っていること

単位：人（%）

項目	全 体	認知症の診断別	
		診断されている	診断されていない
回答者総数（人）	788	229	540
特にない	206 (26.1)	37 (16.2)	160 (29.6)
精神的な負担が大きい	329 (41.8)	119 (52.0)	203 (37.6)
身体的な負担が大きい	264 (33.5)	89 (38.9)	172 (31.9)
金銭的な負担が大きい	208 (26.4)	82 (35.8)	123 (22.8)
本人がサービスを希望しない	88 (11.2)	30 (13.1)	57 (10.6)
介護の方法がわからない	81 (10.3)	23 (10.0)	56 (10.4)
どこに相談したらよいかわからない	68 (8.6)	15 (6.6)	53 (9.8)
本人の要求が多すぎる	45 (5.7)	16 (7.0)	29 (5.4)
家族や近隣の理解が足りない	34 (4.3)	13 (5.7)	21 (3.9)
その他	35 (4.4)	18 (7.9)	17 (3.1)
無回答	60 (7.6)	12 (5.2)	46 (8.5)

※ 認知症診断の無回答者数 19人を除いている。

（3）介護者への支援で重要なこと

問27 在宅で介護する家族等への支援について、どんなことが重要だと思いますか。
 [主なものを3つ以内で〇]

「介護者の自由な時間があること」が38.8%

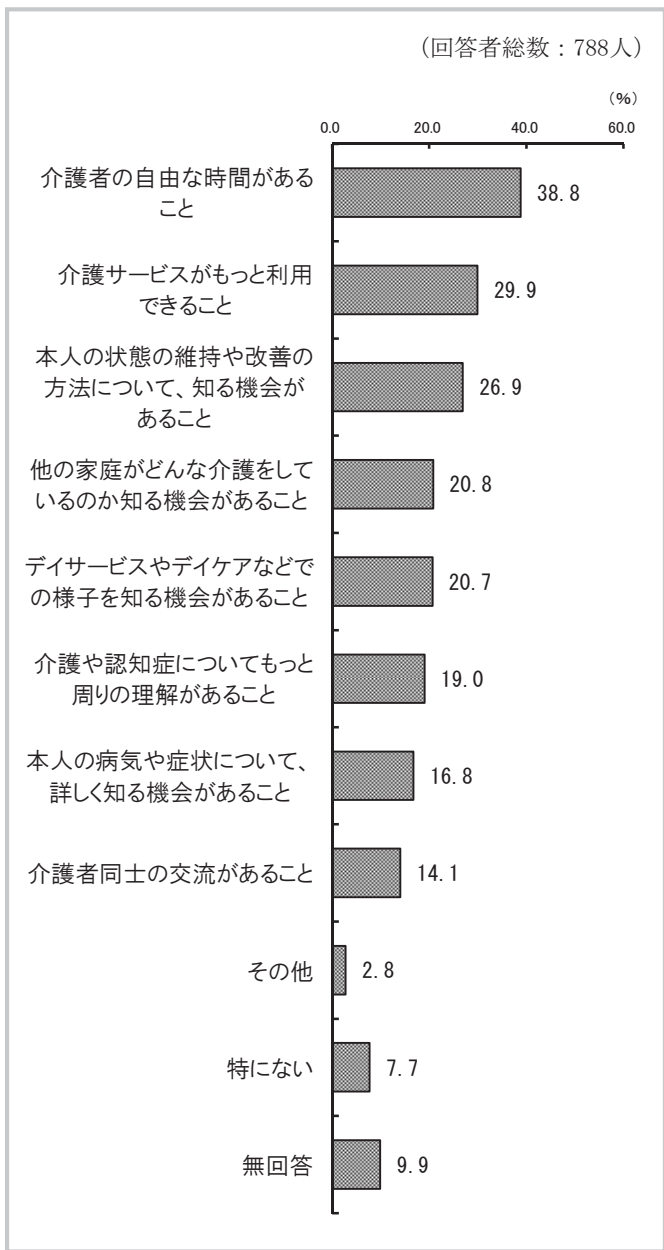
在宅で介護する家族等への支援について、どんなことが重要だと思うかについては、「介護者の自由な時間があること」が38.8%で、次いで「介護サービスがもっと利用できること」が29.9%、「本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること」が26.9%となっています。

また、「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」は20.8%、「デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること」は20.7%となっています。

表 介護者への支援で重要なこと

区分	全体
回答者総数（人）	788
介護者の自由な時間があること	306 (38.8)
介護サービスがもっと利用できること	236 (29.9)
本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること	212 (26.9)
他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること	164 (20.8)
デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること	163 (20.7)
介護や認知症についてもっと周りの理解があること	150 (19.0)
本人の病気や症状について、詳しく知る機会があること	132 (16.8)
介護者同士の交流があること	111 (14.1)
その他	22 (2.8)
特にない	61 (7.7)
無回答	78 (9.9)

図 介護者への支援で重要なこと



【 認知症の診断別 】

在宅で介護する家族等への支援について認知症別にみたところ、認知症が診断されている場合には、「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」が25.3%、「介護や認知症についてもっと周りの理解があること」が27.5%となっており、認知症と診断されていない場合より割合が多くなっています。

表 認知症の診断別にみた介護者への支援で重要なこと

単位：人（%）

項目	全 体	認知症の診断別	
		診断されている	診断されていない
回答者総数（人）	788	229	540
介護者の自由な時間があること	306 (38.8)	96 (41.9)	207 (38.3)
介護サービスがもっと利用できること	236 (29.9)	71 (31.0)	160 (29.6)
本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること	212 (26.9)	66 (28.8)	142 (26.3)
他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること	164 (20.8)	58 (25.3)	101 (18.7)
デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること	163 (20.7)	45 (19.7)	115 (21.3)
介護や認知症についてもっと周りの理解があること	150 (19.0)	63 (27.5)	84 (15.6)
本人の病気や症状について、詳しく知る機会があること	132 (16.8)	47 (20.5)	84 (15.6)
介護者同士の交流があること	111 (14.1)	32 (14.0)	73 (13.5)
その他	22 (2.8)	8 (3.5)	14 (2.6)
特にない	61 (7.7)	13 (5.7)	47 (8.7)
無回答	78 (9.9)	12 (5.2)	61 (11.3)

※ 認知症診断の無回答者数 19人を除いている。

8 要支援・要介護認定者（在宅者）調査のまとめ

①回答者の属性

性別については、「男性」が34.7%、「女性」が61.2%となっており、女性のほうが26.5ポイント多くなっています。

年齢構成をみると、「65～69歳」と「70～74歳」を合わせて前期高齢者は13.3%となっています。75歳以上の後期高齢者は81.5%と多くなっており、「85～89歳」が25.1%を占めています。

居住地区については、地区別では「小久喜」が24.8%で多く、次いで「白岡」が11.7%、「新白岡」が10.3%となっています。日常生活圏域でみると、「日勝圏域」と「篠津・大山圏域」がともに49.0%となっています。

家族構成については、「1人暮らし」が20.9%、「夫婦のみの世帯」が25.4%、「その他の世帯」が50.6%となっています。「1人暮らし」については、前回の調査結果と比較すると5.2ポイント増加しており、要介護認定を受けても在宅で1人暮らしをしている人が増えています。

世帯全体の年収（年金含む）については、「200～300万円未満」が20.6%、「300～400万円未満」が16.1%、「150～200万円未満」が12.2%となっています。

②身体状況などについて

介護度については、「要介護1」が21.0%、「要介護2」が20.2%となっており、要介護1と要介護2で全体の約4割を占めています。

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が27.1%となっています。

近くに往診をしてくれる医師がいるかについては、「いる」が29.9%となっています。往診をしてくれる医師がいたら利用するかについては、「現在利用している」が16.4%、「利用していないが、今後利用したい」が47.5%となっています。

医療と介護の連携についてどのように考えるかについては、「自宅で必要な医療行為や介護が受けられるといいと思う」が57.8%、「入院した場合、退院後自宅に戻ってから通院が難しくなると困る」が45.9%となっています。

③介護保険サービス利用の有無について

現在、介護保険のサービスを利用しているかについては、「利用している」が76.3%、「利用していない」が20.5%となっています。これを介護度別にみると、要介護1、要介護2、要介護3では利用している割合が8割以上で多くなっています。

現在、介護保険サービスを利用していない人にその理由をたずねたところ、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が44.2%、「本人にサービス利用の希望がない」が20.5%となっています。

④介護保険サービスの利用と評価について

現在、介護保険サービスを「利用している」と回答した人に、介護保険サービスの利用状況や評価などをたずねました。

現在利用しているサービスについては、「福祉用具の貸与」が51.0%で、次いで、「通所介護」が46.3%、「通所リハビリテーション」が29.7%となっています。前回調査と比較すると「通所介護」は6.1ポイント減少しているものの、「福祉用具の貸与」、「通所介護」、「通所リハビリテーション」の3項目は引き続き利用が多いサービスとなっています。介護度別にみると、「訪問介護」は要介護5で43.9%、「通所介護」は要介護3で57.1%と多くなっています。また、「福祉用具の貸与」は介護度が高いほど利用している割合が多くなる傾向がみられ、要介護4、要介護5で7割以上となっています。

サービスの量の評価を、そのサービスの利用者にとずねました。「満足」と回答した割合が多いものは、『福祉用具の貸与』（62.2%）、『居宅療養管理指導』（60.5%）、『通所介護』（57.5%）となっています。一方、「やや足りない」と回答した割合が多いものは、『小規模多機能型居宅介護』（42.9%）や『特定施設入居者生活介護』（37.8%）などとなっています。

介護保険サービスの総合的な評価については、「大変満足している」が6.2%、「満足している」が55.5%で、これらを合わせると満足と感じている人が61.7%となっており、比較的満足度は高いとみられます。介護度別にみると、要介護3では「やや不満である」が21.9%となっていますが、全体的に満足と感じている割合が多く、高い評価となっています。

介護保険サービスを利用したことにより、高齢者ご本人の身体や生活の状況が良くなったかという、サービスの効果について項目別にとずねました。その結果、「良くなった」という割合が、『健康状態』で35.7%、『生活の張りあい』で35.3%となっており、サービスの効果が評価されています。

⑤施設入所の意向について

現在、施設への入所の検討や申し込みをしているかについては、「入所を検討している」が15.5%、「すでに入所の申し込みをしている」が5.1%となっています。

⑥高齢者福祉や介護保険制度について

福祉や介護に関して誰に相談しているかについては、「ケアマネジャー」が68.1%で、次いで「家族・親族」が44.6%、「施設・病院の職員」が16.5%となっています。要介護者や家族にとってケアマネジャーの存在が大きいことがうかがえます。

認知症のどんなことに関心があるかについては、「認知症の予防に効果的な方法」が34.3%で、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」が29.2%、「認知症の人の介護の仕方」が20.9%となっています。認知症の予防と早期発見に関心が高いことがうかがえます。

成年後見制度を知っているかについては、「知っている」が48.9%であるものの、「知

らない」が41.5%となっています。認知症高齢者の安心した生活の手助けと保護のため、より一層の周知を進めていくことが重要です。

処方された薬などの相談ができる薬局があるかについては、「ある」が67.2%となっています。薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供しているかについては、「必ず情報提供している」が73.8%となっています。

ジェネリック医薬品の利用については、「積極的に利用している」が34.8%、「薬に応じて利用している」が33.3%となっています。一方、「利用していない」は21.1%で、その理由については、「以前から処方されている薬が安心だから変えたくない」が44.1%となっています。

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が36.6%で、次いで「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が31.0%、「緊急時や災害時の対策」が28.9%となっています。また、「デイサービスなど通所サービスの充実」が27.9%、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が25.2%となっています。

⑦主な介護者の状況について

家族や親族の主な介護者については、「子」が39.6%、「配偶者」が33.1%となっています。

介護する上で困っていることについては、「精神的な負担が大きい」が41.8%で、次いで「身体的な負担が大きい」が33.5%、「金銭的な負担が大きい」が26.4%となっています。認知症の診断別にみると、認知症と診断されている場合は、「精神的な負担が大きい」が52.0%、「身体的な負担が大きい」が38.9%、「金銭的な負担が大きい」が35.8%となっており、認知症と診断されていない場合と比較して割合が多くなっています。

在宅で介護する家族等への支援について、どんなことが重要だと思うかについては、「介護者の自由な時間があること」が38.8%で、次いで「介護サービスがもっと利用できること」が29.9%、「本人の状態の維持や改善の方法について、知る機会があること」が26.9%となっています。「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」は20.8%、「デイサービスやデイケアなどでの様子を知る機会があること」は20.7%となっています。認知症別では、認知症が診断されている場合には、「他の家庭がどんな介護をしているのか知る機会があること」が25.3%、「介護や認知症についてもっと周りの理解があること」が27.5%となっており、認知症と診断されていない場合より割合が多くなっています。

第3章 施設サービス利用者調査

第3章 施設サービス利用者調査

1 回答者の属性

(1) 性別

問1 性別を教えてください。[1つに〇]

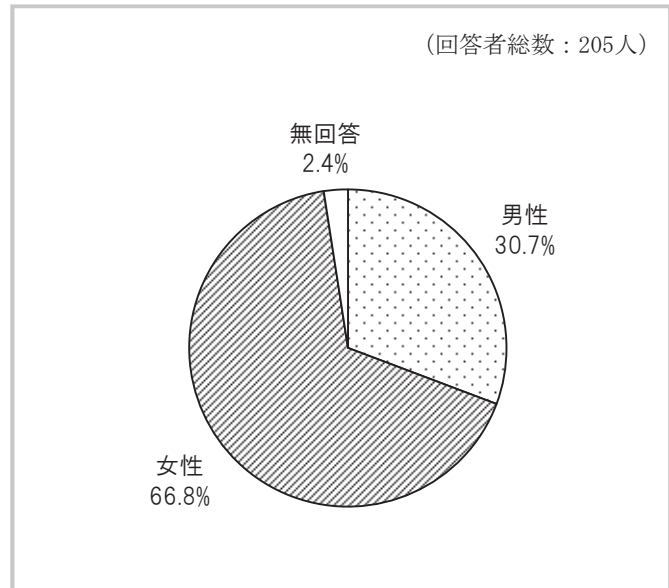
「男性」が30.7%、「女性」が66.8%

性別については、「男性」が30.7%、「女性」が66.8%となっています。

表 性別 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
男性	63 (30.7)
女性	137 (66.8)
無回答	5 (2.4)

図 性別



(2) 年齢

問2 1月1日現在、何歳ですか。[1つに○]

前期高齢者は 8.8%、後期高齢者は86.8%

年齢構成をみると、「40～64歳」が 2.4%となっています。

また、「65～69歳」が 3.4%、「70～74歳」が 5.4%で、これらを合わせると前期高齢者は 8.8%となっています。

さらに、「75～79歳」が 9.8%、「80～84歳」が19.0%、「85～89歳」が25.4%、「90歳以上」が32.7%で、これらを合わせると後期高齢者は86.8%となっています。

図 年齢

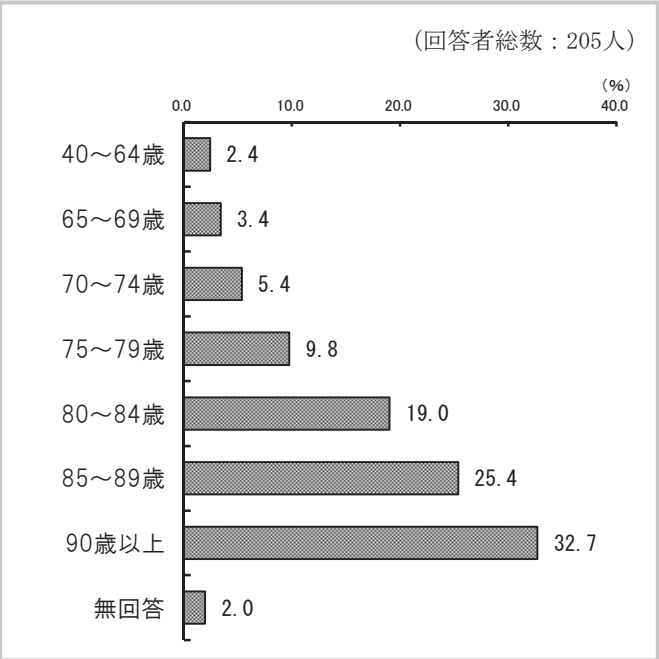
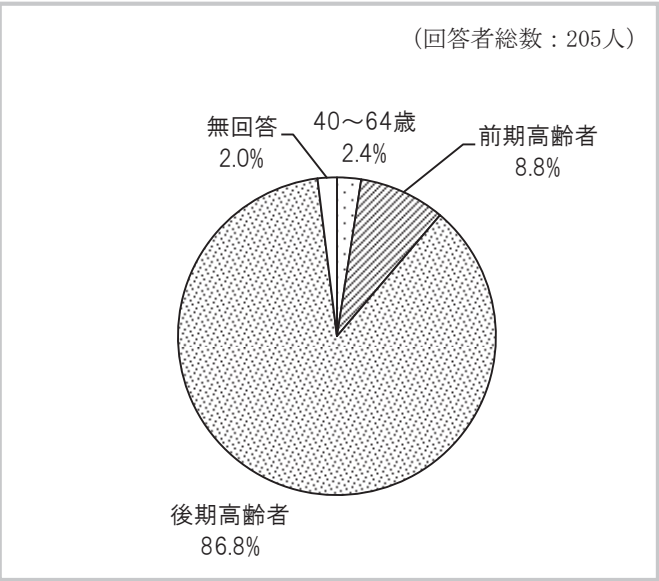


表 年齢 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	205
40～64歳	5 (2.4)
前期高齢者	18 (8.8)
65～69歳	7 (3.4)
70～74歳	11 (5.4)
後期高齢者	178 (86.8)
75～79歳	20 (9.8)
80～84歳	39 (19.0)
85～89歳	52 (25.4)
90歳以上	67 (32.7)
無回答	4 (2.0)

図 前期高齢者・後期高齢者別



(3) 介護度

問3 現在の介護度はいくつですか。[1つに○]

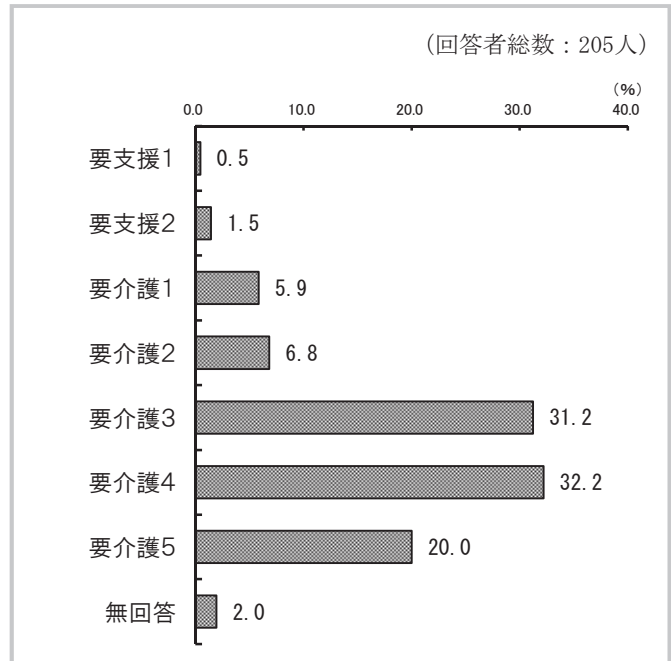
要介護3～5が83.4%

介護度については、「要介護3」が31.2%、「要介護4」が32.2%、「要介護5」が20.0%で、これらを合わせると要介護3～5が83.4%となっています。

表 介護度 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数(人)	205
要支援1	1 (0.5)
要支援2	3 (1.5)
要介護1	12 (5.9)
要介護2	14 (6.8)
要介護3	64 (31.2)
要介護4	66 (32.2)
要介護5	41 (20.0)
無回答	4 (2.0)

図 介護度



(4) 認知症の診断

問4 医師に「認知症」と診断されていますか。[1つに○]

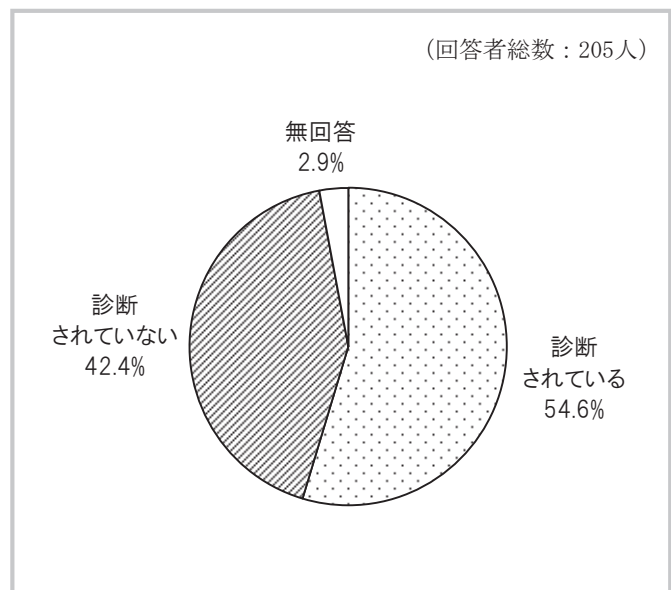
「診断されている」が54.6%

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が54.6%、「診断されていない」が42.4%となっています。

表 認知症の診断 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数(人)	205
診断されている	112 (54.6)
診断されていない	87 (42.4)
無回答	6 (2.9)

図 認知症の診断



(5) 入所前の居住地区

問5 現在の施設等に入所する以前は、どちらの地区にお住まいでしたか。[1つに〇]

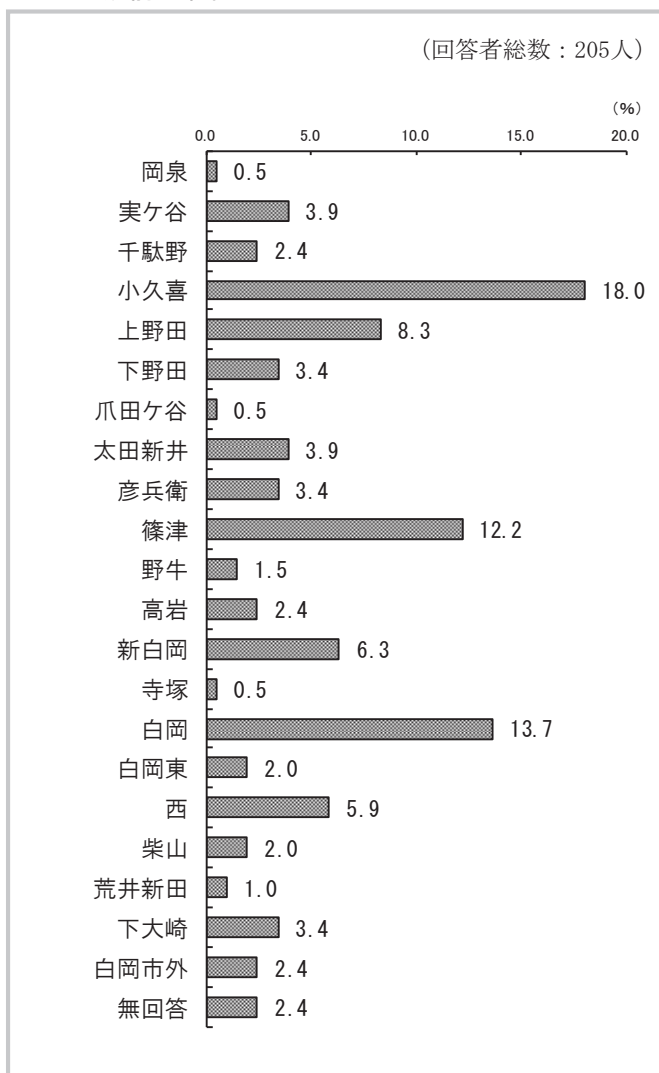
「小久喜」が18.0%、「白岡」が13.7%

入所する以前の居住地区については、「小久喜」が18.0%、「白岡」が13.7%となっています。

表 入所前の居住地区 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
日勝圏域	91 (44.4)
日勝地域	91 (44.4)
岡泉	1 (0.5)
実ヶ谷	8 (3.9)
千駄野	5 (2.4)
小久喜	37 (18.0)
上野田	17 (8.3)
下野田	7 (3.4)
爪田ヶ谷	1 (0.5)
太田新井	8 (3.9)
彦兵衛	7 (3.4)
篠津・大山圏域	104 (50.7)
篠津地域	91 (44.4)
篠津	25 (12.2)
野牛	3 (1.5)
高岩	5 (2.4)
新白岡	13 (6.3)
寺塚	1 (0.5)
白岡	28 (13.7)
白岡東	4 (2.0)
西	12 (5.9)
大山地域	13 (6.3)
柴山	4 (2.0)
荒井新田	2 (1.0)
下大崎	7 (3.4)
白岡市外	5 (2.4)
無回答	5 (2.4)

図 入所前の居住地区



入所前の居住地区を地域別にまとめると、「日勝地域」と「篠津地域」がそれぞれ44.4%、「大山地域」が6.3%となっています。

さらに日常生活圏域で見ると、「日勝圏域」が44.4%、「篠津・大山圏域」が50.7%となっています。

図 地域

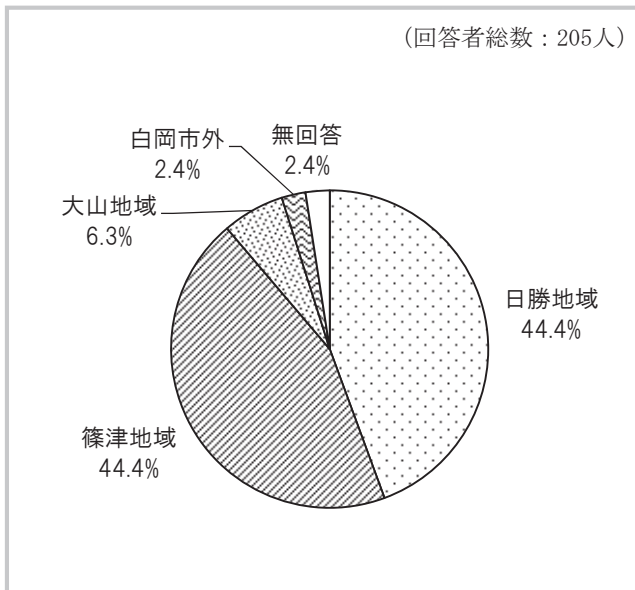
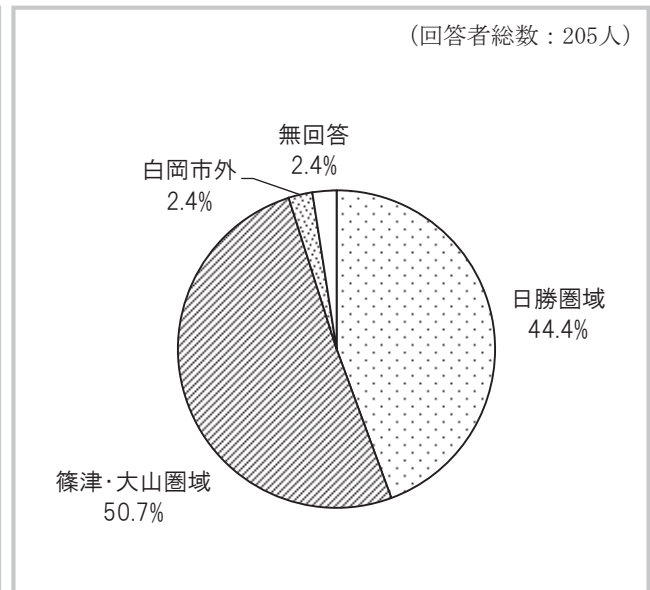


図 日常生活圏域



2 入所施設について

(1) 入所している施設の種類

問6 入所している施設の種類はどれですか。[1つに〇]

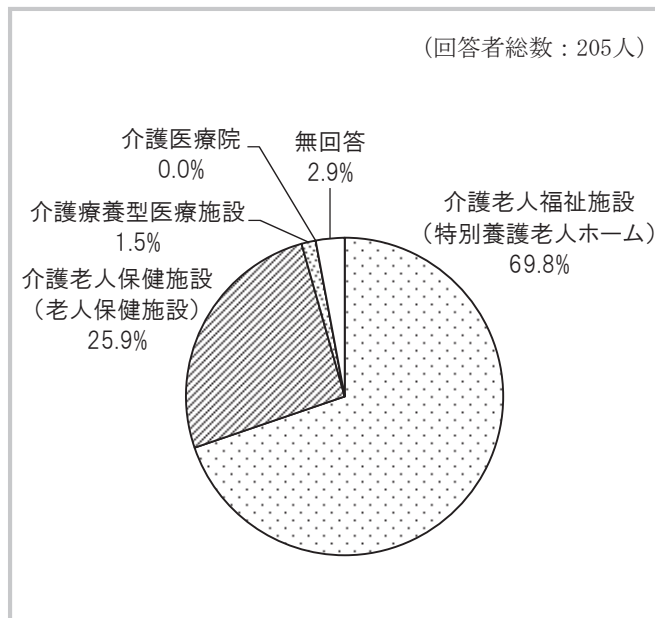
特別養護老人ホームが69.8%

入所している施設の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が69.8%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が25.9%となっています。

表 入所している施設の種類 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	143 (69.8)
介護老人保健施設 （老人保健施設）	53 (25.9)
介護療養型医療施設	3 (1.5)
介護医療院	0 (0.0)
無回答	6 (2.9)

図 入所している施設の種類



(2) 入所期間

問7 現在の施設に入所されてから、どのくらいたちますか。[1つに○]

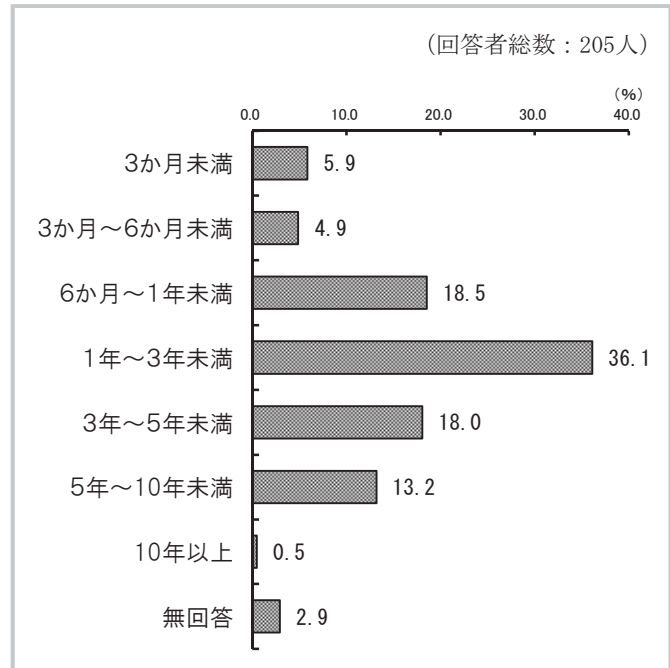
「1年～3年未満」が36.1%

現在の施設に入所されてからの入所期間については、「1年～3年未満」が36.1%、「6か月～1年未満」が18.5%、「3年～5年未満」が18.0%となっています。

表 入所期間 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
3か月未満	12（5.9）
3か月～6か月未満	10（4.9）
6か月～1年未満	38（18.5）
1年～3年未満	74（36.1）
3年～5年未満	37（18.0）
5年～10年未満	27（13.2）
10年以上	1（0.5）
無回答	6（2.9）

図 入所期間



(3) 入所した理由

問8 どのような理由で入所しましたか。[主なものを3つ以内で○]

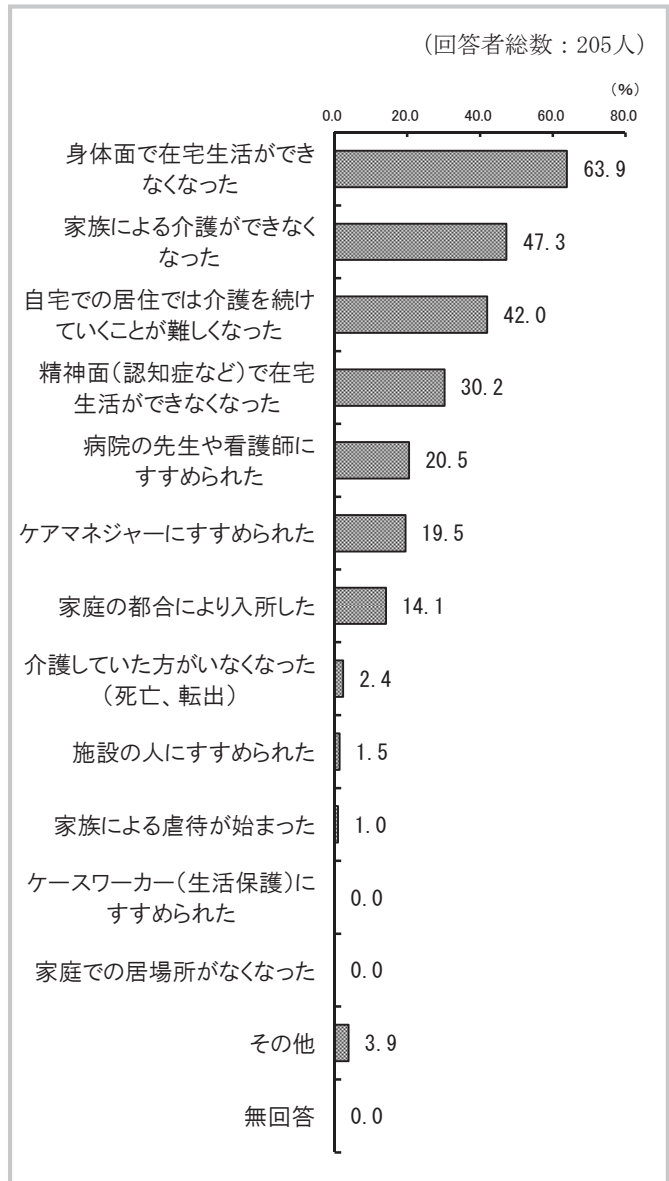
「身体面で在宅生活ができなくなった」が63.9%

入所した理由については、「身体面で在宅生活ができなくなった」が63.9%、「家族による介護ができなくなった」が47.3%、「自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった」が42.0%となっています。

表 入所した理由 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数(人)	205
身体面で在宅生活ができなくなった	131 (63.9)
家族による介護ができなくなった	97 (47.3)
自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった	86 (42.0)
精神面(認知症など)で在宅生活ができなくなった	62 (30.2)
病院の先生や看護師にすすめられた	42 (20.5)
ケアマネジャーにすすめられた	40 (19.5)
家庭の都合により入所した	29 (14.1)
介護していた方がいなくなった(死亡、転出)	5 (2.4)
施設の人にすすめられた	3 (1.5)
家族による虐待が始まった	2 (1.0)
ケースワーカー(生活保護)にすすめられた	0 (0.0)
家庭での居場所がなくなった	0 (0.0)
その他	8 (3.9)
無回答	0 (0.0)

図 入所した理由



【 認知症の診断別 】

入所した理由を認知症の診断別にみると、認知症の診断にかかわらず「身体面で在宅生活ができなくなった」が最も多くなっていますが、認知症と診断されていない場合では割合が74.7%と多くなっています。また、認知症と診断されている場合は「精神面（認知症など）で在宅生活ができなくなった」も50.0%と多くなっています。

表 認知症の診断別にみた入所した理由

単位：人（%）

項目	全体	認知症の診断別	
		診断されている	診断されていない
回答者総数（人）	205	112	87
身体面で在宅生活ができなくなった	131 (63.9)	63 (56.3)	65 (74.7)
家族による介護ができなくなった	97 (47.3)	54 (48.2)	40 (46.0)
自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった	86 (42.0)	44 (39.3)	39 (44.8)
精神面（認知症など）で在宅生活ができなくなった	62 (30.2)	56 (50.0)	5 (5.7)
病院の先生や看護師にすすめられた	42 (20.5)	17 (15.2)	23 (26.4)
ケアマネジャーにすすめられた	40 (19.5)	28 (25.0)	12 (13.8)
家庭の都合により入所した	29 (14.1)	15 (13.4)	13 (14.9)
介護していた方がいなくなった（死亡、転出）	5 (2.4)	1 (0.9)	4 (4.6)
施設の人にすすめられた	3 (1.5)	2 (1.8)	1 (1.1)
家族による虐待が始まった	2 (1.0)	2 (1.8)	0 (0.0)
ケースワーカー（生活保護）にすすめられた	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
家庭での居場所がなくなった	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	8 (3.9)	4 (3.6)	4 (4.6)
無回答	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

※ 認知症診断の無回答者数 6人を除いている。

3 施設のサービスについて

(1) 施設入所によってもたらす効果

問9 今の施設に入ってから、あなたの日常生活はどう変わりましたか。[各項目ごとに1つずつ〇]

『生活習慣』では、「規則正しくなった」という割合は68.8%

施設に入所してからの日常生活の変化について、項目ごとにたずねました。その結果、『生活習慣』では、「規則正しくなった」という割合は68.8%となっています。また、『生活の張り』では「張りが出た」が22.0%、『気持ち』では「前向きになった」が20.0%となっています。

図 施設入所によってもたらす効果



表 施設入所によってもたらす効果

回答者総数：205人 単位：人（%）

ア) 生活習慣	規則正しくなった 141 (68.8)	かわらない 58 (28.3)	不規則になった 1 (0.5)	無回答 5 (2.4)
イ) 生活の張り	張りが出た 45 (22.0)	かわらない 118 (57.6)	張りがなくなった 32 (15.6)	無回答 10 (4.9)
ウ) 気持ち	前向きになった 41 (20.0)	かわらない 132 (64.4)	ふさぎこみがち 21 (10.2)	無回答 11 (5.4)
エ) 服装・身だしなみ	気にするようになった 27 (13.2)	かわらない 142 (69.3)	かまわなくなった 27 (13.2)	無回答 9 (4.4)
オ) 気苦労	増えた 14 (6.8)	かわらない 124 (60.5)	減った 57 (27.8)	無回答 10 (4.9)

(2) 施設サービスの項目別満足度

問10 施設のサービスについて、満足していますか。[各項目ごとに1つずつ〇]

『健康面への配慮について』満足している人は76.1%

施設サービスの満足度について、項目ごとにたずねました。その結果、「満足である」という割合は、『健康面への配慮について』で76.1%、『職員の対応について』で70.7%、『入浴について』で68.3%となっていますが、『レクリエーションやクラブ活動について』では、「満足である」が43.4%で、「どちらともいえない」が45.4%となっています。

図 施設サービスの項目別満足度

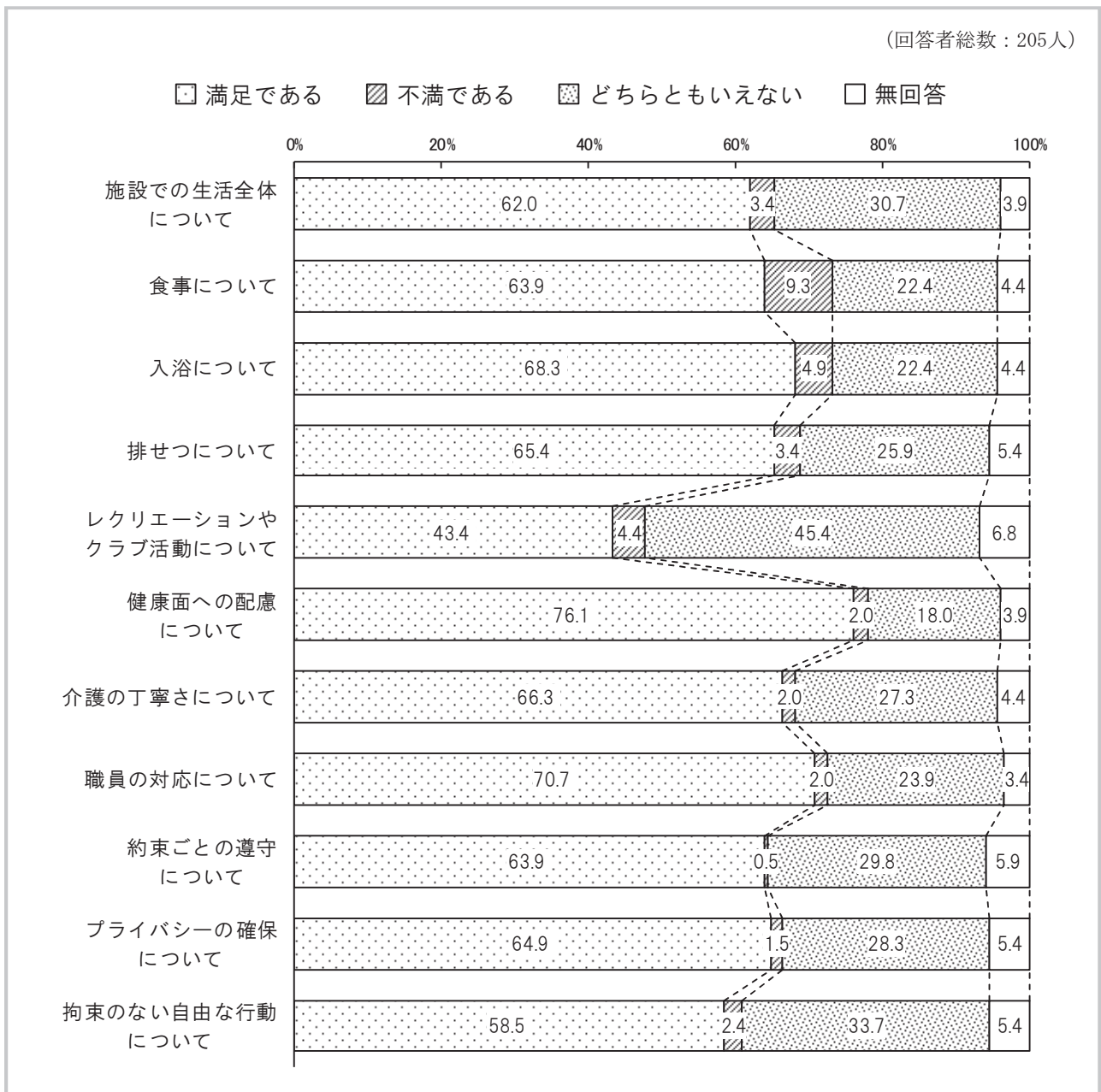


表 施設サービスの項目別満足度

回答者総数：205人 単位：人（%）

項目	満足である	不満である	どちらとも いけない	無回答
ア) 施設での生活全体について	127 (62.0)	7 (3.4)	63 (30.7)	8 (3.9)
イ) 食事について	131 (63.9)	19 (9.3)	46 (22.4)	9 (4.4)
ウ) 入浴について	140 (68.3)	10 (4.9)	46 (22.4)	9 (4.4)
エ) 排せつについて	134 (65.4)	7 (3.4)	53 (25.9)	11 (5.4)
オ) レクリエーションやクラブ 活動について	89 (43.4)	9 (4.4)	93 (45.4)	14 (6.8)
カ) 健康面への配慮について	156 (76.1)	4 (2.0)	37 (18.0)	8 (3.9)
キ) 介護の丁寧さについて	136 (66.3)	4 (2.0)	56 (27.3)	9 (4.4)
ク) 職員の対応について	145 (70.7)	4 (2.0)	49 (23.9)	7 (3.4)
ケ) 約束ごとの遵守について	131 (63.9)	1 (0.5)	61 (29.8)	12 (5.9)
コ) プライバシーの確保について	133 (64.9)	3 (1.5)	58 (28.3)	11 (5.4)
サ) 拘束のない自由な行動について	120 (58.5)	5 (2.4)	69 (33.7)	11 (5.4)

(3) 施設サービスの全般の満足度

問11 現在、入所している施設のサービス全般の満足度についておたずねします。[1つに○]

「満足である」が69.8%

現在、入所している施設のサービス全般の満足度については、「満足である」が69.8%、「不満である」が2.0%、「どちらともいけない」が25.9%となっています。

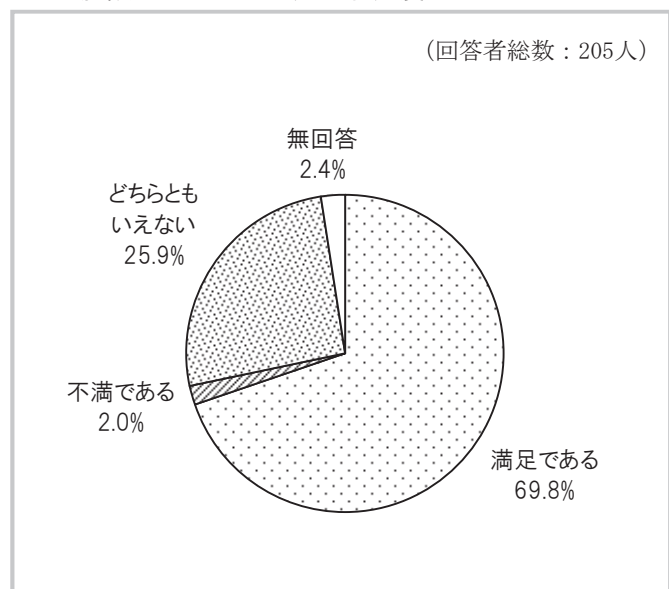
表 施設サービスの全般の満足度

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
満足である	143 (69.8)
不満である	4 (2.0)
どちらともいけない	53 (25.9)
無回答	5 (2.4)

図 施設サービスの全般の満足度

(回答者総数：205人)



(4) 利用料の評価

問12 現在の利用料についてどのように思いますか。[1つに○]

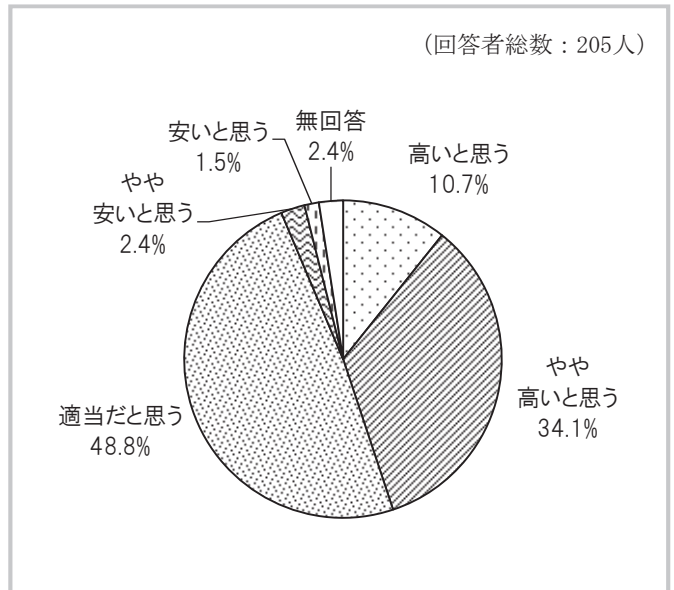
「適当だと思う」が48.8%

現在の利用料については、「適当だと思う」が48.8%となっています。

一方、「高いと思う」が10.7%、「やや高いと思う」が34.1%で、これらを合わせると利用料が高いと感じている人は44.8%となっています。

区分	全体
回答者総数 (人)	205
高いと思う	22 (10.7)
やや高いと思う	70 (34.1)
適当だと思う	100 (48.8)
やや安いと思う	5 (2.4)
安いと思う	3 (1.5)
無回答	5 (2.4)

図 利用料の評価



(5) 要望への対応の評価

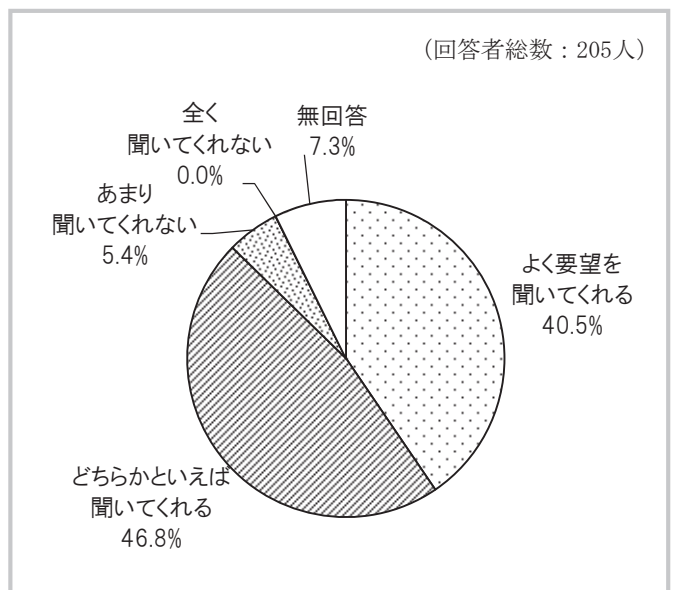
問13 施設はあなたの要望を聞いてくれますか。[1つに○]

要望を聞いてくれるが87.3%

施設が要望を聞いてくれるかについては、「よく要望を聞いてくれる」が40.5%、「どちらかといえば聞いてくれる」が46.8%で、これらを合わせると要望を聞いてくれると評価している人が87.3%となっています。

区分	全体
回答者総数 (人)	205
よく要望を聞いてくれる	83 (40.5)
どちらかといえば聞いてくれる	96 (46.8)
あまり聞いてくれない	11 (5.4)
全く聞いてくれない	0 (0.0)
無回答	15 (7.3)

図 要望への対応の評価



(6) 施設に不満があるときの相談先

問14 施設に不満があるとき、誰に相談しますか。[あてはまるものすべてに○]

「家族」が41.0%

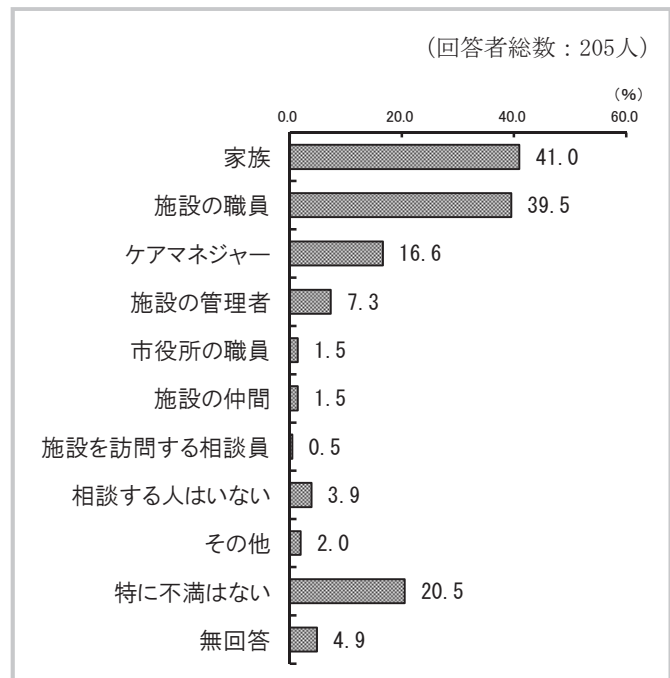
施設に不満があるときにだれに相談するかについては、「家族」が41.0%、次いで「施設の職員」が39.5%、「ケアマネジャー」が16.6%となっています。

表 施設に不満があるときの相談先

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
家族	84 (41.0)
施設の職員	81 (39.5)
ケアマネジャー	34 (16.6)
施設の管理者	15 (7.3)
市役所の職員	3 (1.5)
施設の仲間	3 (1.5)
施設を訪問する相談員	1 (0.5)
相談する人はいない	8 (3.9)
その他	4 (2.0)
特に不満はない	42 (20.5)
無回答	10 (4.9)

図 施設に不満があるときの相談先



(7) サービスの改善の有無と改善点

問15 施設でのサービスについて改善してほしいことはありますか。[1つに○]

改善してほしいことがある人は10.7%

施設でのサービスについて改善してほしいことがあるかについては、「ある」が10.7%となっています。

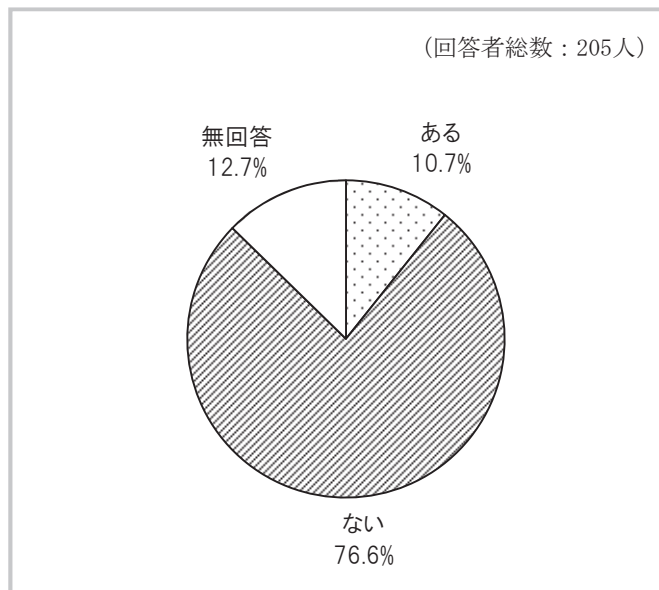
改善してほしいことの具体的な内容として、食事の内容や入浴の回数、声かけ、レクリエーション、職員体制の充実などの記載がありました。

表 サービスの改善の有無と改善点

単位：人（%）

区 分	全 体
回答者総数（人）	205
ある	22 (10.7)
ない	157 (76.6)
無回答	26 (12.7)

図 サービスの改善の有無と改善点



(8) 薬局について

問16 処方された薬などの相談ができる薬局はありますか。[1つに〇]

「ある」が54.1%

処方された薬などの相談ができる薬局があるかについては、「ある」が54.1%となっています。

一方、「ない」は37.6%となっています。

図 相談できる薬局の有無

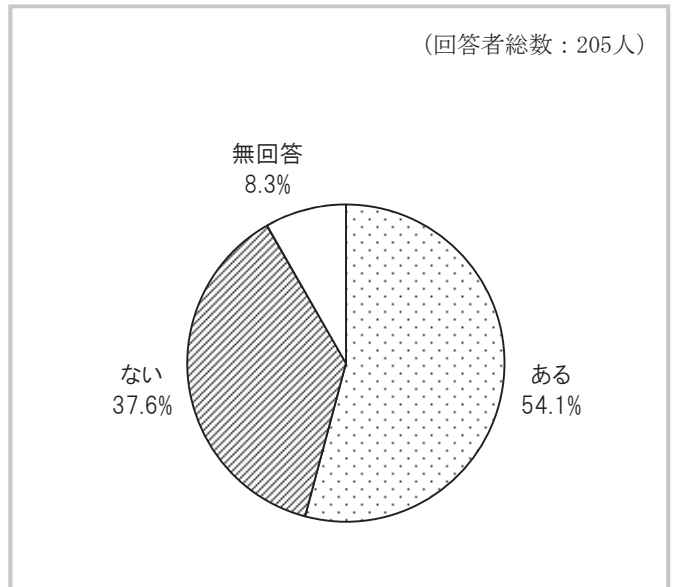


表 相談できる薬局の有無 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	205
ある	111 (54.1)
ない	77 (37.6)
無回答	17 (8.3)

問17 薬を処方された時に、現在内服等しているすべての薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供していますか。[1つに〇]

「必ず情報提供している」が67.3%

薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供しているかについては、「必ず情報提供している」が67.3%となっています。

一方、「情報提供していない」は15.6%となっています。

図 お薬手帳の活用状況

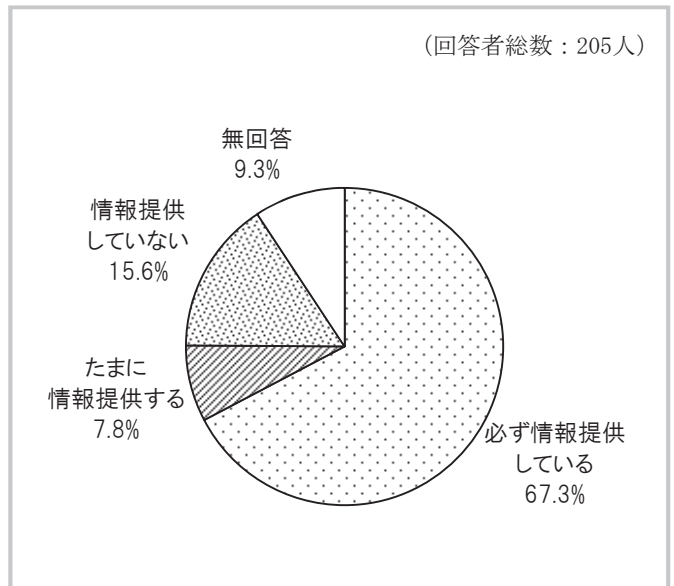


表 お薬手帳の活用状況 単位：人 (%)

区分	全体
回答者総数 (人)	205
必ず情報提供している	138 (67.3)
たまに情報提供する	16 (7.8)
情報提供していない	32 (15.6)
無回答	19 (9.3)

(9) ジェネリック医薬品の利用状況

問18 ジェネリック医薬品（後発医薬品）を利用していますか。[1つに〇]

「積極的に利用している」が29.3%

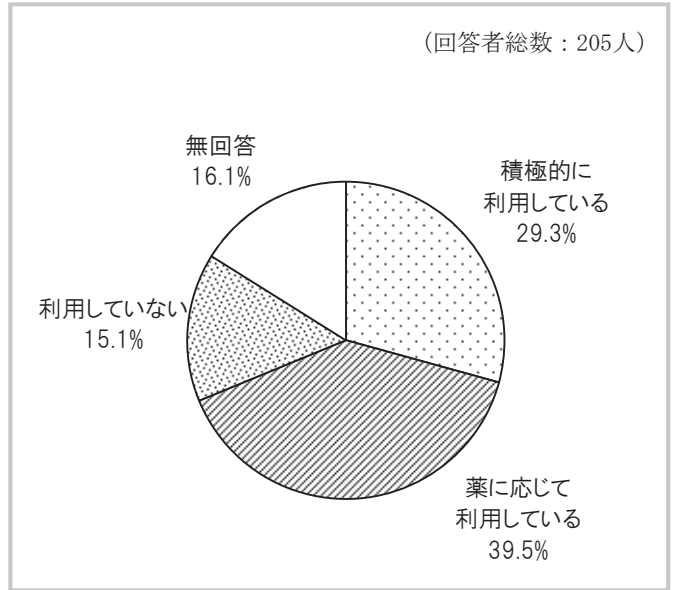
ジェネリック医薬品の利用については、「積極的に利用している」が29.3%、「薬に応じて利用している」が39.5%となっています。

一方、「利用していない」は15.1%となっています。

表 ジェネリック医薬品の利用状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
積極的に利用している	60 (29.3)
薬に応じて利用している	81 (39.5)
利用していない	31 (15.1)
無回答	33 (16.1)

図 ジェネリック医薬品の利用状況



問19 [問18で「利用していない」と回答した方] 利用しない主な理由は次のどれですか。[1つに〇]

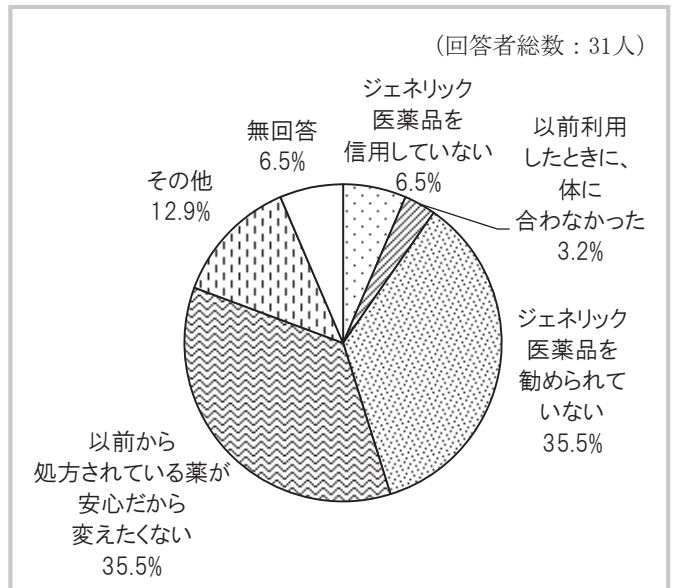
「勧められていない」、「薬を変えたくない」が35.5%

ジェネリック医薬品を利用していない理由については、「ジェネリック医薬品を勧められていない」と「以前から処方されている薬が安心だから変えたくない」が同率で35.5%となっています。

表 ジェネリック医薬品を利用しない理由 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	31
ジェネリック医薬品を信用していない	2 (6.5)
以前利用したときに、体に合わなかった	1 (3.2)
ジェネリック医薬品を勧められていない	11 (35.5)
以前から処方されている薬が安心だから変えたくない	11 (35.5)
その他	4 (12.9)
無回答	2 (6.5)

図 ジェネリック医薬品を利用しない理由



4 今後の意向や要望について

(1) 退所や他の施設への入所希望

問20 施設からの退所や他の施設への入所を希望していますか。[1つに○]

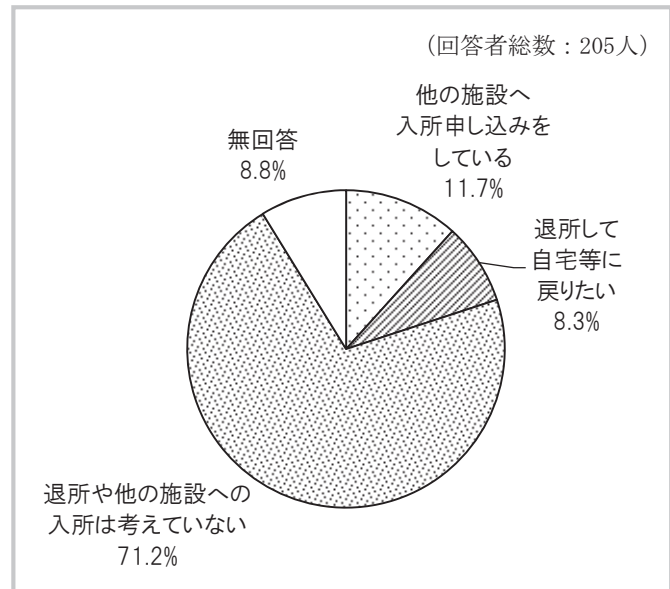
「退所や他の施設への入所は考えていない」が71.2%

施設からの退所や他の施設への入所を希望しているかについては、「退所や他の施設への入所は考えていない」が71.2%となっています。また、「他の施設への入所申し込みをしている」は11.7%、「退所して自宅等に戻りたい」は8.3%となっています。

表 退所や他の施設への入所希望 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
他の施設へ入所申し込みをしている	24（11.7）
退所して自宅等に戻りたい	17（8.3）
退所や他の施設への入所は考えていない	146（71.2）
無回答	18（8.8）

図 退所や他の施設への入所希望



問21 〔問20で「他の施設へ入所申し込みをしている」と回答した方〕
どの施設に申し込んでいますか。[あてはまるものすべてに○]

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）が18人

他の施設への入所申し込みをしている人に、どの施設に申し込んでいるのかをたずねたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が18人、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が4人などとなっています。

(2) 行政に期待すること

問22 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
[主なものを3つ以内で〇]

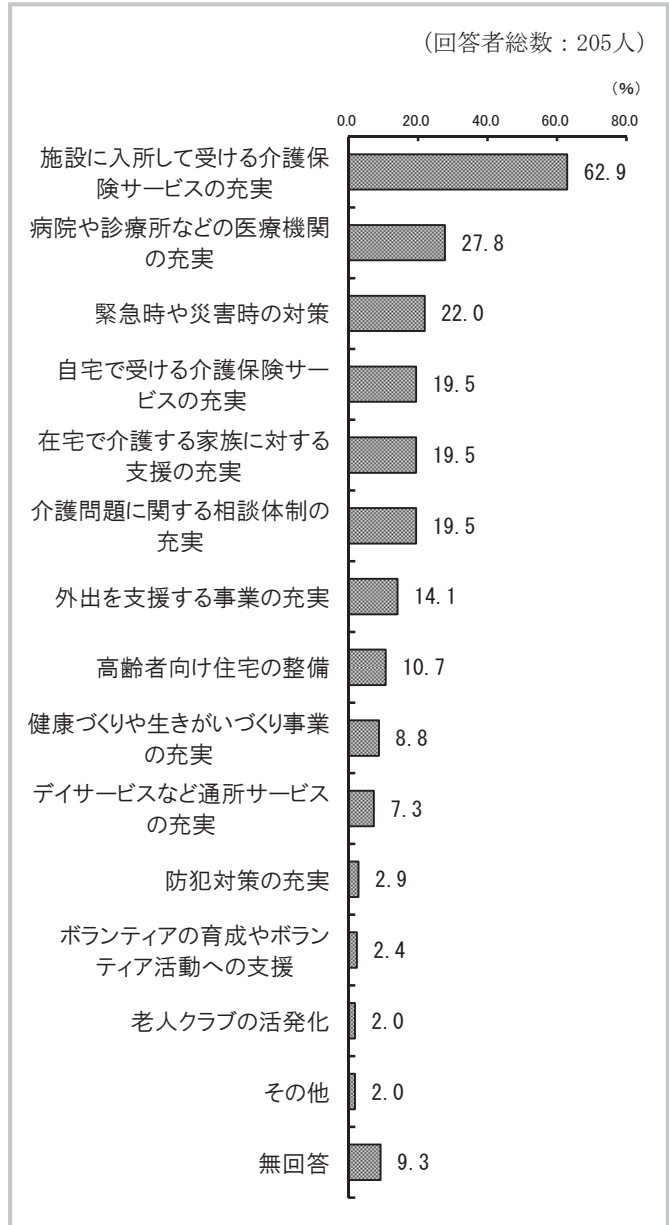
「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が62.9%

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が62.9%で、次いで「病院や診療所などの医療機関の充実」が27.8%、「緊急時や災害時の対策」が22.0%となっています。

表 行政に期待すること 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	205
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	129 (62.9)
病院や診療所などの医療機関の充実	57 (27.8)
緊急時や災害時の対策	45 (22.0)
自宅で受ける介護保険サービスの充実	40 (19.5)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	40 (19.5)
介護問題に関する相談体制の充実	40 (19.5)
外出を支援する事業の充実	29 (14.1)
高齢者向け住宅の整備	22 (10.7)
健康づくりや生きがいづくり事業の充実	18 (8.8)
デイサービスなど通所サービスの充実	15 (7.3)
防犯対策の充実	6 (2.9)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	5 (2.4)
老人クラブの活発化	4 (2.0)
その他	4 (2.0)
無回答	19 (9.3)

図 行政に期待すること



5 施設サービス利用者調査のまとめ

①回答者の属性

性別については、「男性」が30.7%、「女性」が66.8%で、女性が男性の約2倍となっています。

年齢構成をみると、「65～69歳」と「70～74歳」を合わせて、前期高齢者は8.8%となっています。一方、75歳以上の後期高齢者は86.8%で、「90歳以上」が32.7%と多くなっています。

介護度については、「要介護3」が31.2%、「要介護4」が32.2%、「要介護5」が20.0%で、これらを合わせると要介護3～5で83.4%を占めています。

医師に「認知症」と診断されているかについては、「診断されている」が54.6%で、施設入所者の過半数を占めています。要支援・要介護認定者（在宅者）調査と比較すると、認知症と診断されている人の割合は27.5ポイント高くなっており、施設入所の要因の一つとなっていることがうかがえます。

入所する以前の居住地区については、「小久喜」が18.0%、「白岡」が13.7%となっています。日常生活圏域でみると、「日勝圏域」が44.4%、「篠津・大山圏域」が50.7%となっています。

②入所施設について

入所している施設の種類については、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が69.8%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が25.9%となっています。

現在の施設に入所されてからの入所期間については、「1年～3年未満」が36.1%、「6か月～1年未満」が18.5%、「3年～5年未満」が18.0%となっています。

入所した理由については、「身体面で在宅生活ができなくなった」が63.9%、「家族による介護ができなくなった」が47.3%、「自宅での居住では介護を続けていくことが難しくなった」が42.0%となっています。認知症の診断別にみると、認知症の診断にかかわらず「身体面で在宅生活ができなくなった」が最も多くなっていますが、認知症と診断されていない場合では割合が74.7%と多くなっています。また、認知症と診断されている場合は「精神面（認知症など）で在宅生活ができなくなった」も50.0%で多くなっています。認知症の有無によって入所の理由が異なる傾向があるとみられます。

③施設のサービスについて

施設に入所してからの日常生活の変化について、項目ごとにたずねました。その結果、『生活習慣』では、「規則正しくなった」という割合は68.8%となっています。また、『生活の張り』では「張りが出た」が22.0%、『気持ち』では「前向きになった」が20.0%となっており、施設サービスによる効果が評価されています。

施設サービスの満足度について、項目ごとにたずねました。その結果、「満足である」という割合は、『健康面への配慮について』で76.1%、『職員の対応について』で70.7%、

『入浴について』で68.3%となっていますが、『レクリエーションやクラブ活動について』では、「満足である」が43.4%で、「どちらともいえない」が45.4%となっています。

入所している施設のサービス全般の満足度については、「満足である」が69.8%で、高い評価となっています。

現在の利用料については、「適当だと思う」が48.8%となっていますが、「高いと思う」は10.7%、「やや高いと思う」は34.1%で、これらを合わせると利用料が高いと感じている人は44.8%となっています。

施設が要望を聞いてくれるかについては、「よく要望を聞いてくれる」が40.5%、「どちらかといえば聞いてくれる」が46.8%で、これらを合わせると要望を聞いてくれると評価している人が87.3%となっています。

施設に不満があるときにだれに相談するかについては、「家族」が41.0%、次いで「施設の職員」が39.5%、「ケアマネジャー」が16.6%となっています。

施設でのサービスについて改善してほしいことがあるかについては、「ある」が10.7%となっています。改善してほしいことの内容として、食事の内容や入浴の回数、声かけ、レクリエーション、職員体制の充実などの記載がありました。

処方された薬などの相談ができる薬局があるかについては、「ある」が54.1%となっています。薬の情報をお薬手帳などで薬局に情報提供しているかについては、「必ず情報提供している」が67.3%となっています。

ジェネリック医薬品の利用については、「積極的に利用している」が29.3%、「薬に応じて利用している」が39.5%となっています。一方、「利用していない」は15.1%で、その理由については、「ジェネリック医薬品を勧められていない」と「以前から処方されている薬が安心だから変えたくない」が同率で35.5%となっています。

④今後の意向や要望について

施設からの退所や他の施設への入所を希望しているかについては、「退所や他の施設への入所は考えていない」が71.2%となっています。また、「他の施設への入所申し込みをしている」は11.7%、「退所して自宅等に戻りたい」は8.3%となっています。

他の施設への入所申し込みをしている人に、どの施設に申し込んでいるのかをたずねたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が18人、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が4人などとなっています。

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「施設に入所して受ける介護保険サービスの充実」が62.9%で、次いで「病院や診療所などの医療機関の充実」が27.8%、「緊急時や災害時の対策」が22.0%となっています。

第4章 サービス提供事業者調査

第4章 サービス提供事業者調査

1 回答事業者の属性

(1) 事業所概要

問1 事業所の法人格 [1つに〇]

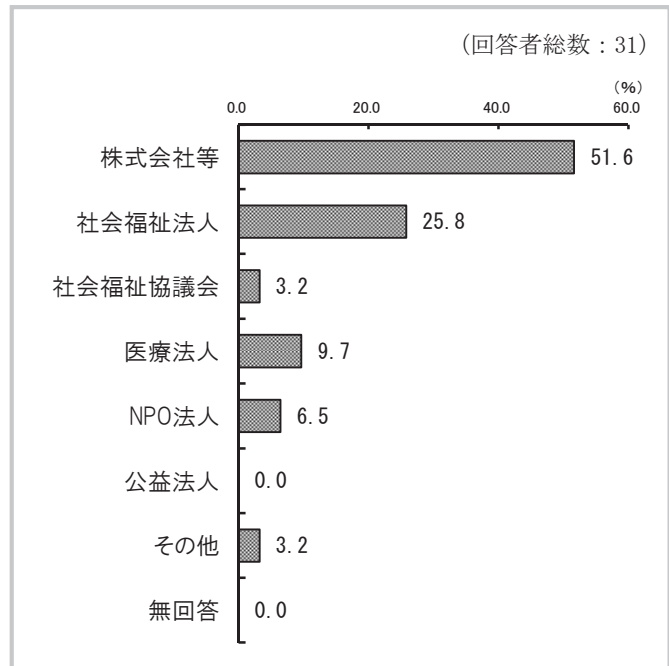
「株式会社等」が51.6%

回答のあった事業所の法人格については、「株式会社等」が51.6%、「社会福祉法人」が25.8%、「医療法人」が9.7%となっています。

表 事業所の法人格 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	31
株式会社等	16 (51.6)
社会福祉法人	8 (25.8)
社会福祉協議会	1 (3.2)
医療法人	3 (9.7)
NPO法人	2 (6.5)
公益法人	0 (0.0)
その他	1 (3.2)
無回答	0 (0.0)

図 事業所の法人格



2 サービスの提供状況について

(1) サービスの実施状況とニーズへの対応状況

問2 貴事業所で実施しているサービスの種類は何ですか。[あてはまるものすべてに○]
また、そのサービスは、ニーズに対応できていますか。[各項目につき1つずつ○]

「居宅介護支援」が14件、「訪問介護」が11件、「通所介護」と「介護予防支援」がそれぞれ8件
ニーズに対して「断ることがある」は、「訪問介護」で4件

調査に回答した事業所の提供サービスについては、「居宅介護支援」が14件、「訪問介護」が11件、「通所介護」と「介護予防支援」がそれぞれ8件となっています。

また、ニーズへの対応については、「断ることがある」という件数をみると、「訪問介護」で4件、「居宅介護支援」と「訪問介護（総合事業）」、「サービス付き高齢者向け住宅」でそれぞれ2件となっています。

表 サービスの実施状況とニーズへの対応状況

単位：件

項目	実施している事業所数		ニーズへの対応状況	
			対応できている	断ることがある
1 訪問介護	11	⇒	7	4
2 訪問入浴介護	0	⇒	-	-
3 訪問看護	3	⇒	2	1
4 訪問リハビリテーション	1	⇒	1	0
5 居宅療養管理指導	1	⇒	1	0
6 通所介護	8	⇒	7	0
7 通所リハビリテーション	1	⇒	1	0
8 短期入所生活介護	4	⇒	4	0
9 短期入所療養介護	1	⇒	1	0
10 特定施設入居者生活介護	2	⇒	2	0
11 福祉用具貸与	1	⇒	1	0
12 特定福祉用具販売	1	⇒	1	0
13 居宅介護住宅改修	1	⇒	1	0
14 介護予防訪問入浴介護	0	⇒	-	-
15 介護予防訪問看護	3	⇒	2	1
16 介護予防訪問リハビリテーション	1	⇒	1	0
17 介護予防居宅療養管理指導	1	⇒	1	0
18 介護予防通所リハビリテーション	1	⇒	1	0
19 介護予防短期入所生活介護	4	⇒	3	1
20 介護予防短期入所療養介護	1	⇒	1	0

項目	実施している事業所数		ニーズへの対応状況	
			対応できている	断ることがある
21 介護予防特定施設入居者生活介護	2	⇒	2	0
22 介護予防福祉用具貸与	1	⇒	1	0
23 特定介護予防福祉用具販売	1	⇒	1	0
24 介護予防住宅改修	1	⇒	1	0
25 基準該当短期入所生活介護	0	⇒	-	-
26 基準該当介護予防短期入所生活介護	0	⇒	-	-
27 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	⇒	-	-
28 夜間対応型訪問介護	0	⇒	-	-
29 地域密着型通所介護	5	⇒	4	1
30 認知症対応型通所介護	1	⇒	1	0
31 小規模多機能型居宅介護	1	⇒	1	0
32 認知症対応型共同生活介護	2	⇒	2	0
33 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	⇒	-	-
34 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	⇒	1	0
35 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0	⇒	-	-
36 介護予防認知症対応型通所介護	0	⇒	-	-
37 介護予防小規模多機能型居宅介護	1	⇒	1	0
38 介護予防認知症対応型共同生活介護	1	⇒	1	0
39 居宅介護支援	14	⇒	12	2
40 介護予防支援	8	⇒	7	1
41 介護老人福祉施設	4	⇒	3	1
42 介護老人保健施設	1	⇒	1	0
43 介護医療院	0	⇒	-	-
44 訪問介護（総合事業）	6	⇒	4	2
45 訪問型サービスA	2	⇒	2	0
46 通所介護（総合事業）	4	⇒	4	0
47 通所型サービスA	4	⇒	3	1
48 通所型サービスC	2	⇒	2	0
49 ケアマネジメントA	0	⇒	-	-
50 住宅型有料老人ホーム	0	⇒	0	0
51 サービス付き高齢者向け住宅	6	⇒	4	2
52 ケアハウス	1	⇒	0	1

3 今後の事業展開について

(1) 今後の事業展開の予定

問3 貴事業所のサービスについて、利用定員や職員数、サービスの内容の規模等における今後の事業展開の予定、もしくはサービスの廃止や新規実施の有無などをお答えください。
[各項目につき1つずつ〇]

『訪問介護』、『居宅介護支援』、『訪問介護（総合事業）』、『通所介護（総合事業）』などで「規模拡大」

事業展開について、「規模拡大」と回答した事業者は、『訪問介護』で4件、『居宅介護支援』と『訪問介護（総合事業）』、『通所介護（総合事業）』でそれぞれ3件などとなっています。施設入所のサービスについては、「規模拡大」という回答はありませんでした。

「廃止」は、『通所介護』と『福祉用具貸与』でそれぞれ1件ありますが、現在既に提供を休止しているケースなどとなっています。

「新規」は、『訪問看護』、『介護予防訪問看護』、『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』、『小規模多機能型居宅介護』、『看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）』、『通所型サービスA』、『住宅型有料老人ホーム』でそれぞれ1件ありました。

表 今後の事業展開の予定

単位：件

項目	現在実施している事業所数	今後の予定				
		規模拡大	現状維持	規模縮小	廃止	新規
1 訪問介護	11	4	7	0	0	0
2 訪問入浴介護	0	0	1	0	0	0
3 訪問看護	3	1	1	0	0	1
4 訪問リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
5 居宅療養管理指導	1	0	1	0	0	0
6 通所介護	8	1	4	0	1	0
7 通所リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
8 短期入所生活介護	4	1	2	0	0	0
9 短期入所療養介護	1	0	1	0	0	0
10 特定施設入居者生活介護	2	0	1	0	0	0
11 福祉用具貸与	1	1	0	0	1	0
12 特定福祉用具販売	1	1	0	0	0	0
13 居宅介護住宅改修	1	1	0	0	0	0
14 介護予防訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0
15 介護予防訪問看護	3	2	1	0	0	1
16 介護予防訪問リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
17 介護予防居宅療養管理指導	1	0	0	0	0	0
18 介護予防通所リハビリテーション	1	0	1	0	0	0
19 介護予防短期入所生活介護	4	0	1	0	0	0
20 介護予防短期入所療養介護	1	0	1	0	0	0

項目	現在実施している事業所数	今後の予定					
		規模拡大	現状維持	規模縮小	廃止	新規	
21	介護予防特定施設入居者生活介護	2	0	1	0	0	0
22	介護予防福祉用具貸与	1	1	0	0	0	0
23	特定介護予防福祉用具販売	1	1	0	0	0	0
24	介護予防住宅改修	1	1	0	0	0	0
25	基準該当短期入所生活介護	0	0	0	0	0	0
26	基準該当介護予防短期入所生活介護	0	0	0	0	0	0
27	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0	0	0	1
28	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0
29	地域密着型通所介護	5	1	3	0	0	0
30	認知症対応型通所介護	1	0	0	0	0	0
31	小規模多機能型居宅介護	1	0	1	0	0	1
32	認知症対応型共同生活介護	2	0	2	0	0	0
33	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0
34	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	0	0	0
35	看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	0	0	0	0	0	1
36	介護予防認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0
37	介護予防小規模多機能型居宅介護	1	0	1	0	0	0
38	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	0	1	0	0	0
39	居宅介護支援	14	3	8	1	0	0
40	介護予防支援	8	2	3	1	0	0
41	介護老人福祉施設	4	0	2	0	0	0
42	介護老人保健施設	1	0	1	0	0	0
43	介護医療院	0	0	0	0	0	0
44	訪問介護（総合事業）	6	3	3	0	0	0
45	訪問型サービスA	2	0	2	0	0	0
46	通所介護（総合事業）	4	3	2	0	0	0
47	通所型サービスA	4	0	2	0	0	1
48	通所型サービスC	2	0	2	0	0	0
49	ケアマネジメントA	0	0	0	0	0	0
50	住宅型有料老人ホーム	0	0	0	0	0	1
51	サービス付き高齢者向け住宅	6	1	4	0	0	0
52	ケアハウス	1	0	1	0	0	0

(2) 今後の事業展開の具体的内容

問4 問3で規模拡大や規模縮小、新規に○がある場合、予定されている具体的な内容をわかる範囲でけっこうですので、記入してください。

8事業所から、今後の事業展開の具体的な内容について記述がありました。利用者の増加やサービス提供体制強化への対応などの内容となっています。

表 具体的内容

サービス名等	内 容
訪問介護と訪問看護	一般在宅者へのサービス提供
訪問介護	利用者増加に対応できるよう支援員の増加
訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護	365日病気の方は病気ですので、在宅の看介護サービスで退院後の選択肢を増やすため。365日24時間の体制を作っていきます。
訪問看護	できれば令和2年度中に機能強化型Ⅱ（常勤5名以上）
短期入所生活介護	ショートステイ
通所介護、通所介護（総合事業）、サービス付き高齢者向け住宅	適した土地が見つかった場合や業務譲渡等の話があった場合、拡大していく予定。
通所介護	デイサービス
総合事業	予防のインフラを整備することで、要介護者の増加を軽減します。
居宅介護支援、介護予防支援	事業所統合
福祉用具の貸与	人員の増加
居宅介護住宅改修	人員の増加

4 運営上の問題点について

(1) 運営上の問題点や課題

問5 利用者の要望は多種多様であり、現在の制度の枠内では十分に対応できない状況もあろうかと思えます。そのような点も含め、利用者の要望に応えられずご苦労なされている点や、運営上の問題（需要が少ない、経費がかかる等）など、貴事業所が現在抱えている問題点や課題がありましたら、サービスごとにその内容を記入してください。また、運営全般にかかわる問題は、サービス名のところに「運営全般」と記入してください。

運営上の問題点や課題について、19事業所から記述がありました。

個別のサービスや運営全般などで、人材確保の難しさや人手不足をあげる内容が比較的多くみられます。また、書類の多さなどによる業務時間の長さなど、サービス提供以外の内容も問題点として挙げられています。

表 運営上の問題点や課題

サービス名等	内容
運営全般	介護職の確保が難しくなっている。
	職員募集にかかる求人広告費や入居者・利用者様確保のための宣伝広告費やパンフレット費などの費用対効果が見合わない。
	非常勤ヘルパーの高齢化と新たな人材の確保が難しい。
	介護職員の人員不足（求人の応募が少ない）。 空室が埋まらない。 通院介助が厳しい（人員不足のため）。
	利用者の要望に応えるためにも、やはり人材の確保は急務だと考えます。
	サービス全般的に必要な書類が多く、残業が多いこと。
居宅介護支援、介護予防支援、運営全般	需要が少ない（介護予防支援＝委託件数が少ない）。 書類が多く、（一人ひとりの）業務時間が長くなってきている。 管理業務のなり手がいない。（上記の問題も有り）加算事業所の管理業務が膨大である。
訪問介護	ヘルパーの確保が大変である。
	ヘルパーの人材確保。
訪問介護、通所介護、訪問介護（総合事業）、通所介護（総合事業）	ガソリン代等の経費が多く、それにあった収入が低いいため、経営が困難になりつつあり、全体的に単価が低いいため、経営困難になっています。

サービス名等	内 容
訪問リハビリテーション	二重診察（かかりつけ医と訪問リハビリ事業所医師の問題）。利用者・家族からは、遠い（サービス供給が少ない為。遠方の利用者もいる）・交通手段が無い等の声が聞かれます。
地域密着型通所介護	市外の利用者様が利用できないことが残念。 確かに要望は多種多様であり、運営上の問題と絡みながらもボランティア意識での対応がやむを得ない状況もあると考えています。 利用者様に対しての介護職員の人件費がかかりすぎている。
特定施設入居者生活介護、 介護予防特定施設入居者生活介護	協力医療機関、協力医療機関外の受診が多く、対応に困っています。
認知症対応型共同生活介護	通院はご家族様に協力いただいているが、生活保護の方等、身寄りが無い方等は、施設が通院介助を行わなければならない、そのような場合に職員が足りない。
居宅介護支援	生活困窮者や身寄りのない独居、虐待、精神疾患などへの支援の際、公的機関からの適切な介入がないため、ケアマネだけでは負担が大きくなっている。
通所型サービスA	登録はしているが、声がかかった事がない。
通所型サービスC	専門職を多数揃える厳しい人員基準に対して、報酬が少ない為、赤字決算となっている。
サービス付き高齢者向け住宅	介護スタッフ、厨房スタッフの採用に困っている。

5 利用者数の動向について

(1) 施設入所者及び入所希望者数の動向

問6 貴事業所の施設入所者及び入所希望者数はどのような状況ですか。[1つに○]

「増えている」が25.8%

施設入所者及び入所希望者数の状況については、「増えている」が25.8%、「減っている」が9.7%となっています。

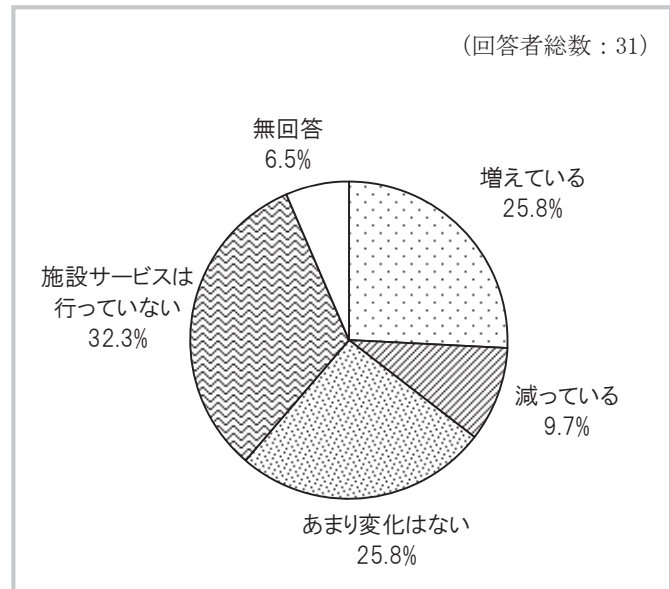
また、「あまり変化はない」も25.8%となっています。

表 施設入所者数・希望者数の状況

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	31
増えている	8 (25.8)
減っている	3 (9.7)
あまり変化はない	8 (25.8)
施設サービスは行っていない	10 (32.3)
無回答	2 (6.5)

図 施設入所者数・希望者数の状況



(2) 居宅サービス利用者数の動向

問7 貴事業所の居宅サービス利用者数はどのような状況ですか。[1つに○]

「あまり変化はない」が38.7%

居宅サービスの利用者数については、「増えている」が16.1%、「減っている」が22.6%となっています。

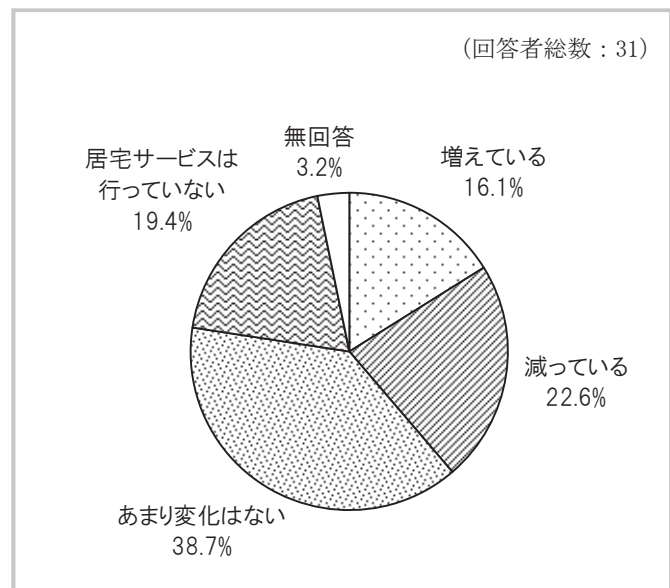
また、「あまり変化はない」は38.7%となっています。

表 居宅サービス利用者数の状況

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	31
増えている	5 (16.1)
減っている	7 (22.6)
あまり変化はない	12 (38.7)
居宅サービスは行っていない	6 (19.4)
無回答	1 (3.2)

図 居宅サービス利用者数の状況



6 サービス提供事業者調査のまとめ

①回答事業者の属性とサービスの提供状況について

回答のあった事業所の法人格については、「株式会社等」が51.6%、「社会福祉法人」が25.8%、「医療法人」が9.7%となっています。

調査に回答した事業所の提供サービスについては、「居宅介護支援」が14件、「訪問介護」が11件、「通所介護」と「介護予防支援」がそれぞれ8件となっています。

また、ニーズへの対応については、「断ることがある」という件数をみると、「訪問介護」で4件、「居宅介護支援」と「訪問介護（総合事業）」、「サービス付き高齢者向け住宅」でそれぞれ2件となっています。

②今後の事業展開について

今後の事業展開について、「規模拡大」と回答した事業者は、『訪問介護』で4件、『居宅介護支援』と『訪問介護（総合事業）』、『通所介護（総合事業）』でそれぞれ3件などとなっています。施設入所のサービスについては、「規模拡大」という回答はありませんでした。

「廃止」は、『通所介護』と『福祉用具貸与』でそれぞれ1件ありますが、現在既に提供を休止しているケースなどとなっています。

「新規」は、『訪問看護』、『介護予防訪問看護』、『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』、『小規模多機能型居宅介護』、『看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）』、『通所型サービスA』、『住宅型有料老人ホーム』でそれぞれ1件ありました。

今後の事業展開の具体的な内容について、8事業所から記述があり、その内容は、利用者の増加やサービス提供体制強化への対応などの内容となっています。

③運営上の問題点について

運営上の問題点や課題については、19事業所から記述がありました。その内容は、個別のサービスや運営全般などで、人材確保の難しさや人手不足をあげる内容が比較的多くみられます。また、書類の多さなどによる業務時間の長さなど、サービス提供以外の内容も問題点として挙げられています。

④利用者数の動向について

施設入所者及び入所希望者数の状況については、「増えている」が25.8%、「減っている」が9.7%となっています。「あまり変化はない」も25.8%となっています。

居宅サービスの利用者数については、「増えている」が16.1%、「減っている」が22.6%となっています。「あまり変化はない」は38.7%となっています。

第5章 ケアマネジャー調査

第5章 ケアマネジャー調査

1 回答者の属性

(1) ケアマネジャー経験年数

問1 あなたはケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになりますか。[1つに○]

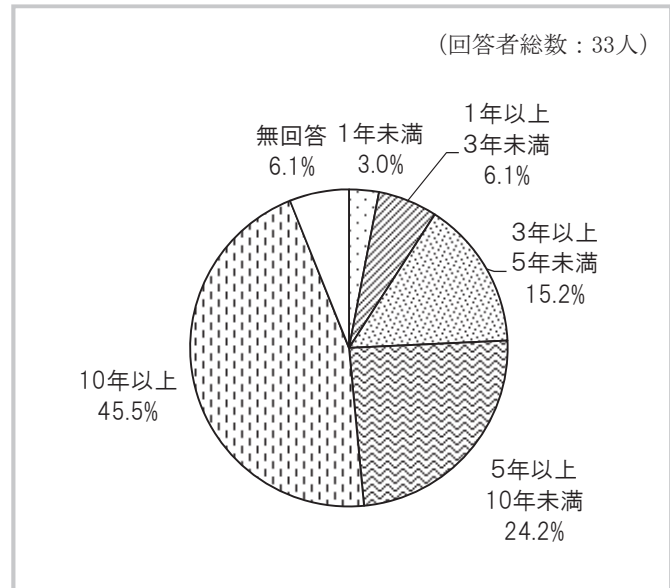
「10年以上」が45.5%

ケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになるかについては、「10年以上」が45.5%で、次いで「5年以上10年未満」が24.2%、「3年以上5年未満」が15.2%となっています。

表 ケアマネジャー経験年数 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
1年未満	1（3.0）
1年以上3年未満	2（6.1）
3年以上5年未満	5（15.2）
5年以上10年未満	8（24.2）
10年以上	15（45.5）
無回答	2（6.1）

図 ケアマネジャー経験年数



2 ケアプランについて

(1) 受け持ち人数

問2 あなたが、ケアプランを作成している方は何人ですか。また、そのうち、白岡市の方について要介護度別に人数をご記入ください。

「30～39人」が36.4%

ケアプランを作成している受け持ち人数については、平均で25.6人となっています。内訳としては、「30～39人」が36.4%、「20～29人」が27.3%となっており、「40人以上」という回答もみられます。

また、白岡市分については、平均22.4人となっています。

表 受け持ち人数

ケアプラン作成人数（受け持ちの合計）
回答者総数 33人
平均 25.6人

表 受け持ち人数のうち白岡市分

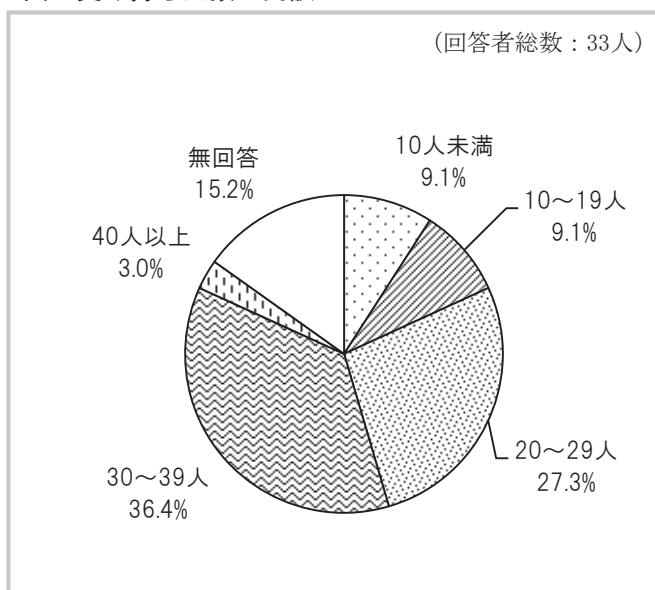
項目	白岡市内分のケアプラン作成人数 回答者総数 33人
要支援1	平均 2.3人
要支援2	平均 2.8人
要介護1	平均 6.3人
要介護2	平均 5.7人
要介護3	平均 4.2人
要介護4	平均 1.7人
要介護5	平均 1.7人
合計	平均 22.4人

表 受け持ち人数の内訳

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
10人未満	3（9.1）
10～19人	3（9.1）
20～29人	9（27.3）
30～39人	12（36.4）
40人以上	1（3.0）
無回答	5（15.2）

図 受け持ち人数の内訳



(2) ケアプラン作成で重視すること

問3 ケアプランを作成する際、あなたは何を重視しますか。[重視するもの上位3つに○]

「身体状況の改善」、「生活状況の改善」、「本人が希望するサービス」がそれぞれ57.6%

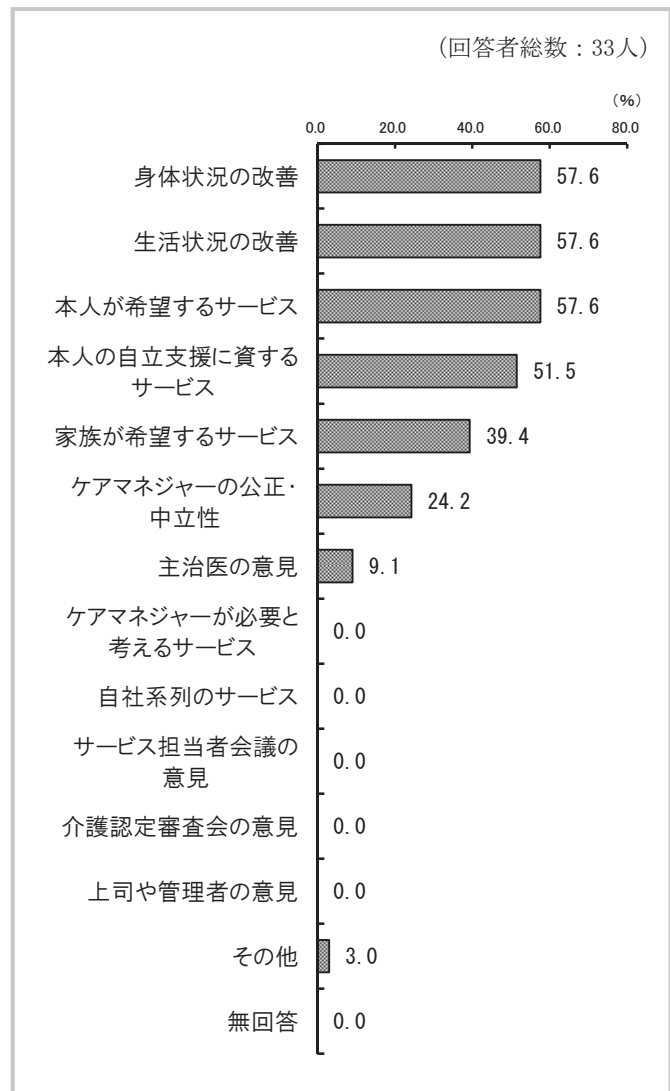
ケアプランを作成する際に何を重視するかについては、「身体状況の改善」、「生活状況の改善」、「本人が希望するサービス」がそれぞれ57.6%となっています。

また、「本人の自立支援に資するサービス」は51.5%、「家族が希望するサービス」は39.4%となっています。

表 ケアプラン作成で重視すること

区分	単位：人（%）	
	全体	
回答者総数（人）	33	
身体状況の改善	19 (57.6)	
生活状況の改善	19 (57.6)	
本人が希望するサービス	19 (57.6)	
本人の自立支援に資するサービス	17 (51.5)	
家族が希望するサービス	13 (39.4)	
ケアマネジャーの公正・中立性	8 (24.2)	
主治医の意見	3 (9.1)	
ケアマネジャーが必要と考えるサービス	0 (0.0)	
自社系列のサービス	0 (0.0)	
サービス担当者会議の意見	0 (0.0)	
介護認定審査会の意見	0 (0.0)	
上司や管理者の意見	0 (0.0)	
その他	1 (3.0)	
無回答	0 (0.0)	

図 ケアプラン作成で重視すること



3 サービスに対する評価等について

(1) 各サービスの供給バランスに対する評価

問4 白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思いますか。[各項目ごとに1つずつ]

福祉用具の貸与や販売については「十分足りている」

白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思うかについて、サービスごとにたずねました。

「十分足りている」という割合が60%を超えて多かったのは、『福祉用具貸与』や『特定福祉用具販売』、『居宅介護住宅改修』、『居宅介護支援』、『介護予防支援』です。

一方、「かなり不足している」という割合が60%を超えて多かったのは、『訪問介護』や『夜間対応型訪問介護』といったサービスです。

表 各サービスの供給バランスに対する評価

回答者総数：33人 単位：人（%）

	項目	十分 足りている	やや不足 している	かなり不足 している	無回答
1	訪問介護	0 (0.0)	11 (33.3)	22 (66.7)	0 (0.0)
2	訪問入浴介護	6 (18.2)	17 (51.5)	10 (30.3)	0 (0.0)
3	訪問看護	11 (33.3)	16 (48.5)	6 (18.2)	0 (0.0)
4	訪問リハビリテーション	13 (39.4)	15 (45.5)	5 (15.2)	0 (0.0)
5	居宅療養管理指導	13 (39.4)	18 (54.5)	2 (6.1)	0 (0.0)
6	通所介護	12 (36.4)	15 (45.5)	6 (18.2)	0 (0.0)
7	通所リハビリテーション	6 (18.2)	19 (57.6)	8 (24.2)	0 (0.0)
8	短期入所生活介護	4 (12.1)	15 (45.5)	14 (42.4)	0 (0.0)
9	短期入所療養介護	3 (9.1)	20 (60.6)	9 (27.3)	1 (3.0)
10	特定施設入居者生活介護	11 (33.3)	17 (51.5)	2 (6.1)	3 (9.1)
11	福祉用具貸与	21 (63.6)	10 (30.3)	2 (6.1)	0 (0.0)
12	特定福祉用具販売	20 (60.6)	11 (33.3)	1 (3.0)	1 (3.0)
13	居宅介護住宅改修	22 (66.7)	9 (27.3)	1 (3.0)	1 (3.0)
14	介護予防訪問入浴介護	14 (42.4)	4 (12.1)	8 (24.2)	7 (21.2)
15	介護予防訪問看護	11 (33.3)	8 (24.2)	7 (21.2)	7 (21.2)
16	介護予防訪問リハビリテーション	13 (39.4)	10 (30.3)	4 (12.1)	6 (18.2)
17	介護予防居宅療養管理指導	12 (36.4)	11 (33.3)	2 (6.1)	8 (24.2)
18	介護予防通所リハビリテーション	9 (27.3)	14 (42.4)	4 (12.1)	6 (18.2)
19	介護予防短期入所生活介護	8 (24.2)	11 (33.3)	8 (24.2)	6 (18.2)
20	介護予防短期入所療養介護	6 (18.2)	13 (39.4)	7 (21.2)	7 (21.2)

	項目	十分 足りている	やや不足 している	かなり不足 している	無回答
21	介護予防特定施設入居者生活介護	10 (30.3)	12 (36.4)	2 (6.1)	9 (27.3)
22	介護予防福祉用具貸与	18 (54.5)	10 (30.3)	1 (3.0)	4 (12.1)
23	特定介護予防福祉用具販売	15 (45.5)	11 (33.3)	1 (3.0)	6 (18.2)
24	介護予防住宅改修	19 (57.6)	9 (27.3)	1 (3.0)	4 (12.1)
25	基準該当短期入所生活介護	4 (12.1)	16 (48.5)	5 (15.2)	8 (24.2)
26	基準該当介護予防短期入所生活介護	5 (15.2)	15 (45.5)	5 (15.2)	8 (24.2)
27	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1 (3.0)	15 (45.5)	13 (39.4)	4 (12.1)
28	夜間対応型訪問介護	2 (6.1)	8 (24.2)	20 (60.6)	3 (9.1)
29	地域密着型通所介護	11 (33.3)	17 (51.5)	2 (6.1)	3 (9.1)
30	認知症対応型通所介護	7 (21.2)	17 (51.5)	6 (18.2)	3 (9.1)
31	小規模多機能型居宅介護	13 (39.4)	13 (39.4)	4 (12.1)	3 (9.1)
32	認知症対応型共同生活介護	8 (24.2)	16 (48.5)	6 (18.2)	3 (9.1)
33	地域密着型特定施設入居者生活介護	7 (21.2)	14 (42.4)	7 (21.2)	5 (15.2)
34	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7 (21.2)	14 (42.4)	8 (24.2)	4 (12.1)
35	看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）	3 (9.1)	10 (30.3)	15 (45.5)	5 (15.2)
36	介護予防認知症対応型通所介護	10 (30.3)	10 (30.3)	7 (21.2)	6 (18.2)
37	介護予防小規模多機能型居宅介護	10 (30.3)	10 (30.3)	7 (21.2)	6 (18.2)
38	介護予防認知症対応型共同生活介護	10 (30.3)	10 (30.3)	7 (21.2)	6 (18.2)
39	居宅介護支援	21 (63.6)	8 (24.2)	1 (3.0)	3 (9.1)
40	介護予防支援	21 (63.6)	8 (24.2)	0 (0.0)	4 (12.1)
41	介護老人福祉施設	10 (30.3)	16 (48.5)	7 (21.2)	0 (0.0)
42	介護老人保健施設	2 (6.1)	22 (66.7)	8 (24.2)	1 (3.0)
43	介護医療院	0 (0.0)	13 (39.4)	17 (51.5)	3 (9.1)
44	訪問介護（総合事業）	4 (12.1)	14 (42.4)	13 (39.4)	2 (6.1)
45	訪問型サービスA	7 (21.2)	13 (39.4)	8 (24.2)	5 (15.2)
46	通所介護（総合事業）	12 (36.4)	14 (42.4)	4 (12.1)	3 (9.1)
47	通所型サービスA	10 (30.3)	13 (39.4)	5 (15.2)	5 (15.2)
48	通所型サービスC	11 (33.3)	13 (39.4)	4 (12.1)	5 (15.2)
49	ケアマネジメントA	11 (33.3)	13 (39.4)	3 (9.1)	6 (18.2)
50	住宅型有料老人ホーム	13 (39.4)	15 (45.5)	0 (0.0)	5 (15.2)
51	サービス付き高齢者向け住宅	15 (45.5)	13 (39.4)	0 (0.0)	5 (15.2)
52	ケアハウス	6 (18.2)	18 (54.5)	8 (24.2)	1 (3.0)

4 地域のきめ細かい支援について

(1) 介護保険・福祉サービス以外で必要な手助け

問5 介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるために手助けがあるといいと感じるものは何ですか。[主なものを3つ以内で〇]

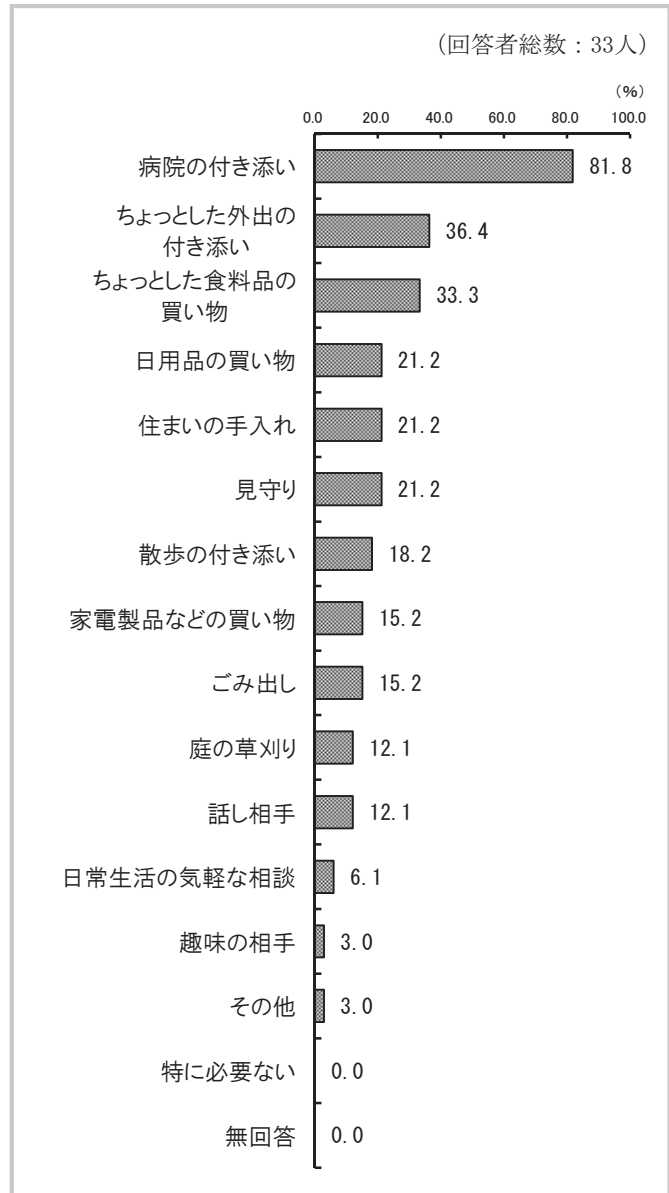
「病院の付き添い」が81.8%

介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるために手助けがあるといいと感じるものについては、「病院の付き添い」が81.8%、次いで「ちょっとした外出の付き添い」が36.4%、「ちょっとした食料品の買い物」が33.3%となっています。

表 介護保険・福祉サービス以外で必要な手助け
単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
病院の付き添い	27 (81.8)
ちょっとした外出の付き添い	12 (36.4)
ちょっとした食料品の買い物	11 (33.3)
日用品の買い物	7 (21.2)
住まいの手入れ	7 (21.2)
見守り	7 (21.2)
散歩の付き添い	6 (18.2)
家電製品などの買い物	5 (15.2)
ごみ出し	5 (15.2)
庭の草刈り	4 (12.1)
話し相手	4 (12.1)
日常生活の気軽な相談	2 (6.1)
趣味の相手	1 (3.0)
その他	1 (3.0)
特に必要ない	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 介護保険・福祉サービス以外で必要な手助け



(2) 地域資源の把握状況

問6 自立支援を目的としたケアマネジメントにおいては、介護保険サービス以外の地域資源の活用も重要となってきますが、あなたは、白岡市の地域資源についてどの程度把握していますか。
[1つに〇]

把握しているという割合は69.7%

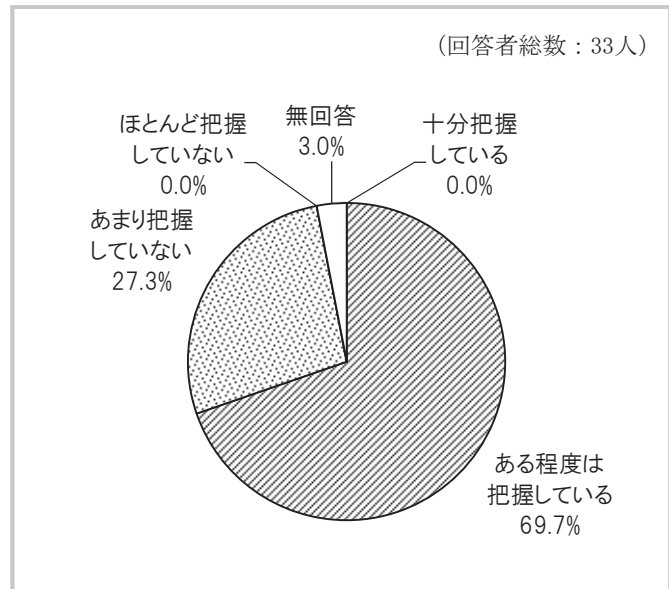
白岡市の地域資源についてどの程度把握しているかについては、「十分把握している」が0.0%、「ある程度は把握している」が69.7%となっています。

一方、「あまり把握していない」は27.3%となっています。

表 地域資源の把握状況 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
十分把握している	0（0.0）
ある程度は把握している	23（69.7）
あまり把握していない	9（27.3）
ほとんど把握していない	0（0.0）
無回答	1（3.0）

図 地域資源の把握状況



(3) もっと連携を取りたい機関・団体

問7 もっと連携を取りたいと思う機関・団体などはありますか。[主なものを3つ以内で〇]

「民生委員」と「医療機関」が45.5%

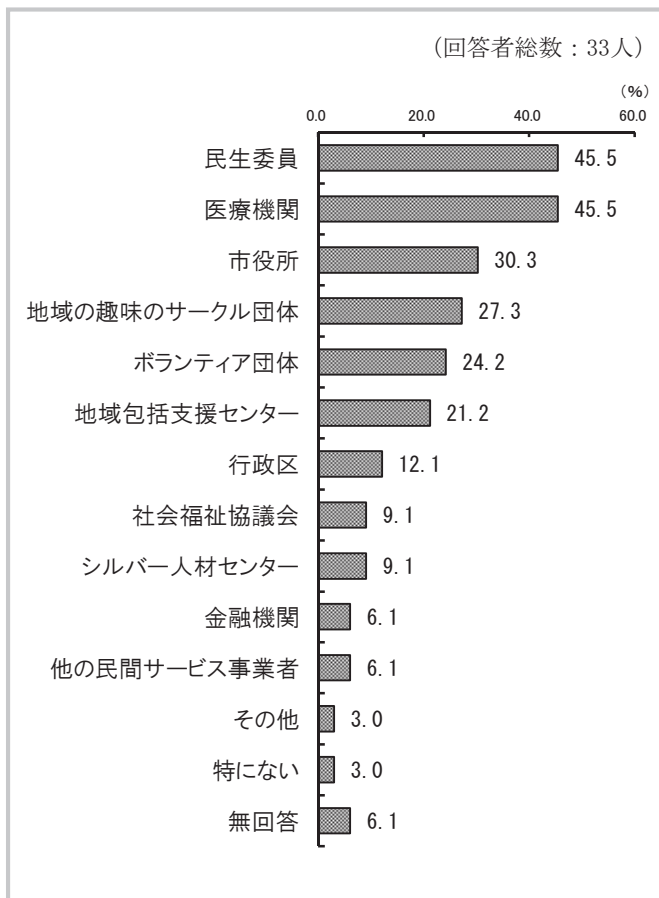
もっと連携を取りたいと思う機関・団体などについては、「民生委員」と「医療機関」がそれぞれ45.5%となっています。次いで「市役所」が30.3%となっています。

表 もっと連携を取りたい機関・団体

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
民生委員	15 (45.5)
医療機関	15 (45.5)
市役所	10 (30.3)
地域の趣味のサークル団体	9 (27.3)
ボランティア団体	8 (24.2)
地域包括支援センター	7 (21.2)
行政区	4 (12.1)
社会福祉協議会	3 (9.1)
シルバー人材センター	3 (9.1)
金融機関	2 (6.1)
他の民間サービス事業者	2 (6.1)
その他	1 (3.0)
特にない	1 (3.0)
無回答	2 (6.1)

図 もっと連携を取りたい機関・団体



(4) ケアマネ活動で感じる問題点

問8 ケアプラン作成などのケアマネジャーとしての活動の際に、何か問題を感じていることがありますか。率直な感想をお答えください。[主なものを3つ以内で○]

「介護保険以外のサービスが少ない」が63.6%

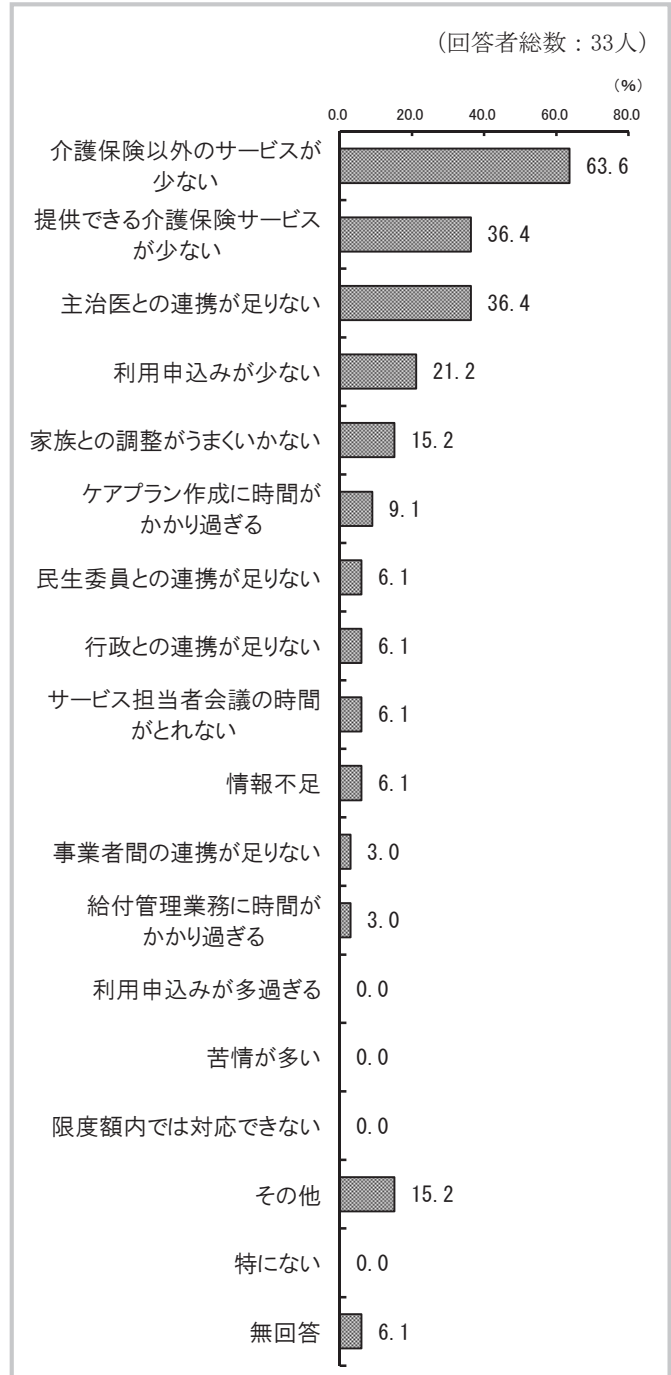
ケアマネジャーとしての活動の際に感じている問題点については、「介護保険以外のサービスが少ない」が63.6%、次いで「提供できる介護保険サービスが少ない」と「主治医との連携が足りない」がそれぞれ36.4%となっています。

表 ケアマネ活動で感じる問題点

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
介護保険以外のサービスが少ない	21（63.6）
提供できる介護保険サービスが少ない	12（36.4）
主治医との連携が足りない	12（36.4）
利用申込みが少ない	7（21.2）
家族との調整がうまくいかない	5（15.2）
ケアプラン作成に時間がかかり過ぎる	3（9.1）
民生委員との連携が足りない	2（6.1）
行政との連携が足りない	2（6.1）
サービス担当者会議の時間がとれない	2（6.1）
情報不足	2（6.1）
事業者間の連携が足りない	1（3.0）
給付管理業務に時間がかかり過ぎる	1（3.0）
利用申込みが多過ぎる	0（0.0）
苦情が多い	0（0.0）
限度額内では対応できない	0（0.0）
その他	5（15.2）
特になし	0（0.0）
無回答	2（6.1）

図 ケアマネ活動で感じる問題点



(5) 医療連携の状況

問9 医療との連携は取れていますか。[1つに○]

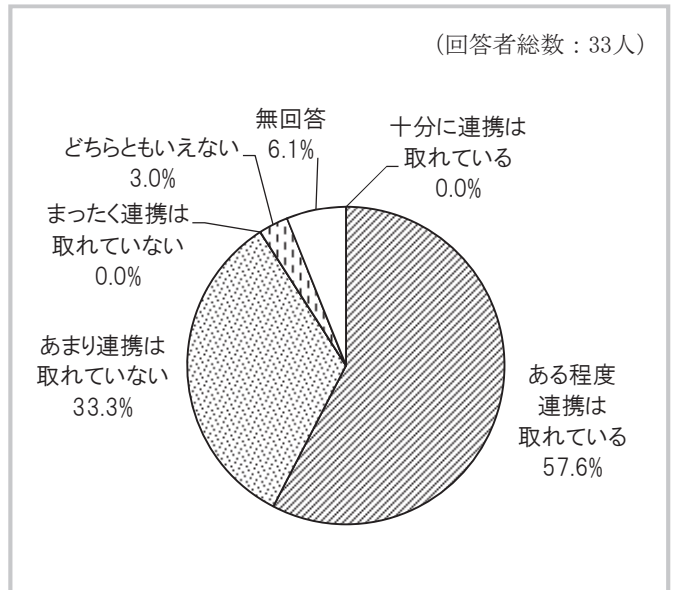
「ある程度連携は取れている」が57.6%

医療との連携については、「十分に連携は取れている」が0.0%、「ある程度連携は取れている」が57.6%となっています。一方、「あまり連携は取れていない」は33.3%となっています。

表 医療連携の状況

区分	全体
回答者総数(人)	33
十分に連携は取れている	0 (0.0)
ある程度連携は取れている	19 (57.6)
あまり連携は取れていない	11 (33.3)
まったく連携は取れていない	0 (0.0)
どちらともいえない	1 (3.0)
無回答	2 (6.1)

図 医療連携の状況



(6) 医療連携が取れていない理由

問10 [問9「あまり連携は取れていない」または「まったく連携は取れていない」と回答した方] 医療との連携が取れていない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

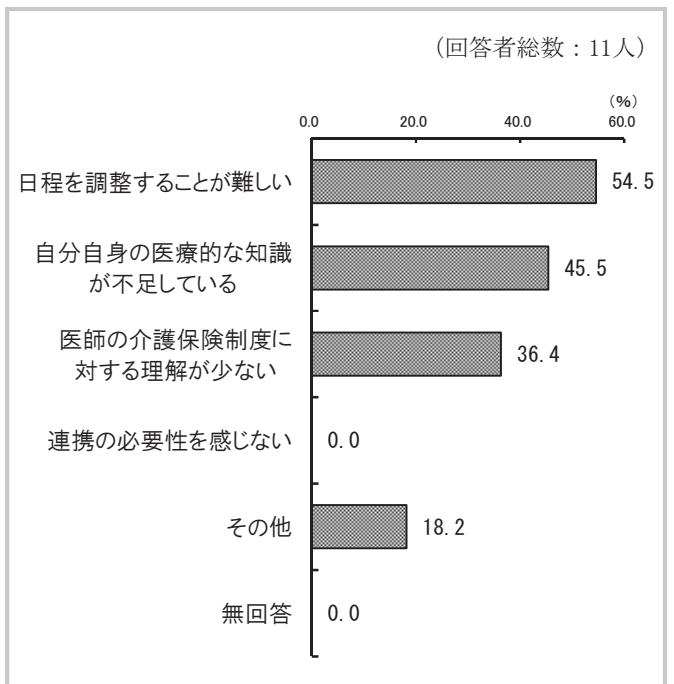
「日程を調整することが難しい」が54.5%

医療との連携が取れていない理由については、「日程を調整することが難しい」が54.5%、次いで「自分自身の医療的な知識が不足している」が45.5%、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が36.4%となっています。

表 医療連携が取れていない理由

区分	全体
回答者総数(人)	11
日程を調整することが難しい	6 (54.5)
自分自身の医療的な知識が不足している	5 (45.5)
医師の介護保険制度に対する理解が少ない	4 (36.4)
連携の必要性を感じない	0 (0.0)
その他	2 (18.2)
無回答	0 (0.0)

図 医療連携が取れていない理由



5 虐待について

(1) 虐待が疑われるケースの有無

問11 あなたが担当している白岡市のケースの中で、これまでに虐待が疑われるケースはありましたか。[1つに○]

「ある」が21.2%

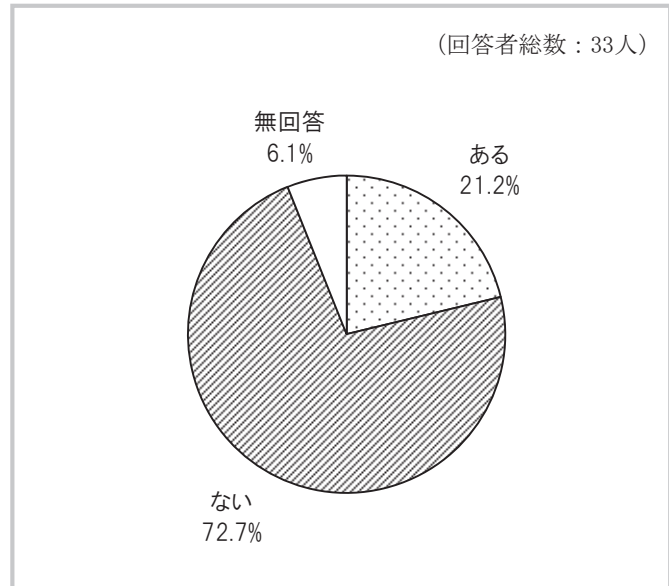
これまでに虐待が疑われるケースがあったかについては、「ある」が21.2%で、「ない」が72.7%となっています。

表 虐待が疑われるケースの有無

単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
ある	7 (21.2)
ない	24 (72.7)
無回答	2 (6.1)

図 虐待が疑われるケースの有無



(2) 虐待防止のために特に必要なこと

問12 虐待防止のために、特に必要だと思うことは何ですか。[主なものを3つ以内で○]

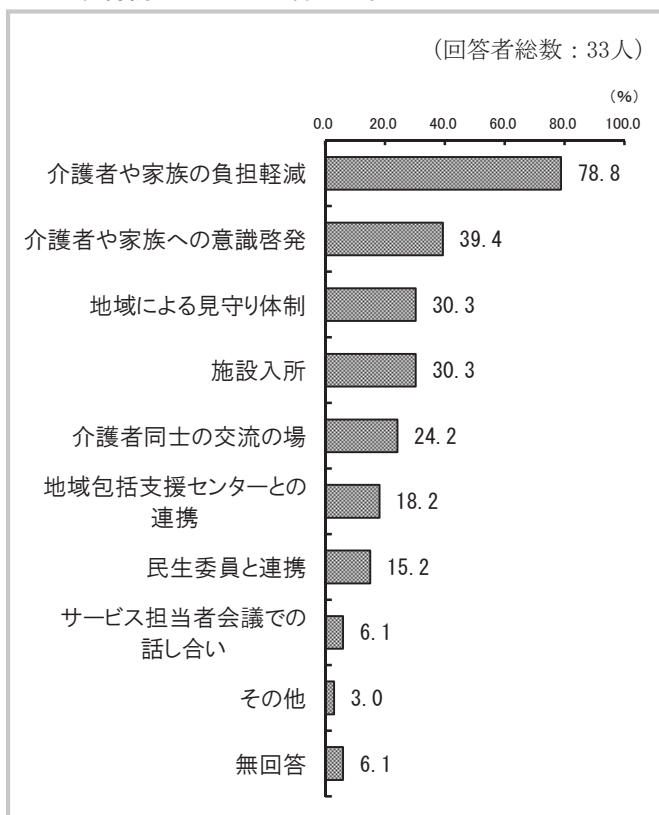
「介護者や家族の負担軽減」が78.8%

虐待防止のために特に必要だと思うことについては、「介護者や家族の負担軽減」が78.8%、次いで「介護者や家族への意識啓発」が39.4%、「地域による見守り体制」と「施設入所」がそれぞれ30.3%となっています。

表 虐待防止のために特に必要なこと
単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
介護者や家族の負担軽減	26 (78.8)
介護者や家族への意識啓発	13 (39.4)
地域による見守り体制	10 (30.3)
施設入所	10 (30.3)
介護者同士の交流の場	8 (24.2)
地域包括支援センターとの連携	6 (18.2)
民生委員と連携	5 (15.2)
サービス担当者会議での話し合い	2 (6.1)
その他	1 (3.0)
無回答	2 (6.1)

図 虐待防止のために特に必要なこと



6 今後の要望について

(1) 行政に期待すること

問13 高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待しますか。
[主なものを3つ以内で〇]

「外出を支援する事業の充実」が57.6%

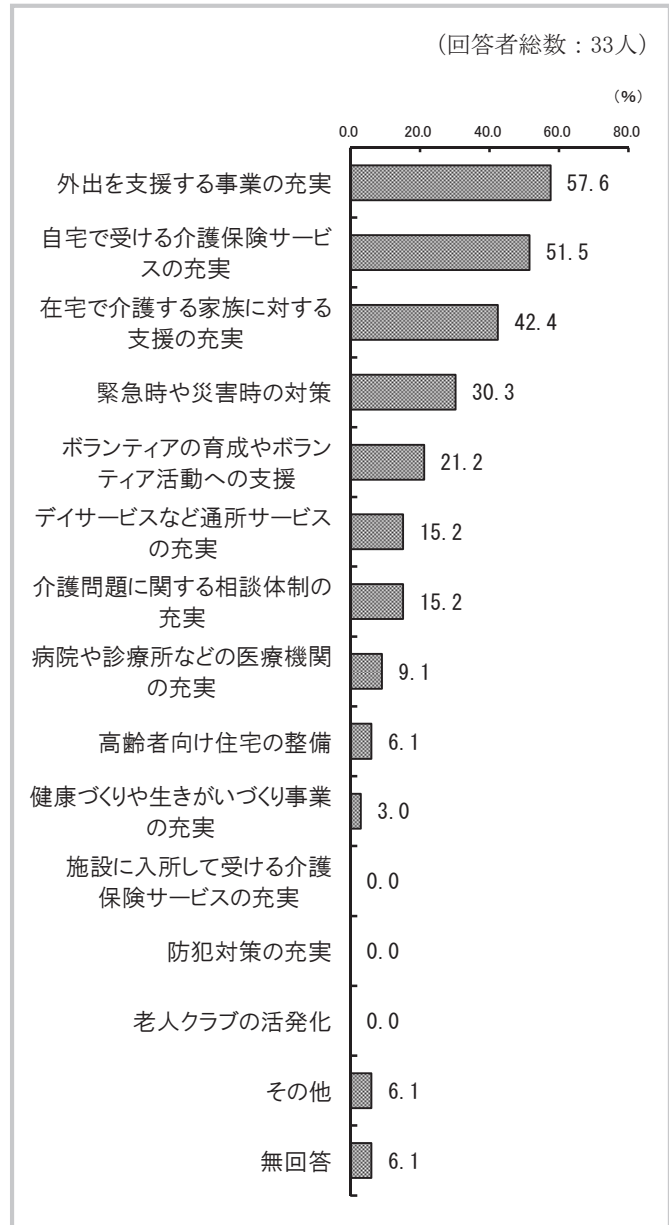
高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「外出を支援する事業の充実」が57.6%、次いで「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が51.5%、「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が42.4%となっています。

また、「緊急時や災害時の対策」は30.3%となっています。

表 行政に期待すること 単位：人（%）

区分	全体
回答者総数（人）	33
外出を支援する事業の充実	19 (57.6)
自宅で受ける介護保険サービスの充実	17 (51.5)
在宅で介護する家族に対する支援の充実	14 (42.4)
緊急時や災害時の対策	10 (30.3)
ボランティアの育成やボランティア活動への支援	7 (21.2)
デイサービスなど通所サービスの充実	5 (15.2)
介護問題に関する相談体制の充実	5 (15.2)
病院や診療所などの医療機関の充実	3 (9.1)
高齢者向け住宅の整備	2 (6.1)
健康づくりや生きがいづくり事業の充実	1 (3.0)
施設に入所して受ける介護保険サービスの充実	0 (0.0)
防犯対策の充実	0 (0.0)
老人クラブの活発化	0 (0.0)
その他	2 (6.1)
無回答	2 (6.1)

図 行政に期待すること



7 ケアマネジャー調査のまとめ

①回答者の属性

ケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになるかについては、「10年以上」が45.5%で、次いで「5年以上10年未満」が24.2%、「3年以上5年未満」が15.2%となっています。

②ケアプランについて

ケアプランを作成している受け持ち人数については、平均で25.6人、白岡市分については平均22.4人となっています。受け持ち人数の内訳としては、「30～39人」が36.4%、「20～29人」が27.3%となっており、「40人以上」という回答もみられます。

ケアプランを作成する際に何を重視するかについては、「身体状況の改善」、「生活状況の改善」、「本人が希望するサービス」の3項目がそれぞれ57.6%となっています。また、「本人の自立支援に資するサービス」は51.5%、「家族が希望するサービス」は39.4%となっています。

③サービスに対する評価等について

白岡市における介護保険サービス事業は、利用者の需要（希望）に対して足りていると思うかについて、サービスごとにたずねました。

「十分足りている」という割合が60%を超えて多かったのは、『福祉用具貸与』や『特定福祉用具販売』、『居宅介護住宅改修』、『居宅介護支援』、『介護予防支援』です。一方、「かなり不足している」という割合が60%を超えて多かったのは、『訪問介護』や『夜間対応型訪問介護』といったサービスです。

④地域のきめ細かい支援について

介護保険サービスや福祉サービス以外で、要介護者及び介護者の生活を支えるために手助けがあるといいと感じるものについては、「病院の付き添い」が81.8%で、次いで「ちょっとした外出の付き添い」が36.4%、「ちょっとした食料品の買い物」が33.3%となっています。

白岡市の地域資源についてどの程度把握しているかについては、「ある程度は把握している」が69.7%、「あまり把握していない」が27.3%となっています。

もっと連携を取りたいと思う機関・団体などについては、「民生委員」と「医療機関」がそれぞれ45.5%となっています。次いで「市役所」が30.3%となっています。

ケアマネジャーとしての活動の際に感じている問題点については、「介護保険以外のサービスが少ない」が63.6%、次いで「提供できる介護保険サービスが少ない」と「主治医との連携が足りない」がそれぞれ36.4%となっています。

医療との連携については、「ある程度連携は取れている」が57.6%となっています。一方「あまり連携は取れていない」は33.3%で、その理由については、「日程を調整するこ

とが難しい」が54.5%、次いで「自分自身の医療的な知識が不足している」が45.5%、「医師の介護保険制度に対する理解が少ない」が36.4%となっています。

⑤虐待について

これまでに虐待が疑われるケースがあったかについては、「ある」が21.2%で、「ない」が72.7%となっています。

虐待防止のために特に必要だと思うことについては、「介護者や家族の負担軽減」が78.8%、次いで「介護者や家族への意識啓発」が39.4%、「地域による見守り体制」と「施設入所」がそれぞれ30.3%となっています。

⑥今後の要望について

高齢者への対応として、今後、行政にどのようなことを期待するかについては、「外出を支援する事業の充実」が57.6%、次いで「自宅で受ける介護保険サービスの充実」が51.5%、「在宅で介護する家族に対する支援の充実」が42.4%となっています。前回の調査結果と比較すると、「外出を支援する事業の充実」は21.2ポイント増加しています。

高齢者等実態調査報告書

令和2年3月

編集・発行 / 白岡市健康福祉部高齢介護課
〒349-0292
白岡市千駄野432番地
電話 0480(92)1111(代)